

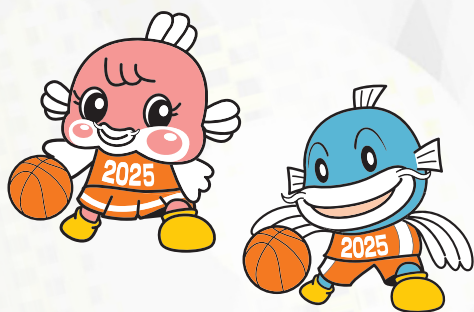
わたSHIGA輝く国スポ

BASKET BALL

2025
10/3^金7^火

第79回 国民スポーツ大会 バスケットボール競技会

【競技会場】 **大津市** 滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)
野洲市 野洲市総合体育館
草津市 YMITアリーナ (くさつシティアリーナ)



【主 催】

公益財団法人 日本スポーツ協会・文部科学省・滋賀県

公益財団法人 日本バスケットボール協会・大津市・野洲市・草津市

国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャットフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャットフィー

「キャットフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャットフィー」に教えてもらっています。

「キャットフィー」と「チャットフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。



目 次

あ い さ つ

公益財団法人日本スポーツ協会	会長 遠藤 利明	2
文部科学大臣	あべ 俊子	3
公益財団法人日本バスケットボール協会	会長 島田 慎二	4

歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 実行委員会会長	滋賀県知事 三日月大造	5
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 大津市実行委員会会長	大津市長 佐藤 健司	6
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 野洲市実行委員会会長	野洲市長 櫻本 直樹	7
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 草津市実行委員会会長	草津市長 橋川 渉	8
一般社団法人滋賀県バスケットボール協会	会長 宇野 正信	9

規 程

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	10
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	11

役 員

大会役員	12
競技会役員	16
競技役員	19
競技補助員・競技会係員・競技会補助員	22

大会実施要項

総則	23
バスケットボール競技実施要項	42

式 典

表彰式 次第	50
--------	----

競 技

競技上の取り決め事項	54
競技日程	55
バスケットボール競技組合せ表	56
バスケットボールの競技の見方	58
都道府県別参加申込人数一覧表	60
参加監督・選手（成年男子・成年女子・少年男子・少年女子）	61

資 料

男女総合（天皇杯得点）成績一覧	85
女子総合（皇后杯得点）成績一覧	86
過去の成績一覧	87
会場案内図（滋賀ダイハツアリーナ・野洲市総合体育館・YMIT アリーナ）	89
関係機関連絡先一覧	105
広告・協賛一覧	106



あ い さ つ



公益財団法人日本スポーツ協会
会 長 遠 藤 利 明

約 400 万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第 79 回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年 6 月、14 年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和 21 (1946) 年にスタートした「国民体育大会」は、昨年から「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年 3 月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あ い さ つ



文部科学大臣

あ べ 俊 子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。



あいさつ



公益財団法人日本バスケットボール協会

会 長 島 田 慎 二

このたびは「第 79 回国民スポーツ大会」バスケットボール競技が 10 月 3 日から 7 日までの期間、滋賀県で盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本大会は、国民スポーツ大会へ名称を変更し 2 回目の大会となります。公益財団法人日本スポーツ協会主導のもと、広く国民にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上を図り、スポーツの推進と文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的に、昭和 21 年に開催された前身の国民体育大会第 1 回大会以降、長く我が国最大のスポーツの祭典として親しまれてきました。

今大会で示された「明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるように」との想いは、まさにこれまで積み重ねてこられた本大会の歴史と意義を象徴するものでしょう。一方、当協会は「バスケで日本を元気に」の理念を掲げています。それらの想いを皆様がそれぞれの形に融合させ、そこから生み出される「活力」や「元気」をここ滋賀県から日本全国へ、そして未来へ向けて発信していただけますことを期待しています。

出場する選手・指導者の皆様におかれましては郷土の誇りをもって、日ごろ培った力をコート上で存分に発揮し悔いのないプレーを披露していただくとともに、スポーツに向き合う原点として、バスケットボールを大いに楽しんでいただきたいと思います。

結びに、公益財団法人日本スポーツ協会、滋賀県、大津市、野洲市、草津市、一般社団法人滋賀県バスケットボール協会の皆様をはじめ、本大会の開催にあたりご支援・ご尽力いただきますすべての皆様にお礼を申し上げますとともに、本大会の成功を祈念いたしましてごあいさついたします。



歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
実行委員会会長

滋賀県知事 三日月 大 造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にしたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばいたします。



歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
大津市実行委員会会長

大津市長 **佐藤 健司**

わた SHIGA 輝く国スポ「第 79 回国民スポーツ大会 バスケットボール競技会」が、大津市にて盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。全国各地より参加される選手・監督、大会関係者の皆様をはじめ、大津市にお越しいただく方々を、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

わた SHIGA 輝く国スポ「第 79 回国民スポーツ大会」は、昭和 56 年の「びわこ国体」以来、44 年ぶりに滋賀県での開催となります。大津市では、選手の皆様が最大のパフォーマンスを発揮できるように会場の準備を整えるとともに、応援のぼり旗などの会場装飾づくりや地元食材を盛り込んだ「OTSU 国スポこだわり弁当」の献立づくり、市内にちりばめられた歓迎装飾など大津市民をあげたおもてなしでお迎えできるように取り組んでまいりました。

また、各会場では、ボランティアによる大津の銘菓などのふるまいのほか、特に子どもたちが様々なスポーツに興味を持ってもらえるように、選手の皆様の競技を観戦することに加え、競技体験などの企画も準備いたしました。スポーツの素晴らしさを体現・体感し、皆様の記憶に残るような大会となりますことを、心より願っております。

さて、琵琶湖の恵みと比良・比叡の山々の緑に囲まれた大津市は、紫式部ゆかりの地である石山寺や三井寺、世界遺産比叡山延暦寺などの自然と歴史が調和した、豊かな文化が息づく地域です。今年は琵琶湖疏水施設が国宝・重要文化財に、坂本城跡が国史跡にそれぞれ指定されるなど、改めてその魅力が注目されています。また、近江牛や文化庁の「100 年フード」の認定を受けた大津のうなぎなどの滋賀県・大津市の特産品や郷土料理に加え、琵琶湖でのクルーズなどのアクティビティもお楽しみください。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘を祈念申し上げまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
野洲市実行委員会会長

野洲市長 **櫻 本 直 樹**

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」バスケットボール競技会が、全国各地から選手・監督ならびに大会関係者の皆様をお迎えし、ここ野洲市で開催できますことは誠に光栄であり、野洲市民を代表し心から歓迎申し上げます。

野洲市は、滋賀県南部に位置し、北に日本最大の湖である琵琶湖を有し、南にはその美しさから「近江富士」とも称される三上山を望むまちで、弥生時代に使用された日本最大の「銅鐸」が発掘されたまちでもあります。市内には日本を代表する街道の一つである中山道が通り、江戸時代に朝鮮通信使が江戸へ赴くために通行した朝鮮人街道との分岐点もあります。近年では、京都や大阪といった大都市のベッドタウンとして、また、ものづくり企業の製造・研究拠点が集積するまちとして発展を続けてまいりました。令和 10 年には県立高等専門学校が開校予定となっており、産業のまちとしてさらなる発展が期待されているところです。

さて、野洲市での国民スポーツ大会（国民体育大会）開催は、今から 44 年前、昭和 56 年の第 36 回国民体育大会「びわこ国体」にさかのぼります。当時は滋賀県希望が丘文化公園にてラグビーフットボール競技が開催されました。今回の国民スポーツ大会では、正式競技 3 競技（県運営競技を含む）、公開競技 1 競技、デモンストレーションスポーツ 2 競技が本市で開催されます。選手・監督の皆様におかれましては、各都道府県の代表として、日ごろの練習の成果を存分に発揮され、実りある大会となりますことを心よりお祈り申し上げます。

また、大会期間中に全国各地からお越しになる皆様を心のこもったおもてなしでお迎えできるように準備を進めてまいりました。今回の来訪をきっかけに湖国の食や自然の魅力に触れていただけますと幸いです。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
草津市実行委員会会長

草津市長 **橋 川 渉**

第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」バスケットボール競技会が、ここ草津市で開催できますことを大変嬉しく思いますとともに、全国各地からお越しの選手や監督、関係者の皆様を、草津市民を代表して心から歓迎いたします。

「わた SHIGA 輝く国スポ」は、昭和56年に開催された第36回国民体育大会「びわこ国体」以来、44年ぶり2回目の開催となり、草津市ではバスケットボール競技をはじめとする5競技8種目の正式競技を行います。

また、バスケットボール競技会場である「YMIT アリーナ（くさつシティアリーナ）」につきましては、「新たな『にぎわい』と『ALL くさつ』のスポーツライフの創造」を基本コンセプトとし、令和元年6月に供用開始以降、多くのスポーツ大会の会場として利用されてきました。

全国から訪れる多くの方々を心のこもったおもてなしで温かくお迎えするとともに、夢や感動、連帯感を共有できる大会となるよう、市民総参加で準備を進めてまいりました。

ふるさとを代表して出場される選手の皆様におかれましては、日頃の厳しい練習の成果を遺憾なく発揮されるとともに、本大会が、皆様にとって更なる飛躍と交流の場となりますことを期待しております。

草津市は、古くから東海道と中山道が分岐・合流する宿場町として、また交通の要衝として栄えており、当時の面影を残す貴重な史跡である「草津宿本陣」や、一年を通して数多くのスイレンの花を觀賞いただける「水生植物公園みずの森」、草津市の新しい観光スポットとして天井川であった廃川敷地を整備した、一年を通して四季折々の花が咲いている「草津川跡地公園」などにもお立ち寄りいただけると幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なる御尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御活躍を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば



一般社団法人滋賀県バスケットボール協会
会 長 宇 野 正 信

世界中を震撼させたコロナ禍を乗り越え、2023年に特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」が帰ってきました。昨年は装いも新たに第78回国民スポーツ大会「SAGA2024国スポ」が開催されました。

そして、今年は第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ 2025」が本県で開催となり、バスケットボール競技は天津市の滋賀ダイハツアリーナ、野洲市の野洲市総合体育館、草津市の YMIT アリーナを会場に開催する運びとなりました。

全国、各ブロックの大会を勝ち抜き本大会に出場されますチーム、選手、スタッフの皆さん、本大会への出場おめでとうございます。

皆さんがそれぞれの都道府県を代表して、天皇杯、皇后杯を目指し、競技別の得点を獲得するべく、より上位を目指して全力を尽くされることを願っています。

ご来場の皆様には、選手たちへの温かい応援をお送りいただき、スポーツの楽しさと感動を共に分かち合っていただければ幸いです。そのために、県協会を挙げて大会運営に努めてまいります所存です。

さて、本県は近畿の水がめ、母なる湖、琵琶湖を擁し、ユネスコ世界文化遺産比叡山延暦寺をはじめとして多くの国宝神社仏閣、東海道、中山道の観光名所など見どころがいっぱいです。ぜひこの機会に足を運んでいただき、滋賀のすばらしさを体感してください。

最後になりましたが、今大会の開催にあたり、多くのご支援、ご協力を賜ります各種団体の皆様、本大会を運営して下さる皆様方に、心より深く感謝申し上げ、歓迎のあいさつとさせていただきます。



天皇杯



皇后杯

国民スポーツ大会 天皇杯・皇后杯授与規程

第 1 条 国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第 1 位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第 1 位の都道府県に授与する。

2 第 1 位が 2 都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第 2 条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第 3 条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第 4 条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和 41 年 4 月 1 日制定

昭和 45 年 1 月 22 日一部改定

昭和 48 年 7 月 10 日一部改定

昭和 54 年 5 月 9 日一部改定

平成 17 年 6 月 16 日一部改定

平成 22 年 3 月 17 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年 4 月 1 日）から施行する。

平成 30 年 4 月 1 日一部改定

令和 6 年 1 月 1 日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第 1 条 国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第 1 位の都道府県に授与する。

2 第 1 位が 2 都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第 2 条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第 3 条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第 1 条第 2 項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第 4 条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和 41 年 4 月 1 日制定

昭和 45 年 1 月 22 日一部改定

昭和 48 年 7 月 10 日一部改定

昭和 54 年 5 月 9 日一部改定

平成 17 年 6 月 16 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年 4 月 1 日）から施行する。

平成 30 年 4 月 1 日一部改定

令和 6 年 1 月 1 日一部改定

令和7年7月31日現在
(順不同・敬称略)

– 12 –



顧	問	田 藤 藤 大河 小 寺 金 茂 大 こ 目 伊 有 坂 藤 砂 豊 村 町 番 寶 鶴 福 山 馳 田 西 宮 苅 大 甲 玉 刅 井 小 河 九	中 本 本 原 嘉 菅 澤 城 里 岡 やり 片 藤 森 田 岡 井 田 匠 田 富 本 口 脇 崎 田 塚 斐 城 井 狩 川 井 里	稔 武 格 朗 司 孝 邦 毅 孝 史 悟 勉 子 一 志 治 男 満 男 一郎 馨 司 一 博 浩 隆 俊 泉 英 男 博 ニ 子 也 江 成 学	馬 小 岩 川 宇 山 赤 浅 嘉 斎 村 草 鈴 三 三 金 千 永 大 久 荒 吉 遠 岡 杉 中 高 林 村 服 麻 大 今 奥 川 桑	越 柳 元 上 津 木 口 松 野 田 藤 井 野 木 須 屋 丸 谷 野 保 川 村 藤 田 本 谷 橋 岡 部 生 杉 江 村 島 野	祐 勝 幸 隆 妙 純 敦 由 アレックス 泰 聖 大 和 裕 恭 玄 喜 正 素 裕 美 祐 伸 達 多 知 昭 嗣 誠 益 住 政 芳 隆 仁	希 彦 成 弘 子 子 健 行 紀 子 彦 地 地 泰 子 文 室 一郎 次 子 生 榮 子 司 浩 治 二 史 男 政 太郎 直 子 彦 正 二 仁	青 辛 平 佐 菊 武 増 有 北 武 北 杉 宮 仲 富 安 中 真 世 丹 小 北 大 花 高 大 齋 丸 後 山 日 赤 岩 海 河 駒	木 木 良 藤 部 子 村 野 村 村 浦 本 間 山 道 村 砂 耕 羽 谷 村 野 角 野 村 藤 山 田 口 隈 井 崎 東 村 井	章 秀 朝 廣 幸 治 裕 展 嘉 和 恒 達 英 光 真 弘 秀 知 清 元 英 秀 元 達 正 祥 俊 康 和 英 浩 千	泰 子 治 子 一 新 宏 子 子 英 英 人 靖 也 明 二 一 威 成 樹 也 士 裕 世 剛 章 彦 也 純 義 郎 彦 也 和 史 代	城 宮 藤 奈 小 野 矢 上 小 宮 小 永 深 川 馬 河 牧 土 笹 岩 達 大 熊 新 阿 伊 池 越 楨 大 塩 有 小 加 桐 佐	戸 成 原 良 林 中 野 寺 本 椋 浜 澤 合 場 田 島 田 川 城 増 井 谷 田 部 藤 宗 田 石 田 口	英 康 正 久 和 賢 裕 和 正 明 祐 俊 益 正 かれん 雅 善 光 拓 和 俊 八 守 歳 誠 孝 賢 康 國 文 誠 真 佳	敏 藏 樹 隆 美 厚 彦 一郎 雄 宏 清 子 二 一 弘 也 人 弘 英 也 彦 人 朗 一 恭 也 昌 實 吾 一 俊 人 一 人 恵
---	---	---	---	---	---	--	--	--	---	--	---	---	---	---	--	---

参 与



- 14 -



委	員	中	梶	秀	則		安	藤	正	美		加	藤	憲	二		宮	川	良	輔
		鈴	木	章	広		川	口		巖		和	田		潔		岡	泉		茂
		田	口	大	祐		平	井	宏	治		岸	川	剛	之		西	原	斗	司
		菅	原	正	幸		高	橋		昇		長	南	哲	生		衛	藤	敬	輔
		渡	辺	久	雄		三	井	千	壽		鈴	木	信	吾		山	中	博	史
		井	本		亘		関	根	明	子		中	山	二	三		越	前	浩	司
		吉	田	由	美		杉	本	好	二		東	野	眞	理		川	口	雅	三
		金	子	和	裕		野	口	友	里		品	治	恵	子		富	澤	佑	也
		政	岡	航	大		坊		百	花		小	河	百	映		田	口	雅	紀
		寺	垣	佑	介		田	中	遥	大		宇	高	弘	昭		近	藤		潤
		南	野	芳	広		池	本	佳	子		横	江	和	紀		沼	波		輝
		門		久	仁		清	水	直	敦		高	井	尚	男		見	田	茂	紀
		加	藤	雄	樹		鈴	木		規		瀬	谷	直	史		大	貫	大	輔
		太	田	真	美		高	野	正	暢		岩	埜	由	香		深	谷	祐	紀
		金	田	貴	人		新	保		行		戒	田		里		児	玉	晶	香
		村	松	達	也		井	澤	克	隆		林		剛	史		稻	葉	晴	伸
		杉	浦	美	紀		藤	田	隆	司		曾	我		学		木	原	哲	也
		高	橋	健	二		吉	村	宗	浩		中	嶋	純	也		前	田	康	博
		松	本	守	正		松	本	綾	子		田	口	新	也		河	口	英	史
		久	次	和	成		高	田	孝	行		辻	岡	英	幸		前	田	義	朗
		笠	井	康	行		尾	鷺	一	成		松	山	度	良		濱	本	昌	宏
		吉	野	賢	一		横	山	美	和		山	元	尚	史		宮	城	直	人
		高	野	瑞	洋		遠	藤	信	哉		千	葉	雅	也		菅	間	裕	晃
		須	藤	勇	司		角	田	眞	司		柄	澤	宏	之		竹	内	延	和
		東	瀬	義	人		酒	井	雅	洋		碓	井		稔		武	田	知	巳
		井	上		哲		今	後	元	彦		沼	田	守	弘		田	部	長	右
		竹	内	俊	勝		松	井		守		吉	岡	直	彦		刈	谷	好	孝
		寺	崎	雅	巳		荒	木	健	治		平	江	公	一		黒	木	淳	一郎
		渡	嘉	敷	之		綾	部	吉	也										



競技会役員

令和 7 年 9 月 29 日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	佐藤健司	櫻本直樹	橋川渉	
会長	島田慎二			
副会長	多田明弘	高橋雅弘	宇野正信	小野清司
	山本博一	奥村芳正	伊藤義樹	吉川一仁
顧問	岩城弘宜			
	萩原一利	石黒一之	赤坂俊幸	佐々木桂二
	千田裕之	大神訓章	佐藤淳一	岡田裕昭
	小曾戸和彦	銭谷和雄	吉敷賢一郎	野村俊郎
	橋本信雄	半田真一郎	古谷昭彦	夏目敏一
	鷲尾英一郎	野上浩太郎	青木隆	山岸俊一
	新井裕輔	田中敏博	加藤宣明	八木秀行
	福山哲郎	山岡秀雄	宮倉義輝	奥田晃志
	南條輝志男	牧尚志	福田正明	辻尚志
	岡嶋鉄也	河村建夫	福井秀樹	出射隆文
	松尾和久	池康晴	祖岩亨道	中尾善藏
	桑原洋征	加藤裕三	神戸博明	鮫島俊秀
	日越延利	草野聖地	山本剛也	西村隆行
参与	島崎輝久	北脇泰久	藤田雅也	
	平井和博	三輪隆樹	杉澤和雄	山本茂喜
	松田秋子	箕浦博樹	大菅志濃夫	岡野毅博
	岡本直輝	奥俊一郎	奥村和彦	原毅人
	川嶋典明	北川晴雄	清川佳子	草野圭司
	久保山寛	後藤明彦	西條義信	滋賀樹義
	七里源一	末松史彦	菅井孝明	諏訪武仁
	高木和久	茶谷不二雄	徳富敬一	西澤基治
	拜藤國彦	馬場健之	林三郎	藤野智誠
	堀井博樹	水野裕美	三和郁子	横田誠一
	若野哲夫	團初太郎	目片清明	安西将也
	中山敦生	野々口義信	富波義明	駒井朔男
	黒川孝治	小傳良輝男	馬場久昭	草川肇
	小林宣彦	東田敏郎	須田武志	尾松素樹
	服部和平	山本増夫	細川俊行	細川力男
	葉月陽	浜奥修利	栞野靖七	青山三四郎
	井元潔平	奥村功徳	改田勝彦	笠谷洋佑
	嘉田修平	川口正徳	幸光正嗣	小島義雄



参	与	佐藤弘	杉浦智子	竹内照夫	竹内基二
田中久	田中久	田中久	田中久	田中久	田中久
寺田幸	寺田幸	寺田幸	寺田幸	寺田幸	寺田幸
八田児	八田児	八田児	八田児	八田児	八田児
日隈慈	日隈慈	日隈慈	日隈慈	日隈慈	日隈慈
森脇謙	森脇謙	森脇謙	森脇謙	森脇謙	森脇謙
岩井智恵子	岩井智恵子	岩井智恵子	岩井智恵子	岩井智恵子	岩井智恵子
鈴木明	鈴木明	鈴木明	鈴木明	鈴木明	鈴木明
橋嶋志	橋嶋志	橋嶋志	橋嶋志	橋嶋志	橋嶋志
山崎昇	山崎昇	山崎昇	山崎昇	山崎昇	山崎昇
杉江達郎	杉江達郎	杉江達郎	杉江達郎	杉江達郎	杉江達郎
伊吹覚	伊吹覚	伊吹覚	伊吹覚	伊吹覚	伊吹覚
遠藤治	遠藤治	遠藤治	遠藤治	遠藤治	遠藤治
田中織	田中織	田中織	田中織	田中織	田中織
田村靖二	田村靖二	田村靖二	田村靖二	田村靖二	田村靖二
本田亘美	本田亘美	本田亘美	本田亘美	本田亘美	本田亘美
我孫子康	我孫子康	我孫子康	我孫子康	我孫子康	我孫子康
北瀬尚	北瀬尚	北瀬尚	北瀬尚	北瀬尚	北瀬尚
苗村英一	苗村英一	苗村英一	苗村英一	苗村英一	苗村英一
川嶋弘	川嶋弘	川嶋弘	川嶋弘	川嶋弘	川嶋弘
岡堀典	岡堀典	岡堀典	岡堀典	岡堀典	岡堀典
南昭巳	南昭巳	南昭巳	南昭巳	南昭巳	南昭巳
辻村篤朗	辻村篤朗	辻村篤朗	辻村篤朗	辻村篤朗	辻村篤朗
西施一昌	西施一昌	西施一昌	西施一昌	西施一昌	西施一昌
布角裕弘	布角裕弘	布角裕弘	布角裕弘	布角裕弘	布角裕弘
野村三正	野村三正	野村三正	野村三正	野村三正	野村三正
板垣弘	板垣弘	板垣弘	板垣弘	板垣弘	板垣弘
高松三	高松三	高松三	高松三	高松三	高松三
福田正	福田正	福田正	福田正	福田正	福田正
武田和	武田和	武田和	武田和	武田和	武田和
清河英	清河英	清河英	清河英	清河英	清河英
木村善	木村善	木村善	木村善	木村善	木村善
荒谷善	荒谷善	荒谷善	荒谷善	荒谷善	荒谷善
杉田吉	杉田吉	杉田吉	杉田吉	杉田吉	杉田吉
浦谷英	浦谷英	浦谷英	浦谷英	浦谷英	浦谷英
智康	智康	智康	智康	智康	智康
子博	子博	子博	子博	子博	子博
寛り	寛り	寛り	寛り	寛り	寛り
晶宏	晶宏	晶宏	晶宏	晶宏	晶宏
文市郎	文市郎	文市郎	文市郎	文市郎	文市郎
陽介	陽介	陽介	陽介	陽介	陽介
嘉雄	嘉雄	嘉雄	嘉雄	嘉雄	嘉雄
仁雄	仁雄	仁雄	仁雄	仁雄	仁雄
嗣資	嗣資	嗣資	嗣資	嗣資	嗣資
雄德	雄德	雄德	雄德	雄德	雄德
智子	智子	智子	智子	智子	智子
勝美	勝美	勝美	勝美	勝美	勝美
等步	等步	等步	等步	等步	等步
幸生	幸生	幸生	幸生	幸生	幸生
幸彦	幸彦	幸彦	幸彦	幸彦	幸彦
哉治	哉治	哉治	哉治	哉治	哉治
和明	和明	和明	和明	和明	和明
一樹	一樹	一樹	一樹	一樹	一樹
秀彰	秀彰	秀彰	秀彰	秀彰	秀彰
治乘	治乘	治乘	治乘	治乘	治乘
三英	三英	三英	三英	三英	三英
樹	樹	樹	樹	樹	樹
谷	谷	谷	谷	谷	谷
中	中	中	中	中	中
渡	渡	渡	渡	渡	渡
内	内	内	内	内	内
川	川	川	川	川	川
本	本	本	本	本	本
川	川	川	川	川	川
下	下	下	下	下	下
村	村	村	村	村	村
田	田	田	田	田	田
井	井	井	井	井	井
垣	垣	垣	垣	垣	垣
江	江	江	江	江	江
上	上	上	上	上	上
成	成	成	成	成	成
本	本	本	本	本	本
西	西	西	西	西	西
出	出	出	出	出	出
辻	辻	辻	辻	辻	辻
川	川	川	川	川	川
村	村	村	村	村	村
國	國	國	國	國	國
坂	坂	坂	坂	坂	坂
池	池	池	池	池	池
田	田	田	田	田	田
中	中	中	中	中	中
川	川	川	川	川	川
田	田	田	田	田	田
浦	浦	浦	浦	浦	浦
井	井	井	井	井	井
谷	谷	谷	谷	谷	谷
崎	崎	崎	崎	崎	崎
畑	畑	畑	畑	畑	畑
尾	尾	尾	尾	尾	尾
谷	谷	谷	谷	谷	谷
辺	辺	辺	辺	辺	辺
一	一	一	一	一	一
生	生	生	生	生	生
出	出	出	出	出	出
中	中	中	中	中	中
伴	伴	伴	伴	伴	伴
森	森	森	森	森	森
稲	稲	稲	稲	稲	稲
小	小	小	小	小	小
東	東	東	東	東	東
山	山	山	山	山	山
西	西	西	西	西	西
瀬	瀬	瀬	瀬	瀬	瀬
八	八	八	八	八	八
服	服	服	服	服	服
野	野	野	野	野	野
山	山	山	山	山	山
関	関	関	関	関	関
山	山	山	山	山	山
國	國	國	國	國	國
初	初	初	初	初	初
内	内	内	内	内	内
菊	菊	菊	菊	菊	菊
小	小	小	小	小	小
高	高	高	高	高	高
川	川	川	川	川	川
駒	駒	駒	駒	駒	駒
岸	岸	岸	岸	岸	岸
金	金	金	金	金	金
黒	黒	黒	黒	黒	黒
杉	杉	杉	杉	杉	杉
萩	萩	萩	萩	萩	萩
菊	菊	菊	菊	菊	菊
稻	稻	稻	稻	稻	稻
新	新	新	新	新	新
北	北	北	北	北	北
井	井	井	井	井	井
前	前	前	前	前	前
藤	藤	藤	藤	藤	藤
原	原	原	原	原	原
健	健	健	健	健	健
二	二	二	二	二	二
美	美	美	美	美	美
子	子	子	子	子	子
昭	昭	昭	昭	昭	昭
な	な	な	な	な	な
亮	亮	亮	亮	亮	亮
子	子	子	子	子	子
己	己	己	己	己	己
子	子	子	子	子	子
剛	剛	剛	剛	剛	剛
海	海	海	海	海	海
人	人	人	人	人	人
比	比	比	比	比	比
郎	郎	郎	郎	郎	郎
子	子	子	子	子	子
和	和	和	和	和	和
子	子	子	子	子	子
生	生	生	生	生	生
徳	徳	徳	徳	徳	徳
成	成	成	成	成	成
宏	宏	宏	宏	宏	宏
幸	幸	幸	幸	幸	幸
人	人	人	人	人	人
治	治	治	治	治	治
昭	昭	昭	昭	昭	昭
久	久	久	久	久	久
行	行	行	行	行	行
彦	彦	彦	彦	彦	彦
一	一	一	一	一	一
浩	浩	浩	浩	浩	浩
早	早	早	早	早	早
康	康	康	康	康	康
文	文	文	文	文	文
敏	敏	敏	敏	敏	敏
克	克	克	克	克	克
貢	貢	貢	貢	貢	貢
則	則	則	則	則	則
誠	誠	誠	誠	誠	誠
優	優	優	優	優	優
一	一	一	一	一	一
茂	茂	茂	茂	茂	茂
也	也	也	也	也	也
一	一	一	一	一	一
二	二	二	二	二	二



参 与	二石岸田北間山入佐合高木田渡野新増山大大西池王清木岡小	宮井畑川本江野田橋原畑邊村庄田花江神村本水村森	康智昭郎紀太郎嗣勝次宏夫彦泉信貞貴博英修雄育忠立健九雅正	人智昭郎紀太郎嗣勝次宏夫彦泉治夫史徳司子浩好人宏十九則人	小久田大田大辻辻前浮若南羽中村幸道井手口田屋元音井川田澤村	椋保矢森中岡敏幹基為豊浩千賢村幸道口田屋元音井川田澤村	正洋隆聖敏幹基為豊浩千賢敬志直健憲清政義	清司一一勉孝雄裕夫史二秋一道孝子保樹司吾士聡和樹隆	こやり西人八金川永前川奥片杉上田秀樹鷹野志裕正慎茂幸竜信廣助桂	隆和正博達利ひとみ展秀信志裕正慎茂幸竜信廣助桂	史元宏樹美夫行聡み三之一穂花昭久雄生太晴意典子	田米杉大前杉宇西永西河横大塩河及田寺小田柿中山村下	濃田原西川田野村井井野川臥田柿中山村下	良博真延賢浩一郎比呂健茂司成暢宏晋勇幸優頼善恭秀	和文也明慈一郎久健茂司成暢子平太均男志子則弘巳
	競技会委員長	渡野新増山大大西池王清木岡小	邊村庄田花江神村本水村森	信貞貴博英修雄育忠立健九雅正	中村幸道	井手口田屋元音井川田澤村	敬志直健憲清政義	孝子保樹司吾士聡和樹隆	上田秀樹	志裕正慎茂幸竜信廣助桂	穂花昭久雄生太晴意典子	大塩河及田寺小田柿中山村下	野川臥田柿中山村下	宏晋勇幸優頼善恭秀	子平太均男志子則弘巳
	競技会副委員長	渡野新増山大大西池王清木岡小	邊村庄田花江神村本水村森	信貞貴博英修雄育忠立健九雅正	中村幸道	井手口田屋元音井川田澤村	敬志直健憲清政義	孝子保樹司吾士聡和樹隆	上田秀樹	志裕正慎茂幸竜信廣助桂	穂花昭久雄生太晴意典子	大塩河及田寺小田柿中山村下	野川臥田柿中山村下	宏晋勇幸優頼善恭秀	子平太均男志子則弘巳
競技会委員長	渡野新増山大大西池王清木岡小	邊村庄田花江神村本水村森	信貞貴博英修雄育忠立健九雅正	中村幸道	井手口田屋元音井川田澤村	敬志直健憲清政義	孝子保樹司吾士聡和樹隆	上田秀樹	志裕正慎茂幸竜信廣助桂	穂花昭久雄生太晴意典子	大塩河及田寺小田柿中山村下	野川臥田柿中山村下	宏晋勇幸優頼善恭秀	子平太均男志子則弘巳	



競技役員

令和7年9月1日現在
(順不同・敬称略)

総括	野村 貞夫						
副総括	五十嵐 慎久	福元 直樹	渡邊 浩二				
総務委員長	福元 直樹						
総務副委員長	田中 助典 (大津会場)	土屋 俊之 (大津会場)	児玉 庄次 (野洲会場)	花房 真夕 (野洲会場)	神谷 信広 (草津会場)		
	中西 祐二 (草津会場)						
総務委員 (大津会場)	野村 幸生	保田 弥生	國門 香奈恵	奥田 信子	西澤 春菜		
	山内 幸	芝山 公子	柳田 功	箕浦 司			
(野洲会場)	上林 敏恵	三田村 宏一	川上 竜樹	三添 研司	福永 博和		
	長 彩	甲藤 雅彦	甲藤 見取				
(草津会場)	五十嵐 愛	氏原 尚子	服部 藍	吉岡 佐記子	津賀 美恵子		
	寺町 直記						
放送・式典委員長	春山 頼子						
放送・式典副委員長	正木 幸子 (大津会場)	濱頭 めぐみ (野洲会場)	村山 由美 (草津会場)				
放送・式典委員 (大津会場)	安井 奈津子	宮島 佳子	吉川 真由美	上田 桃子	丹治 ころこ		
	赤井 七海						
(野洲会場)	井野 美帆	福井 道昭	西野 知恵子	濱頭 風花			
(草津会場)	西川 麻起子	津田 江利子	福永 裕子				
競技委員長	五十嵐 慎久						
競技副委員長	三澤 裕	中澤 亨	増田 博徳	西村 育浩 (大津会場)	西澤 毅 (大津会場)		
	山本 茂雄 (野洲会場)	片岡 秀教 (野洲会場)	宮本 博夫 (草津会場)	大音 健司 (草津会場)			
競技委員 (大津会場)	奥村 公滋	足立 亮	黒崎 浩暉	結城 郁	野田 宏		
	尾村 崇浩	隼 瀬 憲一郎					
(野洲会場)	井上 隆宏	成瀬 宙元	小林 富美一	岩波 正樹			
(草津会場)	大前 雅裕	中島 正登	佐々木 健一	門松 亜実	藤原 恵子		
	石見 寧那						
会場施設委員長	安富 太介						
会場施設副委員長	岩井 憲吾 (大津会場)	川西 尚二 (野洲会場)	小森 正人 (野洲会場)	草野 翔 (草津会場)	辻 尚樹 (草津会場)		



会場施設委員 (大津会場)	藤 村 享 史	川 端 竜 太	望 月 健 司	種子田 孝 彦	戸 島 康 博
	久 保 志 帆				
(野洲会場)	中 村 幸 道	田 中 延 美	松 岡 健 太		
(草津会場)	木 村 正 邦	園 内 久仁彦	草 川 透	南 部 康 弘	
審 判 委 員 長	前 田 喜 庸				
審判副委員長	小 澤 勤	上 田 篤 拓	田 中 優 志		
審 判 委 員	堀 田 幸 一	土 門 亮 太	板 谷 修 平	丸 山 詩 織	了 舟 文 弥
	武 藤 沙 紀	北 村 仁	津 田 弥 子	山 田 佳 奈	野 田 宏 樹
	柳 生 志 乃	小 畑 治	大 野 哲 広	富 島 健 司	細 見 竜 太
	伊 藤 亮 介	大 倉 哲 也	浅 野 祐 樹	小 出 聡 子	那 須 弘 幸
	飯 尾 勝 紀	辻 健太郎	嶋 崎 貴	嶋 崎 尚 美	幡 丸 登志久
	早 崎 康 祐	深野木 慧	小 松 綾 実	河 崎 亮 介	伊 達 桃 子
	汐 野 壱 歩	東 谷 昌 弥	栗 山 一 平	笹 川 尚 宏	矢 野 涼 介
	北 山 拓 海	新居田 はなの	石 井 寛 都	高 畑 昇 平	石 川 淳 也
	川 路 宗 勅	加 藤 毅	陳 海 登	堂 國 和 昭	西 川 恵 輔
	鈴 木 恵里奈	真 下 香 子	山 下 大 輔	大 溝 貴 広	高 木 悠
	赤 井 正 史	嶋 田 博 昭	木 村 裕 也	塚 本 圭 右	花 谷 慎 子
	田 中 真 規	相 澤 慎之介	加 藤 始	佐 多 裕 樹	田 上 敬 一
	今 正 之	上 西 星 太	佐 藤 慎 士	堤 健太郎	加 藤 加 織
	渡 邊 浩 二	松 原 伊 吹	山 本 毅	山 本 聡	玉 木 真
	外 川 雄 介	田 村 拓 己	高 木 圭	中 村 隼 規	岡 本 健太郎
	奥 田 耕 士	宮 田 光 博	小 西 由 依	松 井 悠 美	飛 戸 洋 美
	大 前 雅 裕	長 井 一 哉	岡 本 貴 文	苗 村 幸 弘	加 藤 善 明
	鉢 窪 駿 斗	中 川 大 州	山 本 貴 彦	中 西 大 延	麻 田 優
	森 拓 哉	杉 江 功 多	石 見 寧 那	福 井 大 輝	保 知 星 河
	石 塚 三穂子	片 岡 秀 教	朝 比 寿 子	西 村 峻 介	杉 元 勇 仁
	上 田 聡一郎	麻 原 七 星	宮 腰 周	市 川 和 弘	小 森 裕 紀子
	岡 本 健	多 賀 伸 治	藤 田 權 也	梶 井 貴 弘	佐 藤 曜 始
	西 村 拓 也	竹 村 優 輝	西 銘 鉄 矢	薦 公 雄	川 邊 祥 史
	福 田 真由美	増 井 洸 介	田 中 友美子	田 中 麻 子	中 村 真理子
	小 森 脩 矢				
T O 委 員 長	王 立 人				
T O 副委員長	和 嶋 陽 一	横 江 光	松 居 哉	東 出 俊 一	能 登 聖 太
		(大津会場)	(野洲会場)	(野洲会場)	(野洲会場)
	馬 場 恵 子	沢 井 芳 崇			
	(草津会場)	(草津会場)			



T O 委 員 (大津会場)	山 本 浩 之	田 中 利 弘	福 田 遼	西 村 大 輝	梶 本 祥 史
	徳 原 真 也	村 松 秀 太	安 江 初 月	小 森 隆 浩	花 城 一 誠
	漣 夢 大	山 本 隆 一	吉 永 海 渡		
(野洲会場)	北 村 祐 貴	田 濃 南	日根野 秀 平	小 西 信 昭	中 島 友希乃
(草津会場)	木 本 章 紀	篠 原 朋 宏	成 谷 洸 香	横 江 英 彦	鉢 窪 駿 斗
	藤 原 純 平				
記録・報道委員長	小 関 優 花				
記録・報道副委員長	豆 田 浩 一 (大津会場)	森 敏 浩 (野洲会場)	北 居 雅 (草津会場)	西 村 亮 太 (草津会場)	
(サブスコア担当)	中 畑 俊 平 (大津会場)	西 田 幸 司 (大津会場)	穂 上 太 郎 (大津会場)	志富田 直 喜 (野洲会場)	野 田 咲 幸 (野洲会場)
	平 川 清 士 (草津会場)	北 村 菜 央 (草津会場)			
記録・報道委員 (大津会場)	寺 西 慶 通	岡 田 裕 也			
	川 越 康 平	箕 形 明香里	河原崎 祐 嗣	楠 本 雅 司	加 藤 樹
(サブスコア担当)	木 部 岳 詩	水 原 祥 雄	山 中 理 夫	瀧 亮太郎	高 尾 昂
(野洲会場)	石 黒 加 奈	久 松 なつき	高 橋 聖 香	藤 吉 真 希	
(サブスコア担当)	保 知 星 河	中 村 将 士	右 近 詩 歩	松 居 茂 雄	西 垣 和 英
	浅 川 雄 大				
(草津会場)	山 本 剛 規	石 原 加 奈	村 沢 和 志	本 多 美紗希	
(サブスコア担当)	日下部 春	山 本 龍之介	西 川 悠 麻	脇 友 美	佐 治 瑞 穂
	谷 口 晋 吾	武 田 有 菜			
総合成績計算委員長	山 花 英 司				
総合成績計算副委員長	品 田 奥 義	石 坂 雅 彦			
総合成績計算委員	小 林 萌 子	神 谷 陸 斗			



競技補助員・競技会係員・競技会補助員

競技補助員

【滋賀ダイハツアリーナ(成年男子・少年男子)】

びわこ成蹊スポーツ大学女子バスケットボール部
 滋賀県立東大津高等学校男子バスケットボール部
 滋賀県立石山高等学校男子バスケットボール部
 滋賀県立瀬田工業高等学校男子バスケットボール部
 滋賀県立大津商業高等学校男子バスケットボール部
 滋賀県立大津商業高等学校女子バスケットボール部
 滋賀県立河瀬高等学校男子バスケットボール部
 滋賀県立彦根翔西館高等学校男子バスケットボール部
 滋賀県立玉川高等学校男子バスケットボール部
 滋賀県立大津高等学校放送部
 滋賀県立草津東高等学校放送部

【野洲市総合体育館(成年女子)】

滋賀県立八幡商業高等学校女子バスケットボール部
 滋賀県立八幡高等学校女子バスケットボール部
 滋賀県立彦根工業高等学校男子バスケットボール部
 滋賀県立彦根東高等学校男子バスケットボール部
 滋賀県立守山高等学校放送部

【YMITアリーナ(少年女子)】

滋賀県立国際情報高等学校男子バスケットボール部
 滋賀県立国際情報高等学校女子バスケットボール部
 滋賀県立玉川高等学校女子バスケットボール部
 滋賀県立石山高等学校女子バスケットボール部
 滋賀県立東大津高等学校女子バスケットボール部
 滋賀県立草津高等学校男子バスケットボール部
 近江兄弟社高等学校女子バスケットボール部
 滋賀県立国際情報高等学校放送部

競技会係員・競技会補助員

競技会係員(実施本部)

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
 大津市実施本部一同
 野洲市実施本部一同
 草津市実施本部一同

競技会補助員

大津市ボランティア一同
 野洲市ボランティア一同
 草津市ボランティア一同



総 則

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実 施 方 針

1 実施競技

(1) 正式競技 (37 競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技 (7 競技)

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストレーションスポーツ (26 競技)

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カラーリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウエルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカロム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレーボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第 3 (初代・二代目)

(4) 特別競技 (1 競技)

高等学校野球



2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技 (15 市、4 町 : 計 19 市町)

会 期	会 場 地
2025年 9 月28日(日) ～ 10月 8 日(水) 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年 9 月 6 日(土) ～ 9 月15日(月) 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場で実施
2025年 9 月21日(日) ～ 9 月25日(木) 〔5 日間〕	東近江市、京都府向日市 ※自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場で実施

(2) 公開競技 (7 市 : 計 7 市町)

会 期	会 場 地
2025年 8 月23日(土) ～ 9 月21日(日)	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストラレーションスポーツ (13 市、1 町 : 計 14 市町)

会 期	会 場 地
2025年 4 月12日(土) ～ 9 月14日(日)	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。



5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ) b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）



- e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者
 - b 結婚または離婚に係る者
 - c 一家転住に係る者（別記 2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
- [注] a から c は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記 3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
 - e 東日本大震災に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
 - f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ 1 競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帯同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の 1 年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記 1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。



イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第 1 条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記 3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025 年 4 月 30 日以前から本大会終了時(2025 年 10 月 8 日)まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記 4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記 5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記 6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記 2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記 4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記 5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記 6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

- ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。
 - (ア) 成年種別に参加する者は、2007 年 4 月 1 日以前に生まれた者とする。
 - (イ) 少年種別に参加する者は、2007 年 4 月 2 日から 2010 年 4 月 1 日までに生まれた者とする。
 - (ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025 年 4 月 1 日を基準とする。
- イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学 3 年生（2010 年 4 月 2 日から 2011 年 4 月 1 日までに生まれた者）とする。

- (4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する。



6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

- (1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績(天皇杯得点)および女子総合成績(皇后杯得点)とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
種別	4 人以下	24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点
	5 人以上 7 人以下	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	15 点	10 点	5 点
	8 人以上	64 点	56 点	48 点	40 点	32 点	24 点	16 点	8 点
種目	—	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

〔注〕「種別」:種別などに与える競技得点「種目」:種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会(ブロック大会を含む。)に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。
ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。
- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表 彰

- (1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別および各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員(監督を含む)の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員(監督を含む)の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。



8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込むものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。
なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締切日	競 技
2025年 8 月20日(水) 【12 競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025年 9 月 4 日(木) 【27 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6 人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。



区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3,000 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6,000 円

〔注〕 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025 年 9 月 5 日(金)

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。

12 都道府県選手団本部役員編成

(1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。

イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。

(2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。

(3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

(4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

(5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。

(6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日(木) までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

(1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県 100 名以内、宮崎県および長野県 60 名以内、群馬県および島根県 40 名以内とする。



- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日(木)までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 AD カードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者には AD カード (Accreditation Card) を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報および肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体(以下「国スポ関係機関・団体」という。)は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果(記録)等

競技結果(記録)については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載



- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】
(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は 1 人 1 競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において



別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。
- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。
- (7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員ならびにその他選手団役員とする。
- (2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり 1,000 円）を、日本スポーツ協会に納入する。
- (3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

- (1) 環境に配慮した大会の実施
スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。
- (2) おもてなしと滋賀の魅力発信
豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。
- (3) 誰もが主役として輝ける取組の推進
年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

- (1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が



判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

- (3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項〔国民スポーツ大会開催基準要項第 8 項第 1 号および第 10 項第 4 号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第 3 項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の 4 月 30 日（冬季大会は前年の 4 月 30 日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」に登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項 - (1) - ③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1 回につき 2 年以上連続とし、利用できる回数は 2 回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。



別記 2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項 - (1) - 1) - ③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記 2 (1) の場合は転居元、下記 2 (2) の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記 2 (1) の場合は転居先、下記 2 (2) の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記 1 に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項〔国民スポーツ大会開催基準要項第 8 項第 1 号および第 10 項第 4 号（参加資格および年齢基準等）〕および別記 1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の 2～4 の特例を適用する。

- 1 対象者
 - (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
 - (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者



2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第 1 項 - (1) に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項 - (1) - (2) - ② に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第 1 条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」本特例第 1 項 - (2) に定める成年種別年齢域の選手は、別記 1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第 2 項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第 1 項 - (1) に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項 - (1) - (1) - ③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第 1 項 - (2) に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項 - (1) - (1) - ③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記 4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第 33 回オリンピック競技大会（2024 年・パリ）に参加した者。
- (2) 2025 年 4 月 30 日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者
 - ア JOC オリンピック強化指定選手
 - イ 各競技（種目）における国内ランキング上位 10 位以内の者
 - ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上の



カテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025 年 4 月 30 日以前から大会終了時（2025 年 10 月 8 日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025 年 4 月 30 日以前から大会終了時（2025 年 10 月 8 日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項 - (1) - 1) - ③のとおりとする。



別記 5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の 6 県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011 年 3 月 11 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025 年 4 月 30 日以前から大会終了時（2025 年 10 月 8 日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項 - (1) - 1) - ③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011 年 3 月 11 日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が 2025 年 4 月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県



の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項 - (1) - 1) - ③ (国内移動選手の制限) には抵触しないものとする。

< 例 > ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011 年度から 2012 年度（小学校は 2015 年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記 6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の 4 県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または



「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024 年 1 月 1 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025 年 4 月 30 日以前から当該大会終了時（2025 年 10 月 8 日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項 - (1) - 1) - ③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024 年 1 月 1 日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が 2025 年 4 月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項 - (1) - 1) - ③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。



< 例 > ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」
または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」
選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024 年度から 2025 年度（小学校は 2028 年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。



バスケットボール競技実施要項

1 期 日 2025 年 10 月 3 日(金)から 10 月 7 日(火)まで(5 日間)

種 別	10月3日(金)	10月4日(土)	10月5日(日)	10月6日(月)	10月7日(火)
成年男子	1 回 戦	準々決勝	準 決 勝	決 勝	
成年女子		1 回 戦	準々決勝	準 決 勝	決 勝
少年男子	1 回 戦	2 回 戦	準々決勝	準 決 勝	決 勝
少年女子	1 回 戦	2 回 戦	準々決勝	準 決 勝	決 勝

2 会 場

大津市 (成年男子) 滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)
(少年男子) 滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)
野洲市 (成年女子) 野洲市総合体育館
草津市 (少年女子) YMIT アリーナ (くさつシティアリーナ)

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合計(人)
成年男子	1	11	16	192	1,024
成年女子	1	12	16	208	
少年男子	1	12	24	312	
少年女子	1	12	24	312	

(1) 成年男女において選手と監督は兼任できる。

※今年度の成年男子においては、選手と監督を兼任した場合、選手の人数を最大 12 名登録することができる。

(2) 選手の人数は最大 12 名とする。

4 スポーツ・ハラスメントについて

今大会に出場する指導者、選手、チーム関係者、大会運営者、その他全ての関係者は、「暴力暴言、ハラスメントなどの不適切行為（スポハラ）を排除し、安全・安心な大会になるよう心がける。」

5 競技上の規定及び方法

- (1) 競技規則は、現行の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則による。
- (2) 大会期間中の競技に関する（競技場内における競技・運営等含め）最終決定は、JBA 国スポ委員会にて行う。運営・競技に関わる関係者は、その全てにおいて JBA に情報を共有しなければならない。JBA は、決定事項を他主催者に共有する。
- (3) 各種別とも都道府県対抗トーナメント方式とし、3 位以降の決定戦は行わない。
- (4) 試合時間は、全種別とも次表のとおりとする。



前 半			休 憩	後 半		
第 1 クォーター	休憩	第 2 クォーター		第 3 クォーター	休憩	第 4 クォーター
10 分	2 分	10 分	10 分	10 分	2 分	10 分

(5) ユニフォームに関しては、JBA OFFICIAL BASKETBALL RULES に則り、公益財団法人日本バスケットボール協会ユニフォーム規則を参考とする。

ア 参加チームは、濃淡 2 色のユニフォームを用意しなければならない。

イ ユニフォームの前面にユニフォームの色と異なり、明確に識別できる単色の文字で都道府県名を付けなければならない。(漢字でなくても良い)

都道府県名における縁取りおよび文字の大きさについては、公益財団法人日本バスケットボール協会が定めるユニフォーム規則に則る。

ウ ユニフォームの番号は、0、00 および 1 から 99 までとする。

エ その他、ユニフォームに付けることが出来るものの詳細については、公益財団法人日本バスケットボール協会ユニフォーム規則の別表 2 に則る。

オ ユニフォームは、会社名、クラブ名、学校名は必ず完全に見えないように被覆のこと。また、大会参加時に着用するトレーニングウェア（上下）においても同様とする。

6 予選方法

- (1) 各都道府県は、種別ごとに都道府県大会を実施し、ブロック大会及び本大会に出場する代表チームを決定する。
- (2) 各ブロック大会を主管する都道府県バスケットボール協会は、本大会実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に出場する代表を決定する。
- (3) 各ブロック大会を主管する都道府県バスケットボール協会は、当該ブロック大会の日程及び会場について、2025 年 6 月 5 日(木)までに公益財団法人日本バスケットボール協会に報告すること。
- (4) 各ブロック大会区分及びその代表チーム数は次表のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	3	3
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	2	4	4
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	2	2	2
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	2	2
近 畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	2	3	3
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	2	2	2
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	2	2
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2	4	4
開催県	滋賀	1	1	1	1
計		16	16	24	24



- (5) 各都道府県バスケットボール協会は、ブロック大会参加申込み時に全種別について、各種別 24 名まで選手（予備登録選手を含む）を登録すること。

なお、本大会参加申込み時の選手（予備登録選手を含む）については、ブロック大会参加申込み時からの追加を認めない。また、ブロック大会において予備登録選手と変更された選手は、本大会の参加にあたり予備登録選手と同じ扱いとする。

7 選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるもののほか、次による。

- (1) 各都道府県協会の成年男子・女子、少年男子・女子のチームは、単独、補強、選抜のうち、いずれかの方法により編成すること。
- (2) 成年男子・女子、少年男子・女子の選手（予備登録選手を含む）は、公益財団法人日本バスケットボール協会定款第 51 条に基づき制定された「JBA 基本規定 第 5 章登録および移籍 第 2 節 登録 第 101 条〔選手登録の義務〕」に定める登録選手が参加できる。
- (3) 成年男子
- ア 2008 年 12 月 31 日以前に生まれたものが参加できる。
 - イ 登録選手は、11 名とする。
 - ウ 成年男子代表チームについて、高校 2・3 年生のみの編成は不可とし、高校 2・3 年生の登録できる人数は 5 名以内とする。
 - エ 高校 2・3 年生のオンコート的人数や出場を必須にするといった制限は加えない。
- (4) 成年女子
- ア 2008 年 12 月 31 日以前に生まれたものが参加できる。
 - イ 登録選手は、12 名とする。
 - ウ 成年女子代表チームについて、高校 2・3 年生のみの編成は不可とし、高校 2・3 年生の登録できる人数は 5 名以内とする。
 - エ 高校 2・3 年生のオンコート的人数や出場を必須にするといった制限は加えない。
- ※成年男子・女子ともに選手の人数は最大 12 名とする。
- ※成年男子・女子ともに、「大学の所在地」は、所属都道府県の条件には当てはまらない。従って、「大学の所在地」を根拠とした都道府県よりの参加はできない。
- ※成年男子・女子における、早生まれを除く高校 2 年生及び高校 3 年生の参加資格（所在地等）については、当該年 4 月 1 日時点での年齢が、成年・少年どちらの年齢域に属するかで判断する。（総則 5(3)選手の年齢基準に定める年齢による）
- (5) 少年男子、少年女子
- ア 中学 3 年生を含む 2009 年 1 月 1 日～2011 年 4 月 1 日に生まれた者が出場できる。
 - イ 登録選手は、合計 12 名とする。
 - ウ 中学 3 年生の出場は、1 名以上が望ましい。
- (6) 外国籍競技者の参加
- 外国籍競技者の参加については総則 5(1)アに定めるもののほか、次による。
- ア 成年男子・女子



- (ア) 成年種別の選手の参加は 1 名までとする。
- (イ) 早生まれを除く高校 2 年生及び高校 3 年生（2007 年 4 月 2 日～2008 年 12 月 31 日までに生まれた者）の選手を参加させることができる。
- イ 少年男子・女子
 - (ア) 少年種別の選手の参加は 2 名までとし、オンコートは 1 名までとする。
 - (イ) 早生まれの高校 2 年生及び高校 1 年生、中学 3 年生の選手（2009 年 1 月 1 日～2011 年 4 月 1 日に生まれた者）を参加させることができる。
- (7) 選手の参加申し込み後の変更について（エントリー変更について）
 - ア 本大会に参加する選手は、原則としてブロック大会に出場した選手とし、変更は認められない。なお、選手の変更については、疾病、傷害等の特別な場合のみ、予備登録選手からの変更を認めるものとし、証明する書類（医師の診断書等）を添付し、手続きすること。なお、診断書とは、医師が、傷病名・障害名・医師の所見・治療の経緯や現症、結果などが記載されている証明書であり、実際に診察のあたった医師と歯科医師のみが発行できるものである。（医師法第 19 条第 2 項による）

変更手続きについては、代表者会議開始までに手続きを完了すること。（代表者会議後の変更は認めない）
 - イ エントリー変更をした場合は、その選手に限りユニフォーム番号の変更を認める。（ユニフォーム番号のみの変更は、認めない）
 - ウ 少年男子・女子種別における、中学校 3 年生の選手については、24 名の選手（予備登録選手含む）に入れておくことを前提とし、その中で、全国中学校体育大会 / 第 55 回全国中学校バスケットボール大会（予選含む）に出場したものに関しては予選大会に出場しなくても本大会に参加できる。（下記予選免除大会参照）
 - エ 他別途、JSPO が、国スポバスケットボール競技の予選免除大会と認めている大会（下記）以外は、予選免除にはならない。
 - 2025FISU ワールドユニバーシティゲームズ
 - FIBA アジアカップ 2025 予選 Window ③
 - U16 アジア選手権東アジア予選
 - FIBA アジアカップ 2025
 - FIBA U16 アジア選手権
 - FIBA U19 女子ワールドカップ 2025
 - FIBA 女子アジアカップ 2025
 - FIBA U16 女子アジアカップ 2025
 - FIBA3x3 ネーションズリーグ 2025（U23）（FIBA3x3U23 ワールドカップ 2025 予選）
 - FIBA3x3 ネーションズリーグ 2025（U21）（FIBA3x3U23 ワールドカップ 2025 予選）
 - FIBA3x3 ウィメンズシリーズ 2025
 - FIBA3x3U23 ワールドカップ 2025
 - 全国中学校体育大会 / 第 55 回全国中学校バスケットボール大会（予選含む）
 - 第 33 回日・韓・中ジュニア交流競技会



8 監督・スタッフの参加資格、他について

総則 5 に定めるもののほか、次による。

- (1) 全種別の監督は、公益財団法人日本バスケットボール協会公認コーチライセンスに基づく JBA 公認 S 級コーチ、JBA 公認 A 級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ 4）、JBA 公認 B 級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ 3）、JBA 公認 C 級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ 2/日本スポーツ協会公認コーチ 1）いずれかを有するものとする。

- (2) 本大会に参加するスタッフは、監督 1 名、他スタッフ含めて合計 6 名以内とする。

※トレーナーについては、スタッフ（6 名）枠内にてエントリーすること。

今大会より、活動制限区域内におけるビブス申請のトレーナーは認めない。

- (3) 監督・スタッフの変更について

ア 本大会に出場する監督は、原則としてブロック大会時と同様の監督とするが、疾病、傷害、その他特別な場合のみ変更を認めるものとし、証明する書類（医師の診断書等）を添付し、手続きをすること。変更手続きについては代表者会議開始までに手続きを完了すること。

イ 監督以外のスタッフの変更については、特に定めない。（本国スポ代表者会議直前のエントリー変更時にメンバー確認票に明記した者を他スタッフとする。）

ウ 急遽、監督・コーチに資格者が不在となる場合は、JBA 国スポ実施委員会にて、別途 JBA が定める（コーチ資格者が不在となった場合の対応）を適用するか否かを判断する。

※コーチ登録証の携帯について

ベンチで指揮を執る者「8(1)を有する者」は、試合前、TO にてサインをする際、必ずコーチ登録証を提示すること。また、試合中は、コーチ登録証を公益財団法人日本バスケットボール協会指定のネックストラップを使用し、首から下げておくこと。

9 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第 1 位から第 8 位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

- (1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子 成 年 女 子 少 年 男 子 少 年 女 子	成 年 女 子 少 年 女 子	各種別とも 1 位 40 点、2 位 35 点、 3 位（2 チーム）各 27.5 点、 5 位（4 チーム）各 12.5 点の 競技得点を与える。

- (2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。



10 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第 1 位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第 1 位から第 5 位（4 チーム）までに、賞状を授与する。

11 参加申込み方法

総則 8 に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025 年 9 月 4 日（木）までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は、所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 各ブロック大会を主管する都道府県バスケットボール協会は、予選会成績表を各種別 2 通作成し、各予選会終了後、5 日以内に次の宛先にそれぞれ送付すること。

〔予選会成績表記載事項〕

- ア 予選会担当都道府県協会名
- イ 予選会開催期日
- ウ 予選会開催場所
- エ 参加チーム数
- オ 参加チーム名
- カ 予選会成績記録（1 回戦から各クォーターの得点記録を全部記録すること。）
- キ 本大会に出場する代表チーム名
- ク その他の特記事項

	提 出 先	必要書類
(ア)	(全種別) 〒 112-0004 東京都文京区後楽一丁目 7 番 27 号 後楽鹿島ビル 6F 公益財団法人日本バスケットボール協会 Mail kokutai-entry@basketball.or.jp	予選会成績表 (全種別)
(イ)	(成年男子・少年男子) 〒 520-0805 滋賀県大津市石場 10 番 53 号 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局 (大津市国スポ・障スポ大会局 大会競技課) TEL 077-528-0310・0320 FAX 077-522-7766	予選会成績表 (成年男子) (少年男子)
	(成年女子) 〒 520-2395 滋賀県野洲市小篠原 2100 番地 1 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会事務局 (野洲市市民部国スポ・障スポ大会推進室) TEL 077-587-8813 FAX 077-587-6961	予選会成績表 (成年女子)
	(少年女子) 〒 525-8588 滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会事務局 (草津市教育委員会事務局国スポ・障スポ推進室) TEL 077-561-6896 FAX 077-561-0181	予選会成績表 (少年女子)



- (4) 参加申込み締切後の変更は、疾病、傷害等の特別な場合のみ認めるものとし、その取り扱いについては次のとおりとする。

ア 提出期限 代表者会議開始まで

イ 提出先

(ア)	〒 112-0004 東京都文京区後楽一丁目 7 番 27 号 後楽鹿島ビル 6F 公益財団法人日本バスケットボール協会 Mail kokutai-entry@basketball.or.jp
(イ)	〒 520-0807 滋賀県大津市松本一丁目 2 番 1 号 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局 (滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係) TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836 Mail kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp
(ウ)	(成年男子・少年男子) 〒 520-0805 滋賀県大津市石場 10 号 53 号 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局 (大津市国スポ・障スポ大会局 大会競技課) TEL 077-528-0310・0320 FAX 077-522-7766 Mail koku-spo.basketball@city.otsu.lg.jp
	(成年女子) 〒 520-2395 滋賀県野洲市小篠原 2100 番地 1 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会事務局 (野洲市市民部国スポ・障スポ大会推進室) TEL 077-587-8813 FAX 077-587-6961 Mail kokusupo@city.yasu.lg.jp
	(少年女子) 〒 525-8588 滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会事務局 (草津市教育委員会事務局国スポ・障スポ推進室) TEL 077-561-6896 FAX 077-561-0181 Mail basket2025@city.kusatsu.lg.jp

なお、(ア)～(ウ)については、原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、上記への提出後、別途、所定の手続きにより、参加申込み情報を修正すること。



12 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025 年 9 月 7 日(日) 午後 1 時

場 所 公益財団法人日本バスケットボール協会 会議室

〒 112-0004 東京都文京区後楽一丁目 7 番 27 号 後楽鹿島ビル 6 階

Mail kokutai-entry@basketball.or.jp

(2) 代表者会議（全種別）

日 時 2025 年 10 月 1 日(水) 午後 3 時

場 所 WEB にて開催

配信本部：キラリエ草津（草津市立市民総合交流センター）

(3) 審判会議（全種別）

日 時 2025 年 9 月 25 日(木) 午後 8 時

場 所 WEB にて開催予定

(4) 総合表彰式

日 時 2025 年 10 月 7 日(火) 少年男子決勝戦終了後

場 所 滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）

〒 520-2164 滋賀県大津市上田上中野町 779 番地

TEL 077-545-0108



成年男子表彰式 次第

第 5 位表彰式

日時 令和 7 年 10 月 4 日（土）
 準々決勝終了後
 会場 滋賀ダイハツアリーナ
 （滋賀アリーナ）

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第 5 位表彰（賞状・記念品授与）
3	閉式通告
	選手・役員解散

第 3 位表彰式

日時 令和 7 年 10 月 5 日（日）
 準決勝終了後
 会場 滋賀ダイハツアリーナ
 （滋賀アリーナ）

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第 3 位表彰（賞状・記念品授与）
3	閉式通告
	選手・役員解散

種別表彰式

日時 令和 7 年 10 月 6 日（月）
 決勝戦終了後
 会場 滋賀ダイハツアリーナ
 （滋賀アリーナ）

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	成績発表
3	第 1 位表彰（賞状・記念品授与）
4	第 2 位表彰（賞状・記念品授与）
5	閉式通告
	選手・役員解散



成年女子表彰式 次第

第 5 位表彰式

日時 令和 7 年 10 月 5 日（日）

準々決勝終了後

会場 野洲市総合体育館

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第 5 位表彰（賞状授与）
3	閉式通告
	選手・役員解散

第 3 位表彰式

日時 令和 7 年 10 月 6 日（月）

準決勝終了後

会場 野洲市総合体育館

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第 3 位表彰（賞状・記念品授与）
3	閉式通告
	選手・役員解散

種別表彰式

日時 令和 7 年 10 月 7 日（火）

決勝戦終了後

会場 野洲市総合体育館

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	成績発表
3	第 1 位表彰（賞状・記念品授与）
4	第 2 位表彰（賞状・記念品授与）
5	閉式通告
	選手・役員解散



少年男子表彰式・総合表彰式 次第

第 5 位表彰式

日時 令和 7 年 10 月 5 日 (日)
準々決勝終了後
会場 滋賀ダイハツアリーナ
(滋賀アリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第 5 位表彰 (賞状・記念品授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

第 3 位表彰式

日時 令和 7 年 10 月 6 日 (月)
準決勝終了後
会場 滋賀ダイハツアリーナ
(滋賀アリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第 3 位表彰 (賞状・記念品授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

種別表彰式・総合表彰式

日時 令和 7 年 10 月 7 日 (火)
決勝戦終了後
会場 滋賀ダイハツアリーナ
(滋賀アリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	少年男子成績発表
3	種別表彰第 1 位 (賞状・記念品授与)
4	種別表彰第 2 位 (賞状・記念品授与)
5	女子総合成績発表
6	女子総合表彰 (表彰状・記念品授与)
7	男女総合成績発表
8	男女総合表彰 (表彰状・記念品授与)
9	大会会長トロフィー授与
10	競技会会長あいさつ
11	歓送のことば
12	国旗儀礼
13	競技会終了宣言
14	閉式通告
	選手・役員解散



少年女子表彰式 次第

第 5 位表彰式

日時 令和 7 年 10 月 5 日 (日)

準々決勝終了後

会場 YMITアリーナ

(くさつシティアリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第 5 位表彰 (賞状授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

第 3 位表彰式

日時 令和 7 年 10 月 6 日 (月)

準決勝終了後

会場 YMITアリーナ

(くさつシティアリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第 3 位表彰 (賞状・記念品授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

種別表彰式

日時 令和 7 年 10 月 7 日 (火)

決勝戦終了後

会場 YMITアリーナ

(くさつシティアリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	成績発表
3	第 1 位表彰 (賞状・記念品授与)
4	第 2 位表彰 (賞状・記念品授与)
5	閉式通告
	選手・役員解散



競技上の取り決め事項

	項 目	内 容 説 明	
1	競技規則	2025～ バスケットボール競技規則による（公益財団法人日本バスケットボール協会）	
2	ウォーミングアップ会場	ウォーミングアップ会場での練習は次試合出場のチームのみです。（ボール使用不可）	
		滋賀ダイハツアリーナ	10/3：多目的広場（フットサル場） 10/4～10/7：サブアリーナ （※ 10/3 はサブアリーナを競技で使用しアップ会場として使用できないため、インターバルを長く設定しています。）
		野洲市総合体育館	小アリーナ
		YMIT アリーナ	サブアリーナ
3	ハーフタイム練習	第 3 クォーター開始 3 分前までとします。	
4	更衣室・控室	各会場とも指定された更衣室・控室を使用してください。ただし、使用時間についての制限がある場合がありますので、各会場の指示に従ってください。	
5	メンバー確認票とエントリー変更	メンバー確認票は、代表者会議前までにメールで提出となっています。全チーム対象です。エントリー変更一覧は、代表者会議終了後、チームへメールにて送信いたします。	
6	ユニフォームの色及びベンチ	組み合わせ表の番号の若いチームが淡色（白）のユニフォームとし、ベンチはオフィシャル席に向かって右側とします。（2 試合目以降の試合については、双方のチームで相談の上ユニフォームの色を変更しても構いませんが、その旨を双方の代表者が各会場の競技本部に申し出てください。ただし、ベンチの変更はできません。）	
7	チームベンチ	チームベンチに入れるのは、少年男女および成年女子は、選手 12 名、スタッフ 6 名以内の計 18 名。成年男子は選手 11 名、スタッフ 6 名以内の 17 名です。	
8	スコアシート	試合終了後、各会場の受付のレターケースに準備します。（配布はしません）	
9	前試合延滞時	試合開始までに 15 分間を確保します。	
10	コーチ証	ゲーム前のコーチのサイン時に TO 主任がライセンス確認を行いますので、提示をお願い致します。試合で指揮を執る方は JBA コーチ証を着用してください。	
11	タイムアウトの請求と取り消し	タイムアウトの請求及び取り消しについては、TO 席に出向いて、口頭と決められた合図で確認できるように行ってください。	
12	交代の請求	プレイヤーが交代を TO に請求した後は、交代席に座ってください。	
13	トレーナー	トレーナーについては、スタッフ（6名）の枠内に入れてエントリーしてください。ゲーム中の選手に対する処置については、ベンチエリア内で行えます。今大会より、活動制限区域内におけるビブス申請のトレーナーの活動は認められません。	
14	脳震盪	脳震盪の疑いがあると医師が判断した場合、監督および選手が大丈夫だと主張しても、直ちに選手を交代させ、同日のゲーム復帰は避けさせていただきます。翌日の試合に関しては医師の判断を仰いでください。	
15	開場時間	各会場ともに 10/3～10/4 は 8：30 に開場します。 10/5～10/6 は滋賀ダイハツアリーナは 8：30、野洲市総合体育館・YMIT アリーナは 10：00 に開場します。 10/7 は滋賀ダイハツアリーナは 12：00、野洲市総合体育館・YMIT アリーナは 8：30 に開場します。	
16	ドーピング	ドーピングコントロールの対象となっています。その際はご協力ください。	
17	その他	土足（外履き）と室内用シューズの履き替えの徹底をお願いします。	



競 技 日 程

代表者会議【全種別】	10月1日(水) 15時00分	オンライン会議（配信会場：キラリエ草津）
審判会議	9月25日(木) 20時00分	オンライン会議

			10月3日(金)	10月4日(土)	10月5日(日)	10月6日(月)	10月7日(火)	
滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)	成年男子・少年男子	A	成年男子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:55～ 第3試合 13:50～ 第4試合 15:45～	成年男子 準々決勝 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～ (各準々決勝終了後5位表彰式)	少年男子 準々決勝 第1試合 10:00～ 第2試合 12:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式) 成年男子 準決勝 第3試合 14:00～ (準決勝終了後3位表彰式)	M メインコート	M メインコート	
		B	成年男子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:55～ 第3試合 13:50～ 第4試合 15:45～	少年男子 2回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	M メインコート 転換作業	少年男子 準決勝 第1試合 10:00～ 第2試合 12:00～ (各準決勝終了後3位表彰式) 成年男子 決勝 第3試合 14:00～ 種別表彰式 (決勝戦終了後)	少年男子 決勝 第1試合 14:00～ 種別表彰式 (決勝戦終了後) 総合表彰式 (決勝戦終了後)	
		C	少年男子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:55～ 第3試合 13:50～ 第4試合 15:45～	少年男子 2回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～		少年男子 準々決勝 第1試合 10:00～ 第2試合 12:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式) 成年男子 準決勝 第3試合 14:00～ (準決勝終了後3位表彰式)		
	D	少年男子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:55～ 第3試合 13:50～ 第4試合 15:45～						
野洲市総合体育館	成年女子	E		成年女子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	成年女子 準々決勝 第1試合 12:00～ 第2試合 14:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式)	成年女子 準決勝 第1試合 12:00～ (準決勝終了後3位表彰式)	M メインコート 転換作業	M メインコート
		F		成年女子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	成年女子 準々決勝 第1試合 12:00～ 第2試合 14:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式)	成年女子 準決勝 第1試合 12:00～ (準決勝終了後3位表彰式)		成年女子 決勝 第1試合 10:00～ 種別表彰式 (決勝戦終了後)
YMTアリーナくさつシティアリーナ	少年女子	G	少年女子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	少年女子 2回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	少年女子 準々決勝 第1試合 12:00～ 第2試合 14:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式)	少年女子 準決勝 第1試合 12:00～ (準決勝終了後3位表彰式)	M メインコート 転換作業	M メインコート
		H	少年女子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	少年女子 2回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	少年女子 準々決勝 第1試合 12:00～ 第2試合 14:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式)	少年女子 準決勝 第1試合 12:00～ (準決勝終了後3位表彰式)		少年女子 決勝 第1試合 10:00～ 種別表彰式 (決勝戦終了後)

表彰式	【 成年男子 】	10月6日(月)	決勝戦終了後	滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)メインアリーナ
	【 成年女子 】	10月7日(火)		野洲市総合体育館 大アリーナ
	【 少年男子 】			滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)メインアリーナ
	【 少年女子 】			Y M I Tアリーナ(くさつシティアリーナ)メインアリーナ
総 合 表 彰 式			少年男子決勝戦終了後	滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)メインアリーナ



バスケットボール競技組合せ表

【成年男子】

日程	10/3(金)	10/4(土)	10/5(日)	10/6(月)	10/5(日)	10/4(土)	10/3(金)	日程
都道府県名	1回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	1回戦	都道府県名
愛知県 1	B4 15:45						B2 11:55	茨城県 9
福岡県 2		A4 15:15				A2 11:45		北海道 10
徳島県 3	A4 15:45						A2 11:55	鹿児島県 11
山形県 4			A3 14:00		C3 14:00			滋賀県 12
京都府 5	B1 10:00			M3 14:00			B3 13:50	山口県 13
富山県 6		A1 10:00				A3 13:30		奈良県 14
広島県 7	A1 10:00						A3 13:50	石川県 15
東京都 8								秋田県 16

滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ) = A、B、C メインコート = M

【成年女子】

日程	10/4(土)	10/5(日)	10/6(月)	10/7(火)	10/6(月)	10/5(日)	10/4(土)	日程
都道府県名	1回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	1回戦	都道府県名
栃木県 1	E4 15:15						E2 11:45	福岡県 9
山口県 2		E1 12:00				F2 14:00		福井県 10
鹿児島県 3	F4 15:15						F2 11:45	大阪府 11
滋賀県 4			E1 12:00		F1 12:00			北海道 12
和歌山県 5	F1 10:00			M1 10:00			F3 13:30	秋田県 13
新潟県 6		F1 12:00				E2 14:00		山梨県 14
愛媛県 7							E3 13:30	鳥取県 15
山形県 8	E1 10:00							静岡県 16

野洲市総合体育館 = E、F メインコート = M



【 少年 男子 】

日程	10/3(金)	10/4(土)	10/5(日)	10/6(月)	10/7(火)	10/6(月)	10/5(日)	10/4(土)	10/3(金)	日程
都道府県名	1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	2回戦	1回戦	都道府県名
福岡県 1										13 静岡県
石川県 2		B1 10:00						B3 13:30		14 広島県
神奈川県 3	D1 10:00								D3 13:50	15 東京都
福島県 4	C1 10:00								C3 13:50	16 岩手県
滋賀県 5		C1 10:00						C3 13:30		17 兵庫県
鳥取県 6										18 佐賀県
山梨県 7		C4 15:15						C2 11:45		19 福井県
愛知県 8	C4 15:45								C2 11:55	20 熊本県
北海道 9										21 青森県
宮崎県 10	D4 15:45								D2 11:55	22 愛媛県
徳島県 11		B4 15:15						B2 11:45		23 大阪府
京都府 12										24 茨城県

滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ) = A、B、C、D メインコート = M

【 少年 女子 】

日程	10/3(金)	10/4(土)	10/5(日)	10/6(月)	10/7(火)	10/6(月)	10/5(日)	10/4(土)	10/3(金)	日程
都道府県名	1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	2回戦	1回戦	都道府県名
京都府 1										13 岐阜県
北海道 2		G4 15:15						G2 11:45		14 愛媛県
秋田県 3	G4 15:15								G2 11:45	15 福岡県
埼玉県 4	H4 15:15								H2 11:45	16 兵庫県
宮崎県 5		H4 15:15						H2 11:45		17 千葉県
高知県 6										18 青森県
神奈川県 7		H1 10:00						H3 13:30		19 大分県
宮城県 8	H1 10:00								H3 13:30	20 福井県
鳥取県 9										21 広島県
石川県 10	G1 10:00							G3 13:30		22 滋賀県
沖縄県 11		G1 10:00						G3 13:30		23 山梨県
大阪府 12										24 愛知県

YMITアリーナ(くさつシティアリーナ) = G、H メインコート = M



バスケットボールの競技の見方

ゲームの進め方

▶ 時 間

競技時間は 10 分を 4 回行うクォーター（Q）制です。（延長時間は 1 回 5 分）

第 1Q	インターバル	第 2Q	ハーフタイム	第 3Q	インターバル	第 4Q
10 分	2 分	10 分	10 分	10 分	2 分	10 分
← 前半 →			休憩	← 後半 →		

▶ ゲームの開始

センターサークルで対面している両チームのジャンパーの間にクルーチーフがボールをトスアップし、ジャンパーはボールをタップしたところからゲームが開始します。

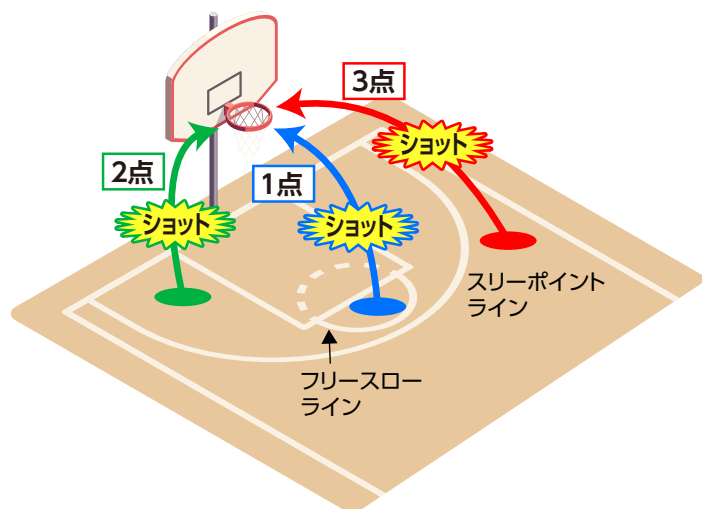
▶ オルタネイティングポゼッション

第 2・3・4 クォーター、各延長時限の開始や、どちらのチームがボールを所持しているのが分からなくなった場合を「ジャンプボールシチュエーション」と言い、この場合は、両チームが交互にスローインをし、ゲームを再開します。TO 席に、次にスローインするチームの攻撃する方向（矢印）が表示されます。

▶ 得点の方法

次の 3 種類があります。

- 3 点……スリーポイントラインの外側から
- 2 点……スリーポイントラインの内側から
- 1 点……フリースロー



▶ タイムアウト

- 1 チームは前半 2 回、後半最大 3 回及び各延長時限に 1 回ずつタイムアウトを取ることができます。
- 1 回のタイムアウトの時間は 1 分間です。

▶ 選手の交代

5 回のファウルを宣せられるか、失格・退場にならない限り何度でも交代できます。



主な反則の種類

▶ バイオレーション 【ボールの扱いや境界線、時間に関する規則に対する違反】

- トラベリング……ボールを持って3歩以上歩くこと。
- ダブルドリブル……1度終わったドリブルを再び行ったり、両手でドリブルすること。
- その他……故意に足または脚（大腿部も含む）でボールを蹴ったり止めたりすること、ボールをこぶしでたたくこと。

▶ ファウル 【からだの触れ合い、またはスポーツマンらしくない行為を含む規則に対する違反】

パーソナルファウル相手プレイヤーとのからだの触れ合いによるプレイヤーファウル

- プッシング……手や体で相手を無理に押しのけたり、押して動かそうとすること。
- イリーガルユースオブハンズ……手や腕を使ってふれあいを起こし、相手の動きを妨げること。
- ブロックング……体を使って相手の進行を不当に妨げること。
- チャージング……無理に進行し、相手の胴体に当たったり、押しのけたりすること。
- ホールディング……相手を押さえて、行動の自由を妨げること。

▶ パーソナルファウル時の処置

〈ショットの動作中でないプレイヤーがファウルをされたとき〉

- ファウルが起こった近くのサイドライン又はエンドラインからスローインを行います。
- チームのファウルが各クォーター4回を超えると、ボールを保持していないチームのファウル1回につき、相手チームに2本のフリースローが与えられます。

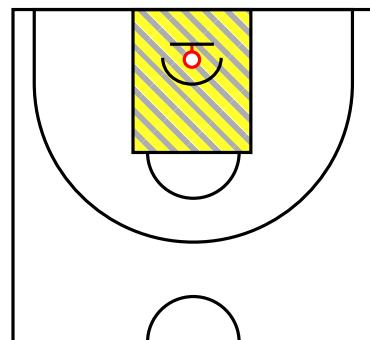
〈ショットの動作中のプレイヤーがファウルをされたとき〉

- ショットが成功……得点を認め、さらに1本のフリースローが与えられます。
- スリーポイントラインの内側からのショットが不成功……2本のフリースローが与えられます。
- スリーポイントラインの外側からのショットが不成功……3本のフリースローが与えられます。

バスケットボールの基本ルール

▶ 3 秒ルール

相手チームの制限区域内に攻撃側プレイヤーは原則的に3秒を超えてとどまってはけません。ラインも含まれます。



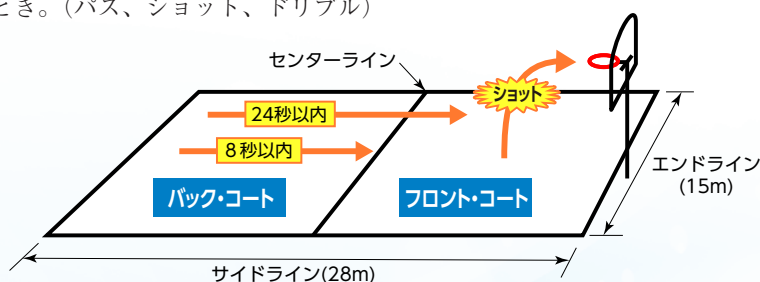
▶ 5 秒ルール

次の場合、5秒以内にボールを手放さなければなりません。

- サイドラインまたはエンドラインからのスローインの時。（パス）
- フリースローで審判からボールを渡されたとき。（ショット）
- ディフェンス（守備側）が接近してガードされたとき。（パス、ショット、ドリブル）

▶ 8 秒・24 秒ルール

- ボールを保持したチームは、8秒以内にボールをフロントコートに運ばなければなりません。
- ボールを保持した時から数えて、24秒以内にショット（リングに触れる）をしなければなりません。





都道府県別参加申込人数一覧表

地区	番号	都道府県	成年男子			成年女子			少年男子		少年女子		合計			総計
			監督		選手	監督		選手	監督	選手	監督	選手	監督		選手	
			専任	兼任		専任	兼任						専任	兼任		
北	1	北海道	1	()	11	1	()	12	1	12	1	12	4	()	47	51
東北	2	青森県		()			()		1	12	1	12	2	()	24	26
	3	岩手県		()			()		1	12			1	()	12	13
	4	宮城県		()			()				1	12	1	()	12	13
	5	秋田県	1	()	11	1	()	12			1	12	3	()	35	38
	6	山形県		(1)	12	1	()	12					1	(1)	24	25
	7	福島県		()			()		1	12			1	()	12	13
関東	8	茨城県	1	()	11		()		1	12			2	()	23	25
	9	栃木県		()		1	()	12					1	()	12	13
	10	群馬県		()			()						0	()	0	0
	11	埼玉県		()			()				1	12	1	()	12	13
	12	千葉県		()			()				1	12	1	()	12	13
	13	東京都	1	()	11		()		1	12			2	()	23	25
	14	神奈川県		()			()		1	12	1	12	2	()	24	26
	15	山梨県		()		1	()	12	1	12	1	12	3	()	36	39
北信越	16	新潟県		()		1	()	12					1	()	12	13
	17	長野県		()			()						0	()	0	0
	18	富山県	1	()	11		()						1	()	11	12
	19	石川県	1	()	11		()		1	12	1	12	3	()	35	38
	20	福井県		()		1	()	12	1	12	1	12	3	()	36	39
東海	21	静岡県		()		1	()	12	1	12			2	()	24	26
	22	愛知県		(1)	12		()		1	12	1	12	2	(1)	36	38
	23	三重県		()			()						0	()	0	0
	24	岐阜県		()			()				1	12	1	()	12	13
近畿	25	滋賀県	1	()	11	1	()	12	1	12	1	12	4	()	47	51
	26	京都府	1	()	11		()		1	12	1	12	3	()	35	38
	27	大阪府		()		1	()	12	1	12	1	12	3	()	36	39
	28	兵庫県		()			()		1	12	1	12	2	()	24	26
	29	奈良県	1	()	11		()						1	()	11	12
	30	和歌山県		()		1	()	12					1	()	12	13
中国	31	鳥取県		()		1	()	12	1	12	1	12	3	()	36	39
	32	島根県		()			()						0	()	0	0
	33	岡山県		()			()						0	()	0	0
	34	広島県	1	()	11		()		1	12	1	12	3	()	35	38
	35	山口県	1	()	11	1	()	12					2	()	23	25
四国	36	香川県		()			()						0	()	0	0
	37	徳島県	1	()	11		()		1	12			2	()	23	25
	38	愛媛県		()		1	()	12	1	12	1	12	3	()	36	39
	39	高知県		()			()				1	12	1	()	12	13
九州	40	福岡県	1	()	11	1	()	12	1	12	1	12	4	()	47	51
	41	佐賀県		()			()		1	12			1	()	12	13
	42	長崎県		()			()						0	()	0	0
	43	熊本県		()			()		1	12			1	()	12	13
	44	大分県		()			()				1	12	1	()	12	13
	45	宮崎県		()			()		1	12	1	12	2	()	24	26
	46	鹿児島県		(1)	12	1	()	12					1	(1)	24	25
	47	沖縄県		()			()				1	12	1	()	12	13
合 計			13	(3)	179	16	()	192	24	288	24	288	77	(3)	947	1,024

※選手兼任監督の人数は、監督の「兼任」欄に記入し、選手数としてカウントする。

成年男子

競技会場

滋賀ダイハツアリーナ
(滋賀アリーナ)

参加都道府県

- | | |
|-------|---------|
| 1 北海道 | 9 滋賀県 |
| 2 秋田県 | 10 京都府 |
| 3 山形県 | 11 奈良県 |
| 4 茨城県 | 12 広島県 |
| 5 東京都 | 13 山口県 |
| 6 富山県 | 14 徳島県 |
| 7 石川県 | 15 福岡県 |
| 8 愛知県 | 16 鹿児島県 |





成 年 男 子

1	北海道			
監督 佐々木 明 彦				
選手名	番号	身長	所 属	
羽 野 唯 人	4	183	宮田自動車	
皆 川 悠 太	5	188	Camellia	
須 藤 雄 太	6	190	宮田自動車	
福 田 真 生	7	193	ILL	
八 角 亮	⑧	174	宮田自動車	
鳴 海 貴 裕	9	177	Camellia	
越 田 大 翔	10	190	ILL	
太 田 樹	11	172	Camellia	
菊 池 允	12	185	ILL	
佐 竹 宥 哉	13	190	Camellia	
木 村 優 斗	14	196	ILL	
緑 ・ 白				

2		秋田県		
監督 佐藤 光				
選手名	番号	身長	所 属	
森 下 魁	4	203	JR 東日本秋田 PECKERS	
ジャキテェ ダオウダ	5	198	JR 東日本秋田 PECKERS	
秋 野 風 季	6	192	JR 東日本秋田 PECKERS	
向 奏 瑠	7	190	JR 東日本秋田 PECKERS	
大 川 颯 斗	8	182	JR 東日本秋田 PECKERS	
内 藤 凌 太	9	180	JR 東日本秋田 PECKERS	
織 田 祐 光	10	191	JR 東日本秋田 PECKERS	
山 崎 渉 真	11	185	JR 東日本秋田 PECKERS	
三 浦 拓	12	193	JR 東日本秋田 PECKERS	
中 澤 海 斗	13	184	JR 東日本秋田 PECKERS	
斉 藤 大 輔	⑭	188	JR 東日本秋田 PECKERS	
エンジン ・ 白				

3	山形県			
監督 畑 伸 秀				
選手名	番号	身長	所 属	
土 屋 真 人	4	175	山形クベーラ	
堀 直 人	5	186	山形クベーラ	
渡 邊 諒	⑥	183	山形クベーラ	
香 取 昇 汰	7	186	山形クベーラ	
三 浦 拓 真	8	175	山形クベーラ	
永 田 晃 司	9	182	山形クベーラ	
Sissoko Dramane	10	205	山形クベーラ	
今 井 弘 己	11	185	山形クベーラ	
高 橋 丈一郎	12	191	山形クベーラ	
福 井 歩	13	190	山形クベーラ	
畑 伸 秀	14	187	山形クベーラ	
佐 藤 寛 太	15	190	山形クベーラ	
紺 ・ 白				

4	茨 城 県			
監督 黒 田 幸 太				
選手名	番号	身長	所 属	
鈴 木 雄 馬	4	172	プロテリアルブルドッグス	
須 藤 陸	5	179	プロテリアルブルドッグス	
藤 沢 宏 隆	6	186	株式会社リキマン	
萩 原 健 斗	7	186	プロテリアルブルドッグス	
種 田 馨	8	192	日立大みか	
石 川 悠 真	9	190	日立大みか	
青 木 裕 哉	10	177	プロテリアルブルドッグス	
山 本 魁	11	187	プロテリアルブルドッグス	
熊 澤 圭 祐	⑫	188	プロテリアルブルドッグス	
細 割 駿 佑	13	198	プロテリアルブルドッグス	
岩 田 大 輝	14	180	プロテリアルブルドッグス	
青 ・ 白				



成 年 男 子

5	東京都			
監督 川 満 翔 太				
選手名		番号	身長	所 属
井 上 耀		4	181	横河電機 WILDBLUE
樋 口 健 太		5	198	横河電機 WILDBLUE
一 戸 啓 吾		6	180	横河電機 WILDBLUE
田 口 航		7	185	横河電機 WILDBLUE
鴫 田 風 真		8	185	横河電機 WILDBLUE
畔 上 樹 音		9	175	横河電機 WILDBLUE
野 本 康 悟		10	175	横河電機 WILDBLUE
阿 部 千 寛		11	198	横河電機 WILDBLUE
小 森 颯 太		12	180	横河電機 WILDBLUE
相 場 力 斗		13	189	横河電機 WILDBLUE
杉 野 晴 輝		⑭	197	横河電機 WILDBLUE
紫 ・ 白				

6	富 山 県			
監督 堀 田 尚 之				
選手名		番号	身長	所 属
石 附 大 真		①	172	GROUSES. NET
佐 藤 大 地		2	180	GROUSES. NET
西 川 智 希		3	182	GROUSES. NET
工 陸 都		4	191	GROUSES. NET
纓 坂 宇 翔		5	182	石川ブルースパークス
喜 入 大 地		6	191	GROUSES. NET
若 月 風 太		7	178	石川ブルースパークス
永 野 俊 輔		8	188	Donkey
柳 瀬 亮		9	173	GROUSES. NET
原 野 蓮大朗		10	186	富山大学
バガンブーラ 光		11	190	チーム新潟
緑 ・ 白				

7	石川県			
監督 高村和臣				
選手名		番号	身長	所 属
駒 田 善 大		4	185	石川ブルースパークス
小 室 悠太郎		5	190	三井住友海上火災保険
折 坂 和 希		⑥	173	石川ブルースパークス
古 村 健 一		7	190	黒田電機
松 井 直 輝		8	179	石川ブルースパークス
石 黒 岳		9	190	石川ブルースパークス
吉 本 龍 星		10	185	黒田電気
長 田 和 也		11	177	石川ブルースパークス
小 林 尚 矢		12	173	石川ブルースパークス
竿 漕 友 喜		13	193	北陸大学
鷹 合 力 輝		14	184	北陸大学
青 ・ 白				

8	愛 知 県			
監督 田 口 昂 大				
選手名		番号	身長	所 属
出 口 凌 大		④	185	リ ン タ ッ
出 口 祥 伍		5	186	リ ン タ ッ
矢 澤 樹		6	182	リ ン タ ッ
田 口 昂 大		7	180	リ ン タ ッ
高 原 伊 吹		8	187	リ ン タ ッ
樋 口 大 倫		9	193	豊田合成スコピオンズ
伴 駿 毅		10	193	リ ン タ ッ
木 伏 健 太		11	180	リ ン タ ッ
山 本 颯 太		12	191	ホ シ ザ キ
二 村 響		13	180	ホ シ ザ キ
安 藤 勇 輝		14	169	ホ シ ザ キ
カミソコ オマール		15	200	豊田合成スコピオンズ
紺 ・ 白				



成 年 男 子

9	滋 賀 県		
監督 浅 村 典 正			
選手名	番号	身長	所 属
柏 原 壮太郎	④	180	Lake Blue
川 口 裕 一	5	180	Lake Blue
犬 山 咲 人	6	184	Lake Blue
山 下 輝	7	187	Lake Blue
中 塚 隆 仁	8	168	Lake Blue
千 代 虎央太	9	189	日本無線
北 村 暁 士	10	196	Lake Blue
池 田 丈太郎	11	183	Lake Blue
稲 垣 守 亮	12	171	Lake Blue
北 村 雄太郎	13	193	Lake Blue
宇 野 善 昭	15	189	Lake Blue
青 ・ 白			

10	京 都 府			
監督 玉 島 大 蔵				
選手名		番号	身長	所 属
河 合 祥 樹	④	178	京都教員	
竹 村 蓮	5	175	豊田合成	
田 中 夢 大	6	172	同志社大学	
福 田 元 気	7	177	Three Horses	
槇 野 伶	8	183	富士通	
大 西 一 輝	9	184	中京大学	
福 田 侑 介	10	188	日本無線	
藪 田 恵 大	11	189	立命館大学	
富 田 頼	13	190	富士通	
寺 部 亮 佑	14	191	エムプラス	
宮 脇 隼 人	15	197	SPIRYTUS	
ブルーグリーン ・ 白				

11	奈 良 県			
監督 田 中 一 浩				
選手名	番号	身長	所 属	
浦 西 将 介	④	180	Three Horses	
福 永 雅 刀	5	195	黒田電気株式会社	
鷺 本 将 吾	6	178	ヤマトライジング奈良	
山 中 将 輝	7	190	タツタ電線	
村 上 起 哉	8	173	Three Horses	
大正谷 理 玖	9	180	Three Horses	
藤 高 宗一郎	10	190	ブラックジャック	
仲 西 佑 起	11	191	蝶理株式会社	
楊 裕 貴	12	193	ヤマトライジング奈良	
辻 永 遠	13	171	立命館大学	
鱒 勇 輝	15	192	SCRAP	
黒 ・ 白				

12	広島県			
監督 橋 本 真				
選手名	番号	身長	所 属	
岩 田 希 巳	4	188	広島大学	
大 元 孝 文	5	182	黒田電気 Bullet Spirits	
松 浦 慎 哉	⑥	184	FOREVER	
長 岡 雄 一	7	185	スリストム広島	
佐々井 雄 大	8	174	FOREVER	
大 道 拓 将	9	178	FOREVER	
國 枝 岳 弘	10	173	FOREVER	
吉 崎 綾 汰	11	182	FOREVER	
柿 村 香 佑	14	179	大阪教育大学	
平 田 成	15	173	広島県立広島皆実高等学校	
深渡瀬 海	17	193	横河電機 WILDBLUE	
エンジン ・ 白				



成 年 男 子

13	山 口 県		
監督 西 村 悠			
選手名	番号	身長	所 属
刀 祢 海 夢	4	172	JFEレッドホークス福山
大 脇 心太郎	5	190	JFEレッドホークス福山
上 田 直 輝	7	172	山口クラブ
佐 藤 大 輔	8	184	籠
山 田 雅 之	9	185	山口クラブ
梅 田 涼 雅	10	178	山口クラブ
石 井 悠 太	11	165	日本無線
小 嶋 秀 忠	13	186	山口県教員団
清 辻 款 矢	⑫	186	山口県教員団
山 田 洸 矢	14	185	山口クラブ
二 見 健 太	15	190	日本無線
オレンジ ・ 白			

14	徳 島 県		
監督 多 田 孝 司			
選手名	番号	身長	所 属
黒 山 晃 輝	5	177	徳島クラブ
山 本 葵 依	6	172	TJ50
津 田 晟多郎	7	193	徳島クラブ
中 村 駿 希	8	185	ダブルラックス
内 藤 健 太	9	187	TJ50
赤 葉 玲 音	10	190	徳島クラブ
井 上 涼 介	⑪	177	徳島クラブ
高 松 秀太郎	12	185	徳島クラブ
西 山 修 人	13	180	徳島クラブ
古大内 雄 梨	14	183	Fantasista.Ltd
岡 澤 輝	15	185	徳島クラブ
紺 ・ 白			

15	福岡県		
監督 片 桐 章 光			
選手名	番号	身長	所 属
平 岡 倅 汰	4	185	福岡大学
久 原 大 弥	5	180	九州電力アーティサンズ
田 邊 太 一	6	191	九州電力アーティサンズ
宮 崎 祐 輔	7	185	九州電力アーティサンズ
今 泉 太 陽	8	183	日本経済大学
児 玉 ジュニア	9	180	日本経済大学
永 野 聖 汰	11	176	九州電力アーティサンズ
森 駿 翔	12	186	日本経済大学
古 家 凜	⑬	177	九州電力アーティサンズ
辻 大 哉	14	190	九州電力アーティサンズ
組 崎 マテウス	15	190	日本経済大学
青 ・ 白			

16	鹿 児 島 県			
監督 安 慶 大 樹				
選手名	番号	身長	所 属	
山 西 大 翔	4	183	Red Monsters	
君 野 碧	5	177	日本経済大学	
高 橋 颯 太	6	180	Red Monsters	
我如古 圭	7	160	Red Monsters	
下 野 雅 斗	8	170	Red Monsters	
川 畑 颯太郎	⑨	180	Red Monsters	
プライス 叙珠亜	10	189	日本経済大学	
米 澤 協 平	11	183	日本無線	
赤 塚 将 輝	12	191	鹿児島銀行	
安 慶 大 樹	13	191	Red Monsters	
武 藤 修 平	14	192	Red Monsters	
キエエビ ア リ	15	203	Red Monsters	
青 ・ 白				

成年女子

競技会場

野洲市総合体育館

参加都道府県

- | | |
|-------|---------|
| 1 北海道 | 9 滋賀県 |
| 2 秋田県 | 10 大阪府 |
| 3 山形県 | 11 和歌山県 |
| 4 栃木県 | 12 鳥取県 |
| 5 山梨県 | 13 山口県 |
| 6 新潟県 | 14 愛媛県 |
| 7 福井県 | 15 福岡県 |
| 8 静岡県 | 16 鹿児島県 |





成 年 女 子

1	北 海 道			
監督 横 山 茜 理				
選手名		番号	身長	所 属
中 村 泉 咲		4	160	日本航空高等学校北海道
高 橋 優 希		5	163	札幌山の手高等学校
宇 都 鈴々奈		6	163	日本航空高等学校北海道
佐 藤 恋 々		7	170	拓殖大学
庵 原 有 紗		8	180	日本航空高等学校北海道
フアトウマタ カマラ		9	186	日本航空高等学校北海道
小 熊 桃 華		⑩	168	星槎道都大学
大 沼 華 楓		11	173	北翔大学
河 合 菜 那		12	164	星槎道都大学
岩 佐 紗 奈		13	164	北翔大学
柴 田 柚 季		14	173	星槎道都大学
平 下 結 夏		15	176	札幌大学
緑 ・ 白				

2	秋 田 県			
監督 佐 藤 清 美				
選手名	番号	身長	所 属	
齊 藤 可 怜	4	170	秋田銀行 REDARROWS	
村 上 瑠 奈	5	163	秋田銀行 REDARROWS	
佐 藤 仁 美	6	170	秋田銀行 REDARROWS	
浅 利 千	7	165	秋田銀行 REDARROWS	
熊 谷 日 毬	8	163	秋田銀行 REDARROWS	
小山内 夢 依	9	168	秋田銀行 REDARROWS	
勝 田 瞳 子	10	170	秋田銀行 REDARROWS	
阿 部 泉 美	⑪	168	秋田銀行 REDARROWS	
高 山 美 瑠	12	175	秋田銀行 REDARROWS	
古 野 実 希	13	174	秋田銀行 REDARROWS	
片 岡 瑠 稀	14	165	秋田銀行 REDARROWS	
小野寺 紅 美	15	165	秋田銀行 REDARROWS	
エンジン ・ 白				

3	山 形 県				
監督 木 林 稚 栄					
選手名		番号	身長	所 属	
福 田 希 望		4	168	株式会社 山形銀行	
萩 田 美		5	175	株式会社 山形銀行	
谷 優 実		6	174	株式会社 山形銀行	
浅 野 瑛 菜		7	176	株式会社 山形銀行	
樋 口 沙 彩		8	169	株式会社 山形銀行	
西 村 春 佳		9	182	株式会社 山形銀行	
加 藤 遥 菜		10	167	株式会社 山形銀行	
近 藤 萌		11	173	株式会社 山形銀行	
円 谷 愛 加		12	173	株式会社 山形銀行	
木 村 陽 菜		13	169	株式会社 山形銀行	
宮 寄 沙也加		14	180	株式会社 山形銀行	
藤 原 穂 香		⑮	161	株式会社 山形銀行	
紺 ・ 白					

4		栃 木 県			
監督 佐 藤 智 信					
選手名		番号	身長	所 属	
池 田	凜	4	164	白鷗大学	
清 水	絢	5	175	白鷗大学	
高 木 美	波	6	175	白鷗大学	
佐々木	凜	7	177	白鷗大学	
齋 田 夢	良	8	167	白鷗大学	
佐 坂 光 咲	⑨	174	白鷗大学		
東	小 姫	10	177	白鷗大学	
伊 藤 知	里	11	170	白鷗大学	
武 井 遙	菜	12	185	白鷗大学	
林	咲 良	13	162	白鷗大学	
伊 東 友莉香		14	175	白鷗大学	
谷 口 憂	花	15	174	白鷗大学	
緑 ・ 白					



成年女子

5	山梨県		
監督 林 五十美			
選手名	番号	身長	所 属
アチャラ ガチケンソー	4	180	山梨学院大学
AJEWOLE MERCY DADA	5	185	日本航空高等学校
岩 佐 妃 花	6	165	山梨学院大学
北 條 瑚 奈	7	163	山梨学院大学
京 橋 菜々子	8	167	山梨学院大学
岡 田 彩 葉	9	160	山梨学院大学
平 野 和々美	10	168	山梨学院大学
皆 川 も え	11	169	山梨学院大学
安 藤 美 優	12	169	山梨学院大学
牧 野 琉 依	13	165	山梨学院大学
藤 澤 夢 叶	⑭	162	山梨学院大学
秋 谷 詩	15	175	山梨学院大学
エンジン ・ 白			

6	新潟県		
監督 小林 真里奈			
選手名	番号	身長	所 属
相 馬 嘉 乃	④	165	新潟医療福祉大学
立 原 理 菜	5	158	新潟医療福祉大学
大 井 暖 々	6	174	新潟医療福祉大学
郷 六 柚 葉	7	170	新潟医療福祉大学
中 野 璃 愛	8	168	新潟医療福祉大学
大 野 萌 絵	9	165	新潟医療福祉大学
佐 藤 萌 衣	10	166	新潟医療福祉大学
相 馬 珠 里	12	166	新潟医療福祉大学
宮 住 咲 希	11	171	新潟産業大学附属高等学校
草 壁 紗 寧	13	162	新潟産業大学附属高等学校
Olamide Deborah Jenfa	14	185	新潟産業大学附属高等学校
佐 藤 愛	15	168	新潟医療福祉大学
赤 ・ 白			

7	福 井 県			
監督 林 慎一郎				
選手名	番号	身長	所 属	
山 田 愛 結	4	178	山梨学院大学	
サジョ ライジョベ	5	189	福井工業大学附属福井高等学校	
平 野 里 奈	6	176	山梨学院大学	
檜 物 夏 奈	7	170	金沢学院大学	
小 池 昌 鈴	8	170	福井工業大学附属福井高等学校	
姫 路 莉 緒	9	169	福井工業大学附属福井高等学校	
板 橋 香 苗	10	174	福井工業大学附属福井高等学校	
竹 下 り の	11	168	名古屋経済大学	
青 山 由 奈	12	169	東京女子体育大学	
片 山 愛 悠	⑬	163	niko	
廣 野 智依菜	14	152	新潟医療福祉大学	
菅 原 砂 音	15	157	福井工業大学附属福井高等学校	
紺 ・ 白				

8	静岡県		
監督 望月奈穂			
選手名	番号	身長	所 属
藤田玲和音	4	174	RISE
遠藤真帆	5	173	アクアテック
小野愛加里	6	165	RISE
濱本希代加	7	160	RISE
篠宮杏奈	⑧	168	RISE
寺尾友里	9	177	RISE
見崎南美	10	165	RISE
黒川菜津奈	11	160	RISE
石田悠月	12	168	Free クラブ
陽本麻優	13	163	アクアテック
船山穂香	17	173	静岡産業大学
稲葉叶	18	177	東海大学付属静岡翔洋高等学校
橙 ・ 白			



成 年 女 子

9	滋賀県			
監督 藤 堂 悠				
選手名		番号	身長	所 属
岡 田 咲 恵		4	158	滋賀銀行 Lake Venus
大 橋 瑠 菜		5	173	滋賀銀行 Lake Venus
大 橋 璃 菜		6	174	滋賀銀行 Lake Venus
藤 田 夏 生		⑦	166	滋賀銀行 Lake Venus
杉 咲里奈		8	170	滋賀銀行 Lake Venus
前 田 芽 生		9	175	滋賀銀行 Lake Venus
山 岡 まつり		10	171	滋賀銀行 Lake Venus
石 垣 優 衣		11	161	滋賀銀行 Lake Venus
井 上 ひかる		12	158	滋賀銀行 Lake Venus
緒 方 惇 乃		13	168	滋賀銀行 Lake Venus
高 木 愛 華		15	176	滋賀銀行 Lake Venus
深 津 彩 生		16	175	滋賀銀行 Lake Venus
青 ・ 白				

10	大 阪 府			
監督 村 上 なおみ				
選手名		番号	身長	所 属
前 田 心 咲		4	175	関西学院大学
熊 谷 のどか		5	159	大阪人間科学大学
島 袋 桃		6	174	大阪人間科学大学
升 田 木 花		⑦	171	大阪体育大学
松 本 莉緒奈		8	174	関西外国語大学
デイクソン ミッシェル		9	173	大阪人間科学大学
片 山 朋 子		10	176	関西学院大学
木 谷 夢 菜		11	168	大阪体育大学
木 本 桜 子		12	167	大阪人間科学大学
三 輪 美良々		13	177	大阪薫英女学院高等学校
幡 出 麗 実		14	168	大阪薫英女学院高等学校
島 村 曜 莉		15	160	関西外国語大学
黒 ・ 白				

11	和歌山県			
監督 古久保 亜 伊				
選手名	番号	身長	所 属	
浦 野 来 望	4	158	紀陽銀行ハートビーツ	
海老原 唯 花	5	161	紀陽銀行ハートビーツ	
千 葉 暁 絵	6	166	紀陽銀行ハートビーツ	
大 吉 ま な	7	167	紀陽銀行ハートビーツ	
植 田 雅 美	8	170	紀陽銀行ハートビーツ	
前 田 実 咲	9	171	紀陽銀行ハートビーツ	
小 柳 亜 結	10	173	紀陽銀行ハートビーツ	
小 野 佑 紀	⑪	175	紀陽銀行ハートビーツ	
柴 田 柚 菜	12	175	紀陽銀行ハートビーツ	
水 谷 優 月	13	171	紀陽銀行ハートビーツ	
大 城 椎 菜	14	180	紀陽銀行ハートビーツ	
園 田 夏 菜	15	177	紀陽銀行ハートビーツ	
青 ・ 白				

12		鳥 取 県		
監督 板 井 寛 典				
選手名		番号	身長	所 属
田 川 想 和		4	158	大阪体育大学
亀 田 ゆ な		5	170	関西学院大学
坂 根 紡 希		6	172	鳥取城北高等学校
古 賀 姫 莉		7	175	鳥取城北高等学校
佐 藤 咲 菜		8	158	鳥取城北高等学校
中 村 舞 星		9	160	武庫川女子大学
實 井 佑里子		10	160	東京医療保健大学
小 椋 名奈子		⑪	165	米子クラブ
山 岡 千 桜		12	170	鳥取城北高等学校
山 田 智 子		13	172	米子クラブ
小 椋 ゆきみ		14	171	神戸親和大学
谷 口 桃 花		15	167	米子クラブ
緑 ・ 白				



成年女子

13	山 口 県			
監督 梅 田 貴 之				
選手名		番号	身長	所 属
桑 原 結 衣		4	156	笠戸ブレイブスター
金 城 麻 樹		5	163	笠戸ブレイブスター
山 永 友 美		6	173	笠戸ブレイブスター
幕 風 沙		7	166	笠戸ブレイブスター
大 脇 結		8	168	日本経済大学
青 木 七 海		9	177	広島文化学園大学
木 村 美 月		10	155	笠戸ブレイブスター
守 田 日向子		11	162	広島大学
中久保 蘭		12	172	笠戸ブレイブスター
山 野 沙 彩		⑬	170	笠戸ブレイブスター
藤 井 花 歩		14	158	笠戸ブレイブスター
鈴 木 恋 杏		15	164	笠戸ブレイブスター
オレンジ ・ 白				

14	愛媛県		
監督 松尾政明			
選手名	番号	身長	所 属
稲井朋香	④	166	今治オレンジブロッサム
新谷莉歩	5	170	今治オレンジブロッサム
田村碧衣	6	165	今治オレンジブロッサム
矢野紗也佳	7	165	今治オレンジブロッサム
山口郁実	8	165	今治オレンジブロッサム
西田恵菜	9	164	今治オレンジブロッサム
中村真湖	10	166	今治オレンジブロッサム
大西 絢	11	153	今治オレンジブロッサム
幸田みずき	12	160	今治オレンジブロッサム
高木悠衣	13	174	今治オレンジブロッサム
ジョル セイナブ ライ	14	186	今治オレンジブロッサム
浅間美佳	15	172	今治オレンジブロッサム
オレンジ ・ 白			

15	福岡県		
監督 案 浦 知 仁			
選手名	番号	身長	所 属
生 地 蒼 葉	4	162	日本経済大学
田 中 夢 理	5	163	日本経済大学
梶 西 未 知	6	164	日本経済大学
小 材 叶奈子	⑦	162	福岡大学
宮 崎 陽 向	8	168	日本経済大学
神 森 祐 里	9	170	福岡大学
益 田 遥 菜	10	170	日本経済大学
白 石 紗 弓	11	174	日本経済大学
中 老 小 雪	12	175	日本経済大学
曾我部 希 子	13	178	Gluck
柿 元 舞 音	14	175	日本経済大学
アキンデーレタウォ イダヤット	15	190	精華女子高等学校
青 ・ 白			

16		鹿 児 島 県		
監督 前 村 かおり				
選手名		番号	身長	所 属
橋 本 千 優		4	159	鹿屋体育大学
我 謝 美 鈴		5	154	鹿屋体育大学
坂 本 芙実乃		6	164	鹿屋体育大学
宇 和 唯		7	166	鹿屋体育大学
脇 田 愛 香		8	168	鹿屋体育大学
金 子 沙 羅		9	160	鹿屋体育大学
森 天 音		10	173	鹿屋体育大学
小 浜 心 夢		11	168	鹿屋体育大学
家 永 祐 花		12	177	鹿屋体育大学
恵 悠 衣		13	167	鹿屋体育大学
福 原 葵		14	158	鹿屋体育大学
松 本 芽 依		(15)	170	鹿屋体育大学
青 ・ 白				

少年男子

競技会場

滋賀ダイハツアリーナ
(滋賀アリーナ)

参加都道府県

- | | |
|--------|--------|
| 1 北海道 | 13 滋賀県 |
| 2 青森県 | 14 京都府 |
| 3 岩手県 | 15 大阪府 |
| 4 福島県 | 16 兵庫県 |
| 5 茨城県 | 17 鳥取県 |
| 6 東京都 | 18 広島県 |
| 7 神奈川県 | 19 徳島県 |
| 8 山梨県 | 20 愛媛県 |
| 9 石川県 | 21 福岡県 |
| 10 福井県 | 22 佐賀県 |
| 11 静岡県 | 23 熊本県 |
| 12 愛知県 | 24 宮崎県 |





少年男子

1	北海道			
監督 田 島 範 人				
選手名	番号	身長	所 属	
垣 内 雄士郎	4	182	駒澤大学附属苫小牧高等学校	
高 橋 甘太郎	⑤	171	駒澤大学附属苫小牧高等学校	
石 川 恒 星	6	172	駒沢大学附属苫小牧高等学校	
熊 谷 海 凜	7	188	駒澤大学附属苫小牧高等学校	
浜 瀬 光 希	8	173	駒澤大学附属苫小牧高等学校	
小 山 マテオ	9	187	駒澤大学附属苫小牧高等学校	
的 場 仁己呂	10	185	北海道栄高等学校	
加 藤 澄 海	11	181	駒澤大学附属苫小牧高等学校	
内 海 颯 太	12	193	東海大学付属札幌高等学校	
小 林 良 輔	13	180	苫小牧工業高等学校	
只 野 孝 太	14	170	レバンガ北海道 U15	
三 浦 斗 真	15	180	東海大学付属札幌高等学校	
緑 ・ 白				

2		青 森 県			
監督 佐々木 彰 彦					
選手名		番号	身長	所 属	
浪 岡 龍之介		4	180	八戸学院光星高等学校	
八木橋 太 助		5	180	八戸学院光星高等学校	
佐 藤 璃 介		6	184	八戸学院光星高等学校	
須々田 亜 琉		7	187	八戸学院光星高等学校	
加 藤 優太郎		⑧	170	八戸学院光星高等学校	
山 内 一 輝		9	171	八戸学院光星高等学校	
福 士 瑠 輝		10	172	青森県立青森商業高等学校	
和 田 道 仁		11	177	八戸工業大学第一高等学校	
伊 藤 鴻		12	184	八戸学院光星高等学校	
佐 藤 琉 翔		13	175	八戸学院光星高等学校	
鳴 海 潤乃助		14	183	弘前市立第四中学校	
細 越 陸 仁		15	192	八戸工業大学第一高等学校	
青 ・ 白					

3	岩 手 県			
監督 佐々木 英 了				
選手名		番号	身長	所 属
照 井 道 頌		④	170	岩手県立一関工業高等学校
釜 谷 康 生		5	184	岩手県立一関工業高等学校
佐 藤 翔 真		6	187	岩手県立黒沢尻工業高等学校
安 倍 然		7	181	岩手県立水沢高等学校
加 藤 大 翔		8	170	岩手県立一関工業高等学校
照 井 琳 久		9	177	岩手県立一関工業高等学校
渡 邊 啓 太		10	175	岩手県立一関工業高等学校
畠 山 翔 愛		11	181	岩手県立一関第一高等学校
水 尻 稀 大		12	183	岩手県立盛岡工業高等学校
小 坂 瑠 偉		13	189	岩手県立盛岡第一高等学校
日 蔭 空良		14	189	岩手県立黒沢尻北高等学校
吉 田 然 莉		15	171	岩手県立盛岡工業高等学校
苔 ・ 白				

4		福 島 県			
監督 小 川 貴 之					
選手名		番号	身長	所 属	
栗 原	奏	④	176	県立福島南高等学校	
半 田	秀 太	5	183	福島東稜高等学校	
吉 田	遥 斗	6	187	Bravely Nexus	
柳 沼	奏 汰	7	181	日本大学東北高等学校	
長 尾	奏 汰	8	165	県立福島商業高等学校	
北 村	煌 希	9	169	日本大学東北高等学校	
高 久	聖 瑛	10	171	開志学園高等学校国際アート & デザイン大学校高等課程	
蛭 田	悠 斗	11	180	県立福島商業高等学校	
柳 沼	虎士雅	12	174	帝京安積高等学校	
小 磯	大 夢	13	174	日本大学東北高等学校	
金 澤	聖 蓮	14	181	福島東稜高等学校	
曲 山	恵 太	15	181	石川町立石川中学校	
紺 ・ 白					



少年男子

5	茨 城 県			
監督 佐 藤 豊 文				
選手名	番号	身長	所 属	
菊 地 廉 世	④	179	土浦日本大学高等学校	
タンジャ キビリ	5	191	土浦日本大学高等学校	
長谷川 悠 大	6	172	茨城県立下妻第一高等学校	
森 川 旺 亮	7	181	常磐大学高等学校	
監物 ジェイク 空	8	186	つくば秀英高等学校	
木 幡 雅 之	9	183	土浦日本大学高等学校	
大 野 蓮	10	183	土浦日本大学高等学校	
青 井 遙 臣	11	172	土浦日本大学高等学校	
山 越 蓮 大	13	183	つくば秀英高等学校	
利根川 優 斗	15	185	土浦日本大学高等学校	
近 星己成	19	190	土浦日本大学高等学校	
片 根 琥 珀	20	195	土浦日本大学高等学校	
青 ・ 白				

6	東京都			
監督 酒 井 良 幸				
選手名	番号	身長	所 属	
村 田 伊 織	4	168	國學院大學久我山高等学校	
岸 歩 武	5	172	サンロッカーズ渋谷 U18	
森 田 旭 陽	6	177	國學院大學久我山高等学校	
菅 匠之介	7	179	國學院大學久我山高等学校	
山野井 皓	8	180	サンロッカーズ渋谷 U18	
斉 藤 隼 惺	9	183	成立学園高等学校	
國 近 晃太郎	10	184	足立学園高等学校	
古 河 シェーン	11	188	サンロッカーズ渋谷 U18	
嶋 原 吏 玖	12	190	國學院大學久我山高等学校	
植 垣 元 為	⑬	189	東海大学付属高輪台高等学校	
小 泉 太 陽	14	190	豊島学院高等学校	
大 田 健 介	15	190	國學院大學久我山高等学校	
紫 ・ 白				

7	神奈川県				
監督 鈴木恭平					
選手名		番号	身長	所 属	
井	田 航 里	4	175	東海大学付属相模高等学校	
鈴	木 郁 武	5	181	東海大学付属相模高等学校	
高	橋 勇 陸	6	190	湘南工科大学附属高等学校	
山	本 瑠 豪	7	190	東海大学付属相模高等学校	
亀	川 龍之介	8	170	横浜清風高等学校	
松	宮 拓 真	9	193	立花学園高等学校	
加	藤 律	10	190	法政大学第二高等学校	
石	川 蓮	11	184	湘南工科大学附属高等学校	
高	橋 秀 成	12	176	U18 川崎ブレイブサンダース	
中	内 惇 貴	13	189	桐光学園高等学校	
栗	山 泰 青	⑭	175	U18 川崎ブレイブサンダース	
福	本 燿	15	190	湘南工科大学附属高等学校	
青 ・ 白					

8		山 梨 県			
監督 古 屋 貴 弘					
選手名		番号	身長	所 属	
吉	田 壮 志	4	180	日本航空高等学校	
平	野 佑 輔	5	184	日本航空高等学校	
鼎	大 和	6	171	日本航空高等学校	
青	木 煌 桜	7	174	日本航空高等学校	
長	澤 龍 未	⑧	180	山梨学院高等学校	
木	戸 彪 悟	9	181	山梨学院高等学校	
瀧	沢 龍 成	10	192	日本航空高等学校	
久保田	湊	11	172	山梨学院高等学校	
廣	瀬 大 地	12	177	山梨県立日川高等学校	
小	山 晃 平	13	182	東海大学付属甲府高等学校	
松	本 瞬	14	190	日本航空高等学校	
河	野 斗 真	15	174	山梨県立日川高等学校	
エ ン ジ ・ 白					



少年男子

9	石 川 県			
監督 宮 村 徹				
選手名		番号	身長	所 属
伊 藤 騎 士		④	170	北陸学院高等学校
吉 岡 希 竜		5	171	小松大谷高等学校
川 俣 蒼 太		6	174	北陸学院高等学校
西 川 来 輝		7	180	北陸学院高等学校
濱 塚 璃 一		8	184	北陸学院高等学校
宮 木 利 武		9	181	北陸学院高等学校
堀 田 清 翔		10	178	金沢学院大学附属高等学校
角 谷 洸 映		11	178	北陸学院高等学校
岡 田 笙 佑		12	185	金沢学院大学附属高等学校
池 島 悠 真		13	186	金沢市立工業高等学校
星 野 一 嘉		14	187	Jamaney Youth
友 寄 快 星		15	192	北陸学院高等学校
青 ・ 白				

10		福 井 県		
監督 八 木 昌 幸				
選手名	番号	身長	所 属	
竹 田 明 香	4	185	北陸高等学校	
サリバ 仁	5	185	北陸高等学校	
島 田 弥 秋	6	185	北陸高等学校	
岡 川 久 温	7	185	北陸高等学校	
寿 上 顕 光	8	180	北陸高等学校	
大 島 漣 斗	9	178	北陸高等学校	
黒 島 麻 日	10	176	北陸高等学校	
大 釜 一 順	11	175	北陸高等学校	
外 山 蒼 空	12	175	北陸高等学校	
小 林 尊 琉	13	174	北陸高等学校	
伊 藤 海 秀	⑭	173	北陸高等学校	
須 藤 祐 海	15	170	北陸高等学校	
紺 ・ 白				

11	静岡県				
監督 石谷 優二					
選手名		番号	身長	所 属	
永 尾 咲 翔	④	178	藤枝明誠高等学校		
端 野 恵 音	5	185	藤枝明誠高等学校		
森 秀 野	6	177	藤枝明誠高等学校		
濱 崎 煌 大	7	172	藤枝明誠高等学校		
福 本 彩 人	8	187	藤枝明誠高等学校		
森 田 悠 月	9	170	沼津中央高等学校		
鈴 木 柊 矢	10	185	浜松開誠館高等学校		
鐘ヶ江 咲 人	11	179	浜松開誠館高等学校		
須 貝 頼 勇	12	188	藤枝明誠高等学校		
永 留 悠 星	13	182	藤枝明誠高等学校		
関 口 凜太郎	14	192	藤枝明誠高等学校		
藺 部 良 介	15	188	浜松学院興誠高等学校		
緑 ・ 白					

12	愛 知 県		
監督 葛 西 太 勝			
選手名	番号	身長	所 属
竹 内 光 一	④	167	桜丘高等学校
加 藤 ヒロジャバーズ	5	189	中部大学第一高等学校
藤 田 翔	6	179	名古屋ダイアモンドルフィンズU18
前 田 晴 舞	7	174	桜丘高等学校
遅 皓 元	8	190	中部大学第一高等学校
鈴 木 航	9	190	中部大学第一高等学校
佐 藤 駿	10	185	名古屋ダイアモンドルフィンズU18
南 ルマニカサイドイ	11	183	名古屋ダイアモンドルフィンズU18
山 本 夏 生	12	168	中部大学第一高等学校
吉 井 海 斗	13	184	中部大第一高等学校
波多野 碧 音	14	179	桜丘高等学校
小 川 秦乃丞	15	183	桜丘高等学校
紺 ・ 白			



少年男子

13	滋 賀 県		
監督 武 田 大 輔			
選手名	番号	身長	所 属
フミング アレキサンダー	④	189	私立光泉カトリック高等学校
岡 崎 悠 志	5	185	私立光泉カトリック高等学校
芝 崎 叶	6	171	私立光泉カトリック高等学校
市 村 峰 大	7	181	私立光泉カトリック高等学校
桂 田 慎 仁	8	185	県立彦根翔西館高等学校
坂 本 璃 光	9	172	私立光泉カトリック高等学校
小 林 千 晃	10	187	私立光泉カトリック高等学校
森 健	11	181	私立光泉カトリック高等学校
畑 潤 弥	12	181	私立光泉カトリック高等学校
穴 見 幸 樹	13	186	立命館守山高等学校
佐 藤 華 月	14	165	滋賀レイクス U18
角 田 康 晴	15	181	Lake Force
青 ・ 白			

14	京 都 府			
監督 福 嶋 一 夫				
選手名	番号	身長	所 属	
鎌 田 煌士郎	4	186	大谷高等学校	
福 嶋 大 翔	⑤	176	京都府立鳥羽高等学校	
荻 野 眺	6	168	京都共栄学園高等学校	
佐 藤 久 遠	7	179	東山高等学校	
横 谷 玲	8	187	洛南高等学校	
李 睿俊杰	9	190	洛南高等学校	
高 森 央	10	180	東山高等学校	
野 洲 大 輔	11	177	東山高等学校	
今 西 大 良	12	184	京都精華学園高等学校	
金 井 克 己	13	181	東山高等学校	
與那覇 正 朋	14	173	洛南高等学校	
朱 恒 達	15	190	洛南高等学校	
ブルースグリーン ・ 白				

15	大 阪 府			
監督 浅 井 直 将				
選手名	番号	身長	所 属	
西 山 幸四朗	④	170	関西大学北陽高等学校	
中 西 清 羽	5	182	阪南大学高等学校	
西 原 知 道	6	188	近畿大学附属高等学校	
外村 君夏朗 外村	7	176	K's LEO BASKETBALL CLUB	
前 川 侑 毅	8	185	阪南大学高等学校	
中 西 凌 士	9	180	大阪学院大学高等学校	
張 世 奇	10	190	関西大学北陽高等学校	
箕 野 泰 毅	11	192	関西大学北陽高等学校	
山 中 星 海	12	174	大阪学院大学高等学校	
東 大 暁	13	164	金光藤蔭高等学校	
上 地 陽 太	14	189	桃山学院高等学校	
河 地 蓮太郎	15	193	REDFORCES	
紺 ・ 白				

16		兵 庫 県		
監督 田 中 敬				
選手名	番号	身長	所 属	
金 沢 權	4	173	報徳学園高等学校	
浅 井 智 也	⑤	176	報徳学園高等学校	
久 保 星太郎	6	185	報徳学園高等学校	
瀧 澤 宝 礼	7	185	報徳学園高等学校	
篠 田 風 斗	8	167	育英高等学校	
山之上 柊 吾	9	183	育英高等学校	
田 中 亮 駕	10	183	彩星工科高等学校	
江 尻 優 惟	11	179	三田松聖高等学校	
福 井 遥 陽	12	170	ゴッドドア	
吉 本 拓 志	13	182	ゴッドドア	
高 橋 巧 真	14	187	報徳学園高等学校	
上 野 真 拓	15	186	関西学院高等部	
紺 ・ 白				



少年男子

17	鳥 取 県			
監督 河 上 貴 博				
選手名		番号	身長	所 属
播 元 佑 哉		4	170	鳥取城北高等学校
角 威 武 輝		5	175	鳥取城北高等学校
宮 城 斗 真		6	177	鳥取城北高等学校
山 内 貴 翔		⑦	185	県立境港総合技術高等学校
松 岡 幹 汰		8	180	鳥取城北高等学校
松 村 拳		9	175	鳥取城北高等学校
杉 本 秀 虎		10	183	鳥取城北高等学校
上 田 陽 太		11	178	鳥取城北高等学校
森 本 遼		12	180	鳥取城北高等学校
河 野 壮 真		13	174	鳥取城北高等学校
大 徳 愛 斗		14	175	米子北高等学校
黒 木 祐 汰		15	180	鳥取城北高等学校
緑 ・ 白				

18	広島県		
監督 横田 学			
選手名	番号	身長	所 属
随 行 太 一	④	170	広島県瀬戸内高等学校
重 政 来 輝	5	180	銀河学院高等学校
胡 木 煌 夢	6	173	英数学館高等学校
早 田 勇 亀	7	176	広島県瀬戸内高等学校
東 翠 人	8	177	SENDA Bloom
松 原 大 海	9	176	広島県瀬戸内高等学校
橋 本 青 空	10	189	県立広島皆実高等学校
曾 根 貫 汰	11	173	英数学館高等学校
村 田 流 星	12	170	広島県瀬戸内高等学校
小 林 愛 翔	13	170	県立広島皆実高等学校
平 野 晃 成	14	174	広島県瀬戸内高等学校
中 山 大 斗	15	188	英数学館高等学校
エンジン ・ 白			

19	徳 島 県			
監督 久 原 大 典				
選手名	番号	身長	所 属	
佐 藤 優 悟	④	162	鳴門渦潮高等学校	
櫛 原 恭 真	5	177	城東高等学校	
北 島 拓 馬	6	177	鳴門渦潮高等学校	
射 場 暖	7	176	鳴門渦潮高等学校	
佐々木 涼	8	168	鳴門渦潮高等学校	
西 岡 拓 海	9	177	鳴門渦潮高等学校	
西 原 伊 吹	10	173	鳴門渦潮高等学校	
小 畠 空	11	180	RIZINGS 徳島	
中 川 太 陽	12	181	鳴門渦潮高等学校	
平 岡 泰 介	13	189	RIZINGS 徳島	
朝 田 一 桜	14	186	海部高等学校	
重 井 隼 颯	15	188	つるぎ高等学校	
紺 ・ 白				

20		愛媛県		
監督 永井聖太				
選手名		番号	身長	所 属
岩井	煌	④	175	愛媛県立松山南高等学校
宇都宮	輝	5	173	新田高等学校
小坂	悠陽	6	170	新田高等学校
森田	美杜	7	179	愛媛県立松山工業高等学校
河村	明慧	8	183	愛媛県立松山北高等学校
荒井	将吾	9	166	愛媛県立松山工業高等学校
神宮	一之亮	10	186	新田高等学校
武田	悠我	11	178	愛媛県立松山工業高等学校
今井	理公	12	183	B.FORCE 愛媛
宇田川	匠蔵	13	171	新田高等学校
森田	圭	14	177	愛媛県立松山工業高等学校
丸金	広翔	15	193	愛媛県立松山東高等学校
オレンジ ・ 白				



少年男子

21		福岡県			
監督 片 峯 聡 太					
選手名		番号	身長	所 属	
田 中 柚 稀	4	172	福岡第一高等学校		
平 良 孔 龍	5	176	福岡大学附属大濠高等学校		
畠 野 玲 心	6	174	福岡第一高等学校		
櫻 井 照 大	⑦	183	福岡大学附属大濠高等学校		
久 我 祐 仁	8	185	福岡第一高等学校		
讃 井 亮 佑	9	184	福岡第一高等学校		
黒 田 健 斗	10	189	福岡大学附属大濠高等学校		
栗 本 富美也	11	189	福岡大学附属大濠高等学校		
太 田 善	12	194	福岡大学附属大濠高等学校		
エルサフィ	ファリス	13	192	福岡第一高等学校	
白 谷 柱誠	ジャック	14	195	福岡大学附属大濠高等学校	
山 元 珠 来	15	197	福岡大学附属大濠高等学校		
青 ・ 白					

22		佐 賀 県		
監督 舩 井 宏 一				
選手名	番号	身長	所 属	
中 村 優 日	4	168	佐賀県立佐賀北高等学校	
大 屋 虎之助	5	167	佐賀県立佐賀東高等学校	
田 崎 敬 也	6	172	佐賀県立佐賀北高等学校	
川 口 悠 翔	7	176	佐賀県立佐賀北高等学校	
田 中 虎二郎	8	168	佐賀県立佐賀東高等学校	
品 川 愛 翔	⑨	177	佐賀県立佐賀北高等学校	
福 永 健 太	10	176	佐賀ブルーナース U18	
金 子 夏惟陸	11	180	佐賀県立佐賀北高等学校	
江 口 翔 大	12	180	佐賀県立佐賀西高等学校	
西 原 聖 人	13	178	佐賀県立佐賀北高等学校	
和 田 睦 生	14	180	佐賀県立佐賀東高等学校	
香 月 悠 摩	15	182	佐賀ブルーナース U15	
水色 ・ 白				

23	熊 本 県			
監督 田 中 洋 平				
選手名		番号	身長	所 属
梶 原 快 斗		4	173	九州学院高等学校
牛 島 優 心		5	190	県立熊本工業高等学校
兼 瀬 心 貴		6	175	九州学院高等学校
藤 原 颯 志		⑦	178	九州学院高等学校
ノーマン 海		8	181	熊本ヴォルターズU15(男子)
浦 下 治 也		9	185	九州学院高等学校
江 藤 想 来		10	180	九州学院高等学校
岩 見 晃 樹		11	188	九州学院高等学校
山 下 翼		12	181	慶誠高等学校
出 井 志 侑		13	195	九州学院高等学校
原 太 希		14	173	熊本ヴォルターズ U15
秋 吉 晟 和		15	182	九州学院高等学校
赤 ・ 白				

24		宮崎県			
監督 時 任 祐 輔					
選手名		番号	身長	所 属	
中 武 大 翔	④	180	県立宮崎工業高等学校		
吉 村 奏 祐	5	180	県立佐土原高等学校		
長 山 寧	6	171	延岡学園高等学校		
森 琉 真	7	178	県立宮崎工業高等学校		
立 元 暖 土	8	170	県立宮崎工業高等学校		
多以良 優 葵	9	180	県立宮崎工業高等学校		
後 藤 唯 仁	10	185	県立小林高等学校		
金 谷 一 輝	11	167	延岡学園高等学校		
田 中 晴	12	175	県立宮崎工業高等学校		
杉 浦 支 生	13	178	延岡学園高等学校		
安 城 辰	14	186	延岡学園高等学校		
大 楠 弘 耀	15	179	県立宮崎工業高等学校		
青 ・ 白					

少年 女子

競技会場

YMITアリーナ
(くさつシティアリーナ)

参加都道府県

- | | |
|--------|--------|
| 1 北海道 | 13 滋賀県 |
| 2 青森県 | 14 京都府 |
| 3 宮城県 | 15 大阪府 |
| 4 秋田県 | 16 兵庫県 |
| 5 埼玉県 | 17 鳥取県 |
| 6 千葉県 | 18 広島県 |
| 7 神奈川県 | 19 愛媛県 |
| 8 山梨県 | 20 高知県 |
| 9 石川県 | 21 福岡県 |
| 10 福井県 | 22 大分県 |
| 11 愛知県 | 23 宮崎県 |
| 12 岐阜県 | 24 沖縄県 |





少年 女子

1	北海道			
監督 嶋 村 圭 太				
選手名		番号	身長	所 属
石 原 優 月	④	167	札幌山の手高等学校	
杉 崎 椿	5	165	日本航空高等学校北海道校	
中 西 実 歩	6	160	札幌山の手高等学校	
鳴 海 咲 愛	7	172	札幌山の手高等学校	
藤 田 優 海	8	166	日本航空高等学校北海道	
菅 野 愛 子	9	172	日本航空高等学校北海道	
伊 達 奏	10	176	札幌山の手高等学校	
高 橋 采 恵	11	171	札幌山の手高等学校	
岡 崎 永 奈	12	154	日本航空高等学校北海道	
軽 部 あかり	13	168	日本航空高等学校北海道	
佐々木 桃	14	172	S-UNITE	
木 下 咲 弥	15	178	札幌市立東月寒中学校	
緑 ・ 白				

2		青 森 県			
監督 小 野 尚 樹					
選手名		番号	身長	所 属	
古 坂	楓	4	166	柴田学園大学附属柴田学園高等学校	
駒 木	芽 衣	⑤	169	柴田学園大学附属柴田学園高等学校	
岡 田	未 来	6	172	柴田学園大学附属柴田学園高等学校	
西 川	優 花	7	167	柴田学園大学附属柴田学園高等学校	
花 田	一 夏	8	160	柴田学園大学附属柴田学園高等学校	
須 藤	来 寧	9	157	柴田学園大学附属柴田学園高等学校	
外 崎	未 夢	10	160	青森県立青森商業高等学校	
山 辺	三 栗	11	161	柴田学園大学附属柴田学園高等学校	
長 尾	咲 希	12	169	柴田学園大学附属柴田学園高等学校	
吉 田	心 優	13	168	八戸学院光星高等学校	
今	未来莉	14	169	Club D	
鈴 木	咲 夢	15	178	ei8htdoor girls	
青 ・ 白					

3	宮 城 県			
監督 小 野 裕				
選手名	番号	身長	所 属	
池 田 薫 子	④	161	聖和学園高等学校	
菅 原 希 音	5	174	聖和学園高等学校	
槻 田 もなみ	6	173	聖和学園高等学校	
村 岡 ひかり	7	167	聖和学園高等学校	
佐 藤 凜	8	171	聖和学園高等学校	
佃 春 瑠	9	170	仙台大学附属明成高等学校	
齋 藤 音乃花	10	166	聖和学園高等学校	
千 葉 逢 花	11	169	聖和学園高等学校	
谷 田 薫 子	12	169	聖和学園高等学校	
幸 田 なのは	13	165	聖和学園高等学校	
宮 川 歌 廉	14	157	聖和学園高等学校	
我 妻 果 枝	15	168	聖和学園高等学校	
緑 ・ 白				

4	秋 田 県			
監督 成 田 麻沙美				
選手名	番号	身長	所 属	
石 川 美 羽	④	173	秋田県立湯沢翔北高等学校	
松 島 ののか	5	172	秋田県立秋田北高等学校	
宇佐美 友 彩	6	165	秋田県立湯沢翔北高等学校	
鎌 田 雫	7	158	秋田県立湯沢翔北高等学校	
伊 藤 乃 愛	8	162	秋田県立秋田中央高等学校	
畠 山 歌笑良	9	160	秋田県立秋田高等学校	
齊 藤 萌 愛	10	169	秋田県立湯沢翔北高等学校	
石 垣 夢凜愛	11	169	秋田県立秋田中央高等学校	
村 山 み お	12	170	秋田県立秋田北高等学校	
小 林 春 陽	13	166	秋田県立秋田中央高等学校	
平 賀 凜	14	165	秋田県立湯沢翔北高等学校	
阿 部 叶 星	15	162	秋田令和高等学校	
エ ン ジ ・ 白				



少年女子

5 埼 玉 県			
監督 早 川 拓			
選手名	番号	身長	所 属
倉 林 まのか	4	165	埼玉栄高等学校
町 田 詩 音	⑤	157	埼玉県立久喜高等学校
吉 澤 凜 花	6	160	正智深谷高等学校
高 野 陽 葵	7	164	正智深谷高等学校
成 田 姫 海	8	166	昌平高等学校
戸 部 遥 愛	9	167	正智深谷高等学校
小 川 美 波	10	168	正智深谷高等学校
荻 原 小 春	11	169	HANABUSA
喜 多 笑 鈴	12	170	正智深谷高等学校
鈴 木 凜	13	172	昌平高等学校
森 澤 奈 々	14	172	埼玉県立久喜高等学校
大 口 莉 央	15	181	正智深谷高等学校
青 ・ 白			

6 千 葉 県			
監督 高 松 淳 史			
選手名	番号	身長	所 属
洪 潤 恵	④	172	千葉英和高等学校
高 岡 冬 萌	5	173	千葉経済大学附属高等学校
長 尾 杏 奈	6	172	昭和学院高等学校
山 田 莉 心	7	175	昭和学院高等学校
中 澤 希 乃	8	177	昭和学院高等学校
相 間 す み れ	9	165	昭和学院高等学校
長 山 千 鶴	10	167	昭和学院高等学校
北 見 千 尋	11	168	千葉県立幕張総合高等学校
山 本 四 葉	12	154	千葉県立幕張総合高等学校
森 園 月 愛	13	163	千葉英和高等学校
畠 澤 花 凜	14	170	柏市立柏高等学校
安 藤 優 菜	15	175	千葉経済大学附属高等学校
青 ・ 白			

7 神 奈 川 県			
監督 岡 野 晃			
選手名	番号	身長	所 属
木 村 彩 陽	④	168	星槎国際高等学校
横 川 光 織	6	170	県立横浜立野高等学校
伊 藤 結愛乃	5	179	東海大学付属相模高等学校
赤 星 妃 花	7	167	県立横浜立野高等学校
瀧 本 千 智	8	173	法政大学第二高等学校
白 石 歩	9	164	東海大学付属相模高等学校
本 吉 由梨江	10	174	旭丘高等学校
木 村 優 希	11	171	鵠沼高等学校
五十嵐 優 亜	12	172	県立秦野総合高等学校
長谷川 葉 南	13	168	県立松陽高等学校
久保田 陽 央	14	175	県立相模原弥栄高等学校
棚 橋 心 結	15	175	鵠沼高等学校
青 ・ 白			

8 山 梨 県			
監督 蒲 生 壮 扶			
選手名	番号	身長	所 属
中 川 陽 葵	④	174	日本航空高等学校
河 野 結 生	5	168	日本航空高等学校
長 田 一 花	6	158	日本航空高等学校
本 島 凜	7	163	日本航空高等学校
藤 井 春	8	157	日本航空高等学校
石 塚 光 夢	9	160	日本航空高等学校
桶 野 千 馨	10	172	日本航空高等学校
種 田 愛 子	11	170	山梨県立韮崎高等学校
花 輪 日 葵	12	159	山梨県立韮崎高等学校
花 輪 柚 沙	13	162	山梨県立韮崎高等学校
松 本 彩 良	14	151	BC Pesca
廣 瀬 莉 緒	15	163	BC Pesca
エンジ ・ 白			



少年 女子

9	石川 県			
監督 中 村 勇 也				
選手名		番号	身長	所 属
金 田 弘 楓		④	165	石川県立金沢桜丘高等学校
豊 原 璃 佳		5	167	石川県立津幡高等学校
小 林 果 歩		6	154	日本航空高等学校石川
井 畑 友 伽		7	161	鵬学園高等学校
北 脇 未 空		8	166	石川県立津幡高等学校
中 山 陽 菜		9	168	石川県立津幡高等学校
関 戸 笑 里		10	161	石川県立津幡高等学校
北 山 小 桜		11	166	金沢高等学校
安 藤 百 花		12	176	金沢学院大学附属高等学校
関 結 菜		13	163	金沢高等学校
岡 崎 莉里香		14	160	金沢学院大学附属高等学校
関 谷 瑠 那		15	177	金沢学院大学附属高等学校
青 ・ 白				

10	福 井 県		
監督 満 田 高 広			
選手名	番号	身長	所 属
中 尾 咲 良	④	168	足羽高等学校
堀 川 来瑠美	5	172	啓新高等学校
阪 本 いろは	6	170	福井工業大学附属福井高等学校
宍 道 未 空	7	170	福井工業大学附属福井高等学校
田 原 莉 桜	8	168	福井工業大学附属福井高等学校
平 田 咲 喜	9	167	福井工業大学附属福井高等学校
中 村 莉衣奈	10	164	福井工業大学附属福井高等学校
北 川 虹	11	162	福井工業大学附属福井高等学校
瀧 本 彩	12	162	足羽高等学校
目 瀬 汐 莉	13	160	福井工業大学附属福井高等学校
谷 凜々子	14	158	足羽高等学校
中 村 綸 花	15	155	福井工業大学附属福井高等学校
紺 ・ 白			

11	愛 知 県		
監督 福 井 崇 人			
選手名	番号	身長	所 属
竹 内 み や	④	161	桜花学園高等学校
太 田 莉 央	5	162	桜花学園高等学校
加 地 百 花	6	170	桜花学園高等学校
前 田 零 奈	7	179	桜花学園高等学校
小 田 陽夏子	8	174	桜花学園高等学校
佐 藤 亜 美	9	174	桜花学園高等学校
玉 木 さくら	10	170	桜花学園高等学校
菅 原 ゆ う	11	170	桜花学園高等学校
坂 本 青 空	12	170	桜花学園高等学校
熊 野 杏 香	13	179	桜花学園高等学校
榎 畑 梨 緒	14	165	桜花学園高等学校
ケースク アナヒタ	15	183	桜花学園高等学校
青 ・ 白			

12		岐 阜 県		
監督 面 高 春 奈				
選手名		番号	身長	所 属
青 木 心 夢	④	170	岐阜女子高等学校	
信 田 琴 和	5	174	岐阜女子高等学校	
小 池 夏 歩	6	165	岐阜女子高等学校	
小 嶋 紗 英	7	174	岐阜女子高等学校	
上 原 小 春	8	171	岐阜女子高等学校	
牧 川 葵 雲	9	167	岐阜女子高等学校	
花 吉 詩 南	10	170	岐阜女子高等学校	
佐々木 栞 奈	11	174	岐阜女子高等学校	
伊 藤 里 菜	12	168	岐阜県立岐阜商業高等学校	
藤 原 有妃那	13	158	岐阜県立岐阜商業高等学校	
馬 場 咲彩子	14	167	岐阜県立岐阜商業高等学校	
白 木 まあり	15	162	岐阜県立岐阜商業高等学校	
赤 ・ 白				



少年 女子

13	滋 賀 県			
監督 前 川 慎 輔				
選手名		番号	身長	所 属
青 山 流 音		④	167	近江兄弟社高等学校
山 元 葵		5	169	県立草津東高等学校
大 面 心 春		6	156	近江兄弟社高等学校
中 村 千 暖		7	163	県立草津東高等学校
長 岡 莉 夢		8	164	伊吹高等学校
伊 藤 杏 果		9	155	伊吹高等学校
藤 本 真 緒		10	159	県立草津東高等学校
大工谷 真 奈		11	167	近江兄弟社高等学校
小 島 瑠 海		12	166	県立草津東高等学校
伊 藤 里 桜		13	156	県立草津東高等学校
池 戸 莉 心		14	162	Team Trust
谷 優 羽		15	173	IBS Girl
青 ・ 白				

14	京 都 府			
監督 米 長 真 夫				
選手名	番号	身長	所 属	
田 中 里 旺	④	161	京都精華学園高等学校	
仲 江 遥 香	5	162	京都精華学園高等学校	
奥 殿 日南子	6	160	京都精華学園高等学校	
外 川 穂 華	7	162	京都両洋高等学校	
松 田 梨 月	8	159	京都精華学園中学校	
永 尾 芽 希	9	168	京都精華学園中学校	
石 綿 文	10	186	京都精華学園高等学校	
大 木 一 樺	11	173	京都精華学園高等学校	
田 中 百 音	12	174	京都精華学園高等学校	
中 村 瑠 花	13	176	京都精華学園高等学校	
長 瀬 萌々奈	14	169	京都精華学園高等学校	
オディア カウエル リツ	15	193	京都精華学園高等学校	
ブルーグリーン ・ 白				

15	大 阪 府				
監督 安 藤 香 織					
選手名		番号	身長	所 属	
細 澤 幸 生		④	174	大阪薫英女学院高等学校	
篠 岡 紗 菜		5	171	関西大学第一高等学校	
大 槻 佳 子		6	163	大阪薫英女学院高等学校	
吉 田 沙 希		7	173	大阪薫英女学院高等学校	
今 井 優 蕾		8	178	大阪薫英女学院高等学校	
後 藤 稀 泉		9	166	好文学園女子高等学校	
君 島 凜		10	177	大阪薫英女学院高等学校	
清 水 莉 子		11	172	大阪薫英女学院高等学校	
桑 名 瑠 愛		12	162	大阪薫英女学院高等学校	
上 田 結 菜		13	162	大阪薫英女学院中学校	
衣 斐 小 春		14	156	KONAN WILD TRICKYS	
原 口 侑 芽		15	170	RED FROGS	
紺 ・ 白					

16	兵 庫 県			
監督 常 盤 将 宏				
選手名	番号	身長	所 属	
小 林 明香里	④	160	神戸龍谷高等学校	
井 村 真 依	5	168	三田松聖高等学校	
野間口 咲 乃	6	159	県立宝塚西高等学校	
村 岸 芽 依	7	167	尼崎市立尼崎高等学校	
東 平 幸 冬	8	165	園田学園高等学校	
日比野 仁 誇	9	167	三田松聖高等学校	
前 西 詩 音	10	162	神戸星城高等学校	
岡 田 マリア	11	167	三田松聖高等学校	
松 本 結 月	12	170	三田松聖高等学校	
魚 住 璃 香	13	171	三田松聖高等学校	
中 村 莉 碧	14	163	三田松聖高等学校	
笹 川 結 愛	15	168	team DENY	
紺 ・ 白				



少年女子

17	鳥 取 県			
監督 石 谷 洋 祐				
選手名		番号	身長	所 属
横 山 彩 乃		4	160	鳥取東高等学校
濱 田 そよ花		5	176	鳥取城北高等学校
濱 田 優		6	175	鳥取城北高等学校
安 藤 玲		⑦	181	鳥取城北高等学校
田 尻 百々花		8	165	鳥取城北高等学校
新 美 璃 紅		9	158	鳥取城北高等学校
下 村 恵		10	156	鳥取城北高等学校
阿 部 まりん		11	171	鳥取城北高等学校
渡 邊 愛		12	160	鳥取南中学校
森 岡 怜 那		13	162	SHINY WAVES
前 田 芽 郁		14	167	米子松蔭高等学校
EFEADUE FAVOUR EKEMENA		15	187	鳥取城北高等学校
緑 ・ 白				

18	広島県		
監督 畠 本 奈 穂			
選手名	番号	身長	所 属
愛 洲 瑞 絆	④	159	広島県立広島皆実高等学校
東 鬼 莉 子	5	166	呉市立呉高等学校
永 川 里 桜	6	172	清水ヶ丘高等学校
平 川 紗 蘭	7	162	清水ヶ丘高等学校
山 村 柚 子	8	155	比治山女子高等学校
阿 部 明 里	9	156	銀河学院高等学校
酒 井 結 菜	10	164	広島県立広島観音高等学校
丸 山 桃 奈	11	168	広島県立広島皆実高等学校
尾 上 ことは	12	170	比治山女子高等学校
助 宮 朱 莉	13	171	銀河学院高等学校
秋 田 光 梨	14	155	比治山女子高等学校
横 川 柚 季	15	160	広島県立広島皆実高等学校
エンジン ・ 白			

19	愛媛県			
監督 後藤良太				
選手名	番号	身長	所 属	
権 藤 寧 々	④	168	聖カタリナ学園高等学校	
八 木 沙都希	5	170	聖カタリナ学園高等学校	
藤 原 安 那	6	172	聖カタリナ学園高等学校	
曾我部 好 花	7	169	FC 今治高等学校明德校	
北 川 遊 稀	8	166	FC 今治高等学校明德校	
曾我部 琉 依	9	161	FC 今治高等学校明德校	
清 藤 夏 望	10	168	FC 今治高等学校明德校	
松 澤 栞 奈	11	167	聖カタリナ学園高等学校	
安 藤 心 結	12	155	聖カタリナ学園高等学校	
佐 藤 綾 乃	13	167	聖カタリナ学園高等学校	
松 下 遥 希	14	161	聖カタリナ学園高等学校	
今 川 愉 生	15	171	済美高等学校	
オレンジ ・ 白				

20		高 知 県			
監督 高 橋 竜 二					
選手名		番号	身長	所 属	
平	良 美 海	④	160	高知中央高等学校	
花	岡 芽 紗	5	164	高知商業高等学校	
戸	田 樹 里	6	157	高知商業高等学校	
市	川 夕 海	7	156	高知中央高等学校	
植	木 麻 結	8	168	明德義塾高等学校	
大	山 咲 月	9	169	高知商業高等学校	
豊	田 詩 依	10	160	明德義塾高等学校	
江	良 咲貴子	11	160	高知中央高等学校	
長	尾 菜 花	12	169	高知中央高等学校	
山	田 彩 心	13	168	NSH	
萬	正 楓	14	172	高知中央高等学校	
濱	田 果 乃	15	160	高知商業高等学校	
黒 ・ 白					



少年女子

21		福 岡 県			
監督 大 上 晴 司					
選手名		番号	身長	所 属	
松 下 ななみ		4	156	精華女子高等学校	
岸 副 瑠 子		5	155	精華女子高等学校	
岩 山 友 香		6	160	東海大学付属福岡高等学校	
竹 地 優 茉		7	163	精華女子高等学校	
小 宮 愛 結		8	164	福岡大学附属若葉高等学校	
内 野 由 愛		9	166	福岡大学附属若葉高等学校	
小 浜 結 羽		10	168	東海大学付属福岡高等学校	
飯 田 結 愛		11	168	東海大学付属福岡高等学校	
工 藤 結 心		12	168	東海大学付属福岡高等学校	
後 藤 帆乃果		13	171	精華女子高等学校	
弓 取 陽		14	173	東海大学付属福岡高等学校	
内 田 弓 愛		⑮	175	東海大学付属福岡高等学校	
青 ・ 白					

22		大 分 県			
監督 杉 山 真裕実					
選手名		番号	身長	所 属	
中	谷 美 海	4	156	明豊高等学校	
崎	谷 華 名	5	156	明豊高等学校	
繁	松 椿	6	158	明豊高等学校	
安	田 結 希	7	158	大分高等学校	
前	田 さくら	8	161	大分中学校	
中	川 衣 音	9	163	大分高等学校	
坂	本 郁 歩	⑩	164	大分県立日田高等学校	
北	村 実 々	11	166	明豊高等学校	
本	田 惟千花	12	170	中津 GIGADEINS	
小	村 梓	13	171	大分高等学校	
野	田 珠 理	14	172	明豊高等学校	
竹	下 希 遥	15	172	大分高等学校	
黒 ・ 白					

23	宮崎県			
監督 橘 裕				
選手名	番号	身長	所 属	
中 野 二 琴	④	165	県立小林高等学校	
高 間 仁 香	5	164	県立宮崎商業高等学校	
山 下 優 莉	6	156	延岡学園高等学校	
山 元 楓 愛	7	173	県立小林高等学校	
山 田 智 香	8	172	延岡学園高等学校	
高 木 望 叶	9	168	日章学園高等学校	
清 山 凜 実	10	164	県立宮崎商業高等学校	
岑 美紗貴	11	162	県立小林高等学校	
徳 重 心 晴	12	158	県立小林高等学校	
増 井 ひなた	13	159	日章学園高等学校	
前 田 明日香	14	163	県立小林高等学校	
佐 藤 一 叶	15	171	県立小林高等学校	
青 ・ 白				

24	沖 縄 県			
監督 西 田 陽 子				
選手名	番号	身長	所 属	
津波古 七 灯	4	164	沖縄県立那覇高等学校	
上 原 楓 愛	⑤	153	沖縄県立那覇高等学校	
山 内 杏 姫	6	170	沖縄県立石川高等学校	
今 井 圓 子	7	172	沖縄県立向陽高等学校	
新 垣 璃利子	8	168	沖縄県立石川高等学校	
渡久地 日 花	9	168	沖縄県立石川高等学校	
平 良 香 葉	10	165	沖縄県立向陽高等学校	
角 田 李 央	11	168	沖縄県立那覇高等学校	
神 元 笑	12	164	沖縄県立石川高等学校	
平 良 陽 菜	13	164	沖縄県立知念高等学校	
松 堂 莉 杏	14	157	沖縄県立石川高等学校	
鶴 田 りりあ	15	160	沖縄県立知念高等学校	
青 ・ 白				



男女総合（天皇杯得点）成績一覧

種別 順位得点 都道府県		成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		参加 得点	合計	順位
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点			
1	北海道											
2	青森県											
3	岩手県											
4	宮城県											
5	秋田県											
6	山形県											
7	福島県											
8	茨城県											
9	栃木県											
10	群馬県											
11	埼玉県											
12	千葉県											
13	東京都											
14	神奈川県											
15	山梨県											
16	新潟県											
17	長野県											
18	富山県											
19	石川県											
20	福井県											
21	静岡県											
22	愛知県											
23	三重県											
24	岐阜県											
25	滋賀県											
26	京都府											
27	大阪府											
28	兵庫県											
29	奈良県											
30	和歌山県											
31	鳥取県											
32	島根県											
33	岡山県											
34	広島県											
35	山口県											
36	香川県											
37	徳島県											
38	愛媛県											
39	高知県											
40	福岡県											
41	佐賀県											
42	長崎県											
43	熊本県											
44	大分県											
45	宮崎県											
46	鹿児島県											
47	沖縄県											



女子総合（皇后杯得点）成績一覧

種別 順位得点 都道府県		成年女子		少年女子		参加得点	合計	順位
		順位	競技得点	順位	競技得点			
1	北海道							
2	青森県							
3	岩手県							
4	宮城県							
5	秋田県							
6	山形県							
7	福島県							
8	茨城県							
9	栃木県							
10	群馬県							
11	埼玉県							
12	千葉県							
13	東京都							
14	神奈川県							
15	山梨県							
16	新潟県							
17	長野県							
18	富山県							
19	石川県							
20	福井県							
21	静岡県							
22	愛知県							
23	三重県							
24	岐阜県							
25	滋賀県							
26	京都府							
27	大阪府							
28	兵庫県							
29	奈良県							
30	和歌山県							
31	鳥取県							
32	島根県							
33	岡山県							
34	広島県							
35	山口県							
36	香川県							
37	徳島県							
38	愛媛県							
39	高知県							
40	福岡県							
41	佐賀県							
42	長崎県							
43	熊本県							
44	大分県							
45	宮崎県							
46	鹿児島県							
47	沖縄県							



過去の成績一覧

回数	開催地	種 目	成年男子 (一般の部)	成年男子 (教員種目の部)	成年女子	少年男子	少年女子
第 1 回	京 都 府		東 京 都 (東京学士大)		福 岡 県 (橘 高)	東 京 都 (墨田工業)	
第 2 回	石 川 県					北 海 道 (札幌一中)	北 海 道 (函館女高)
第 3 回	福 岡 県		東 京 都 (東京学士大)			京 都 府 (山城高)	埼 玉 県 (浦和一女高)
第 4 回	東 京 都					北 海 道 (札幌一高)	埼 玉 県 (浦和一女高)
第 5 回	愛 知 県		神 奈 川 県			福 岡 県 (福岡高)	埼 玉 県 (浦和一女高)
第 6 回	広 島 県					福 岡 県 (福岡高)	長 野 県 (染谷丘高)
第 7 回	東 北 三 県		東 京 都 (日本鉱業)		東 京 都 (興業銀行)	北 海 道 (札幌南高)	栃 木 県 (栃木女高)
第 8 回	四 国 四 県		東 京 都 (三井生命)		大 阪 府 (日紡大阪)	佐 賀 県 (佐賀高)	岡 山 県 (就実高)
第 9 回	北 海 道		大 阪 府		埼 玉 県		
第10回	神 奈 川 県		大 阪 府	静 岡 県	静 岡 県	新 潟 県 (三条高)	埼 玉 県 (浦和一女高)
第11回	兵 庫 県		東 京 都	北 海 道	秋 田 県 (秋田営林局)	新 潟 県 (新発田商工高)	静 岡 県 (静岡精華高)
第12回	静 岡 県		東 京 都	新 潟 県	埼 玉 県	埼 玉 県 (浦和商高)	島 根 県 (安来高)
第13回	富 山 県		東 京 都	新 潟 県	福 島 県	島 根 県 (松江工高)	秋 田 県 (秋田北高)
第14回	東 京 都		東 京 都	神 奈 川 県	埼 玉 県	京 都 府 (山城高)	埼 玉 県 (浦和一女高)
第15回	熊 本 県		福 岡 県 (八幡製鉄)	東 京 都	大 阪 府 (日紡平野)	東 京 都 (中大杉並高)	埼 玉 県 (浦和一女高)
第16回	秋 田 県		神 奈 川 県 (日本鋼管)	東 京 都	大 阪 府 (日紡平野)	静 岡 県 (静岡高)	栃 木 県 (栃木女高)
第17回	岡 山 県		神 奈 川 県 (日本鋼管)	静 岡 県	愛 知 県	京 都 府 (山城高)	静 岡 県 (静岡精華高)
第18回	山 口 県		福 岡 県 (八幡製鉄)	静 岡 県	愛 知 県 (三菱電機名古屋)	東 京 都 (中大附属高)	愛 知 県 (名古屋女子商高)
第19回	新 潟 県		神 奈 川 県 (日本鋼管)	新 潟 県	大 阪 府 (ニチボー平野)	島 根 県 (松江工高)	新 潟 県 (高田北城高)
第20回	岐 阜 県		東 京 都 (日本鉱業)	静 岡 県	大 阪 府 (ニチボー平野)	山 形 県 (日大山形高)	愛 知 県 (安城短大附属高)
第21回	大 分 県		福 岡 県 (八幡製鉄)	岐 阜 県	大 阪 府 (オールニチボー)	東 京 都 (中大附属高)	愛 知 県 (安城短大附属高)
第22回	埼 玉 県		神 奈 川 県 (日本鋼管)	埼 玉 県	京 都 府 (日本レーヨン)	秋 田 県 (能代工高)	秋 田 県 (大曲高)
第23回	福 井 県		大 阪 府 (住友金属)	静 岡 県	京 都 府 (日本レーヨン)	神 奈 川 県 (相模工大附属高)	福 井 県 (高志高)
第 24 回	長 崎 県		東 京 都 (三井生命)	長 崎 県	京 都 府 (ユニチカ宇治)	静 岡 県 (全静岡)	愛 知 県 (全愛知)
第 25 回	岩 手 県		千 葉 県 (新日本製鉄)	千 葉 県	東 京 都 (日本勧業銀行)	秋 田 県 (能代工高)	愛 知 県 (全愛知)
第 26 回	和 歌 山 県		千 葉 県 (新日本製鉄)	宮 城 県	大 阪 府 (ユニチカ山崎)	東 京 都 (全東京)	秋 田 県 (全秋田)
第 27 回	鹿 児 島 県		愛 知 県	静 岡 県	埼 玉 県	東 京 都	長 崎 県
第 28 回	千 葉 県		千 葉 県	宮 城 県	埼 玉 県	東 京 都	秋 田 県
第 29 回	茨 城 県		愛 知 県	千 葉 県	東 京 都	茨 城 県	大 阪 府
第 30 回	三 重 県		三 重 県	茨 城 県	山 梨 県	秋 田 県	大 阪 府
第 31 回	佐 賀 県		三 重 県	熊 本 県	静 岡 県	秋 田 県	東 京 都
第 32 回	青 森 県		東 京 都	東 京 都	愛 知 県	茨 城 県	大 阪 府
第 33 回	長 野 県		愛 知 県	熊 本 県	愛 知 県	茨 城 県	大 阪 府
第 34 回	宮 崎 県		秋 田 県	栃 木 県	埼 玉 県	福 岡 県	宮 崎 県
第 35 回	栃 木 県		千 葉 県		埼 玉 県	秋 田 県	東 京 都

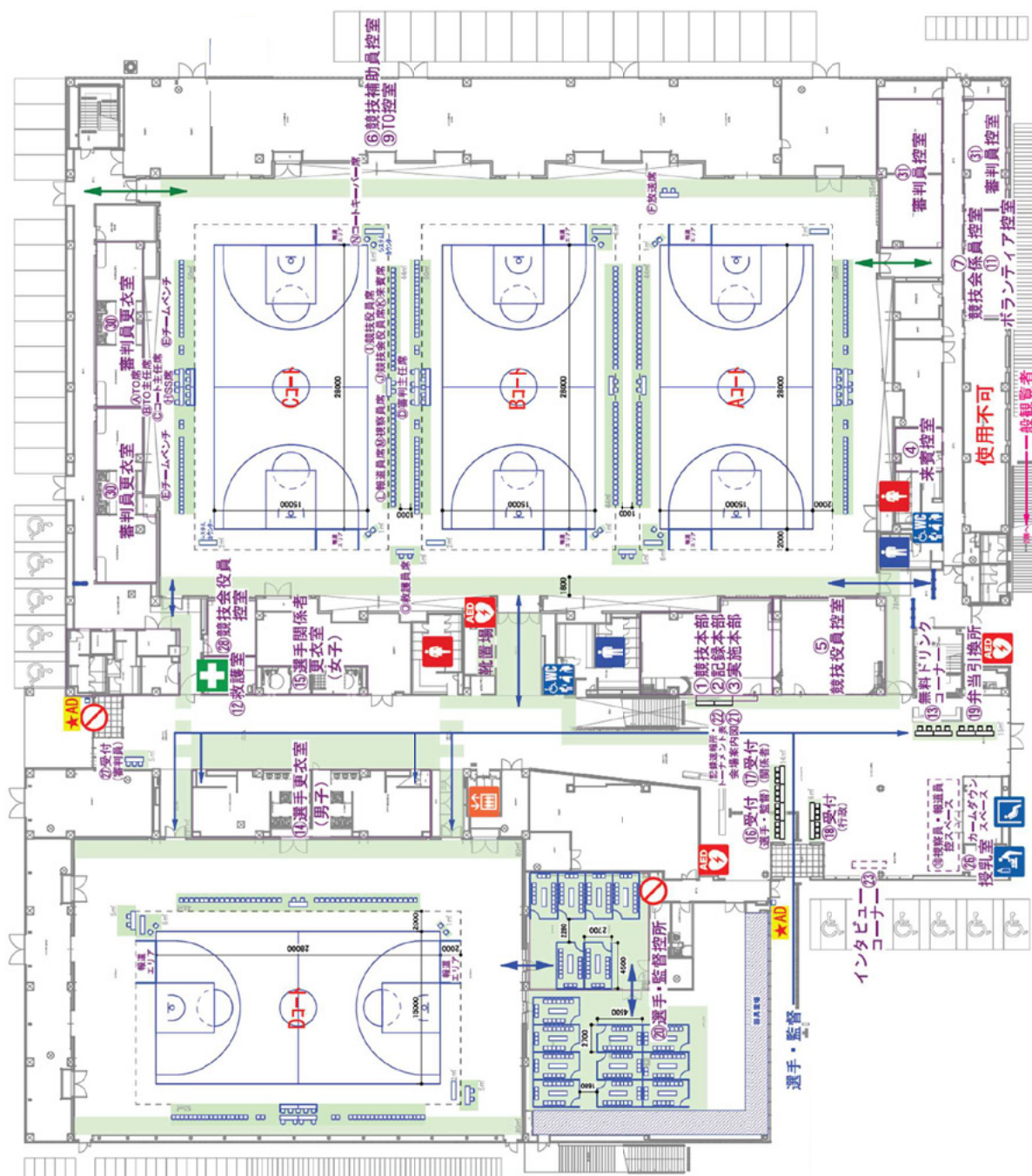


回数	開催地	種 目	成年男子 (一般の部)	成年男子 (教員種目の部)	成年女子	少年男子	少年女子
第 36 回	滋 賀 県		滋 賀 県		大 阪 府	滋 賀 県	兵 庫 県
第 37 回	島 根 県		島 根 県		東 京 都	秋 田 県	兵 庫 県
第 38 回	群 馬 県		秋 田 県		福 岡 県	秋 田 県	東 京 都
第 39 回	奈 良 県		千 葉 県		兵 庫 県	東 京 都	東 京 都
第 40 回	鳥 取 県		山 梨 県		福 岡 県	秋 田 県	大 阪 府
第 41 回	山 梨 県		山 梨 県		福 岡 県	東 京 都	千 葉 県
第 42 回	沖 縄 県		秋 田 県		福 岡 県	沖 縄 県	東 京 都
第 43 回	京 都 府		京 都 府		京 都 府	秋 田 県	愛 知 県
第 44 回	北 海 道		秋 田 県		兵 庫 県	秋 田 県	愛 知 県
第 45 回	福 岡 県		山 形 県		愛 知 県	京 都 府	愛 知 県
第 46 回	石 川 県		山 形 県		愛 知 県	秋 田 県	東 京 都
第 47 回	山 形 県		山 形 県		徳 島 県	愛 知 県	愛 知 県
第 48 回	徳 島 県		愛 知 県		徳 島 県	福 岡 県	愛 知 県
第 49 回	愛 知 県		愛 知 県		愛 知 県	福 岡 県	愛 知 県
第 50 回	福 島 県		秋 田 県		福 島 県	福 岡 県	愛 知 県
第 51 回	広 島 県		神 奈 川 県		広 島 県	秋 田 県	愛 知 県
第 52 回	大 阪 府		大 阪 府		大 阪 府	秋 田 県	東 京 都
第 53 回	神 奈 川 県		熊 本 県		愛 知 県	秋 田 県	愛 知 県
第 54 回	熊 本 県		神 奈 川 県		熊 本 県	宮 崎 県	愛 知 県
第 55 回	富 山 県		富 山 県		愛 知 県	宮 城 県	富 山 県
第 56 回	宮 城 県		宮 城 県		宮 城 県	千 葉 県	愛 知 県
第 57 回	高 知 県		愛 知 県		愛 知 県	京 都 府	静 岡 県
第 58 回	静 岡 県		大 阪 府		愛 知 県	福 岡 県	愛 知 県
第 59 回	埼 玉 県		大 阪 府		愛 知 県	東 京 都	福 岡 県
第 60 回	岡 山 県		奈 良 県		長 崎 県	東 京 都	東 京 都
第 61 回	兵 庫 県		福 岡 県		山 形 県	福 岡 県	愛 知 県
第 62 回	秋 田 県		千 葉 県		秋 田 県	秋 田 県	愛 知 県
第 63 回	大 分 県		千 葉 県		東 京 都	京 都 府	東 京 都
第 64 回	新 潟 県		山 形 県		山 形 県	京 都 府	愛 知 県
第 65 回	千 葉 県		千 葉 県		千 葉 県	福 岡 県	北 海 道
第 66 回	山 口 県		東 京 都		愛 知 県	宮 崎 県	北 海 道
第 67 回	岐 阜 県		岐 阜 県		秋 田 県	京 都 府	岐 阜 県
第 68 回	東 京 都		東 京 都		栃 木 県	東 京 都	愛 知 県
第 69 回	長 崎 県		福 岡 県		秋 田 県	福 岡 県	愛 知 県
第 70 回	和 歌 山 県		愛 知 県		山 形 県	茨 城 県	愛 知 県
第 71 回	岩 手 県		東 京 都		栃 木 県	京 都 府	愛 知 県
第 72 回	愛 媛 県		秋 田 県		秋 田 県	京 都 府	岐 阜 県
第 73 回	福 井 県		秋 田 県		熊 本 県	福 岡 県	愛 知 県
第 74 回	茨 城 県		秋 田 県		愛 知 県	福 岡 県	愛 知 県
第 75 回	鹿 児 島 県				延 期		
第 76 回	三 重 県				中 止		
第 77 回	栃 木 県		秋 田 県		滋 賀 県	茨 城 県	愛 知 県
特 別	鹿 児 島 県		秋 田 県		東 京 都	茨 城 県	京 都 府
第 78 回	佐 賀 県		三 重 県		栃 木 県	福 岡 県	京 都 府
第 79 回	滋 賀 県						

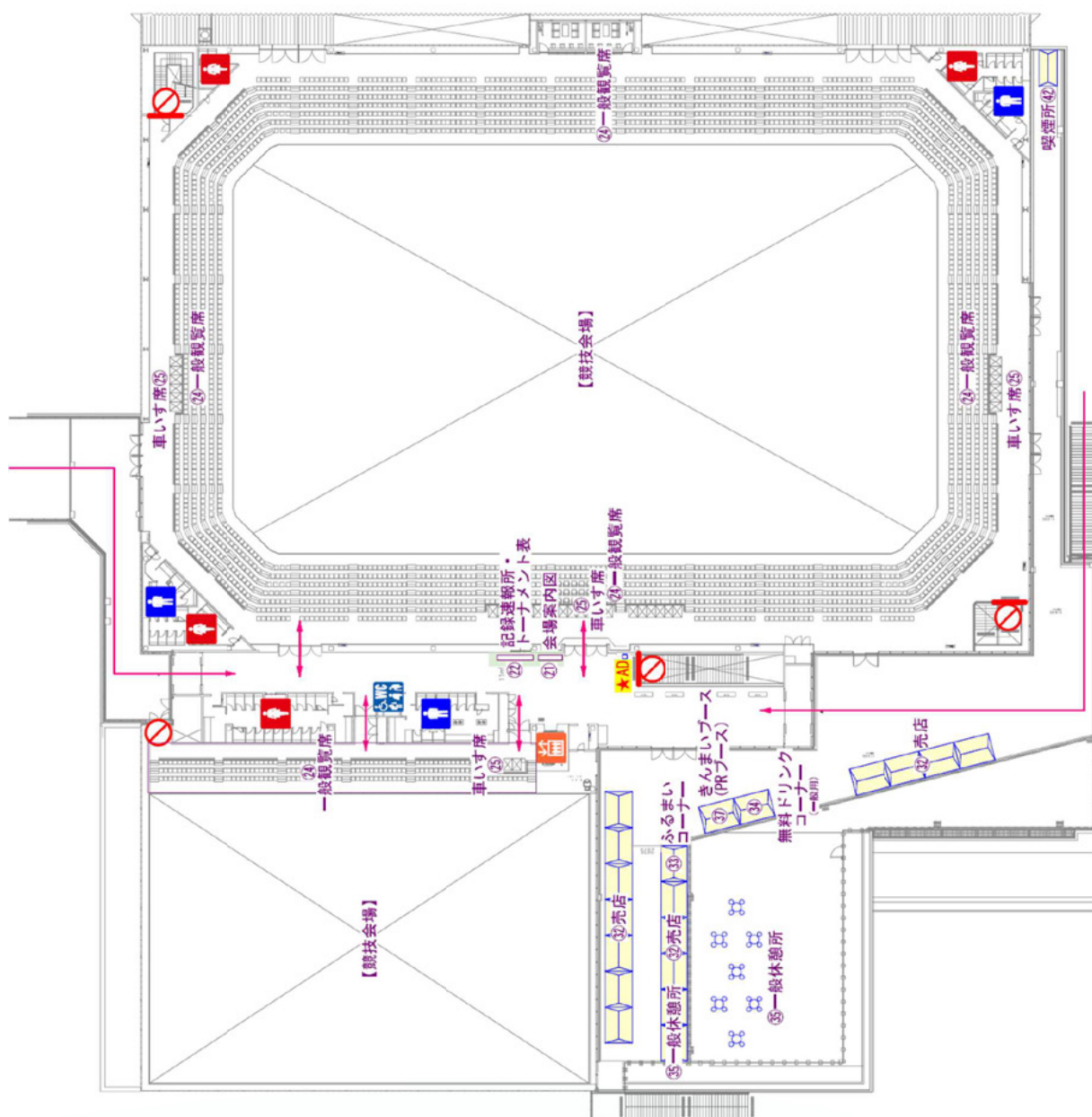


滋賀ダイハツアリーナ 会場案内図

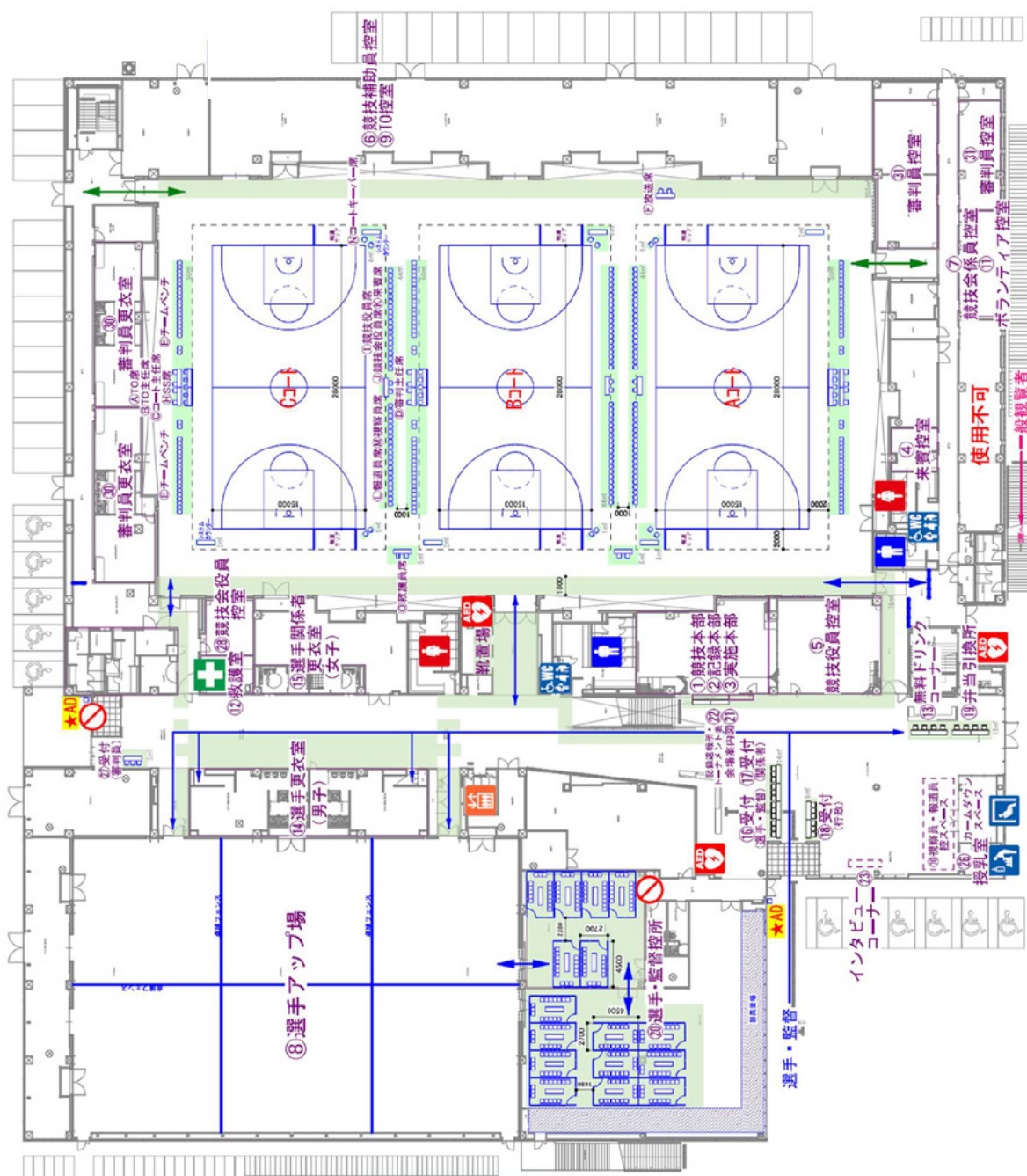
バスケットボール開催1日目 1階



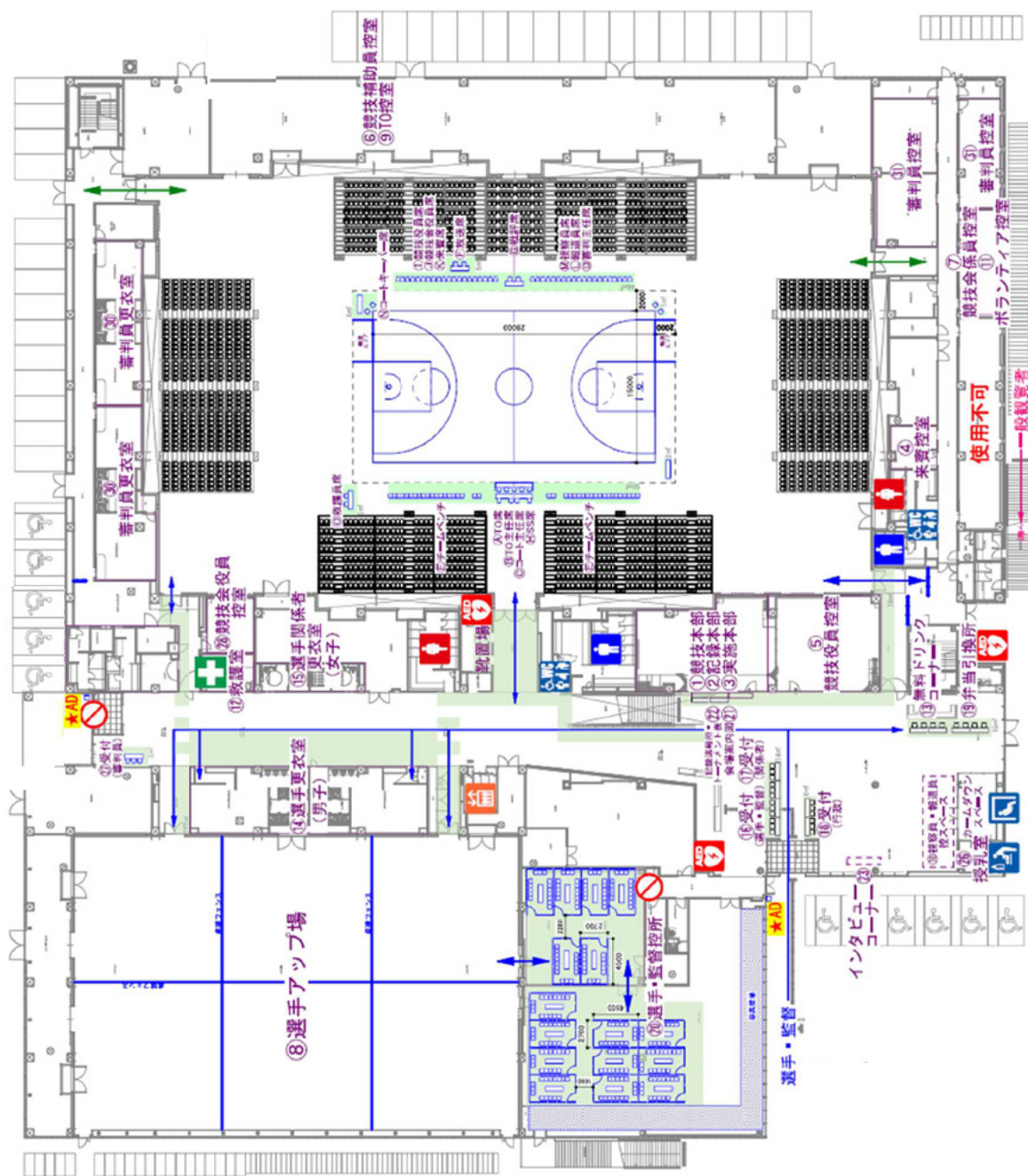
バスケットボール開催1日目 2階



バスケットボール開催2～3日目 1階



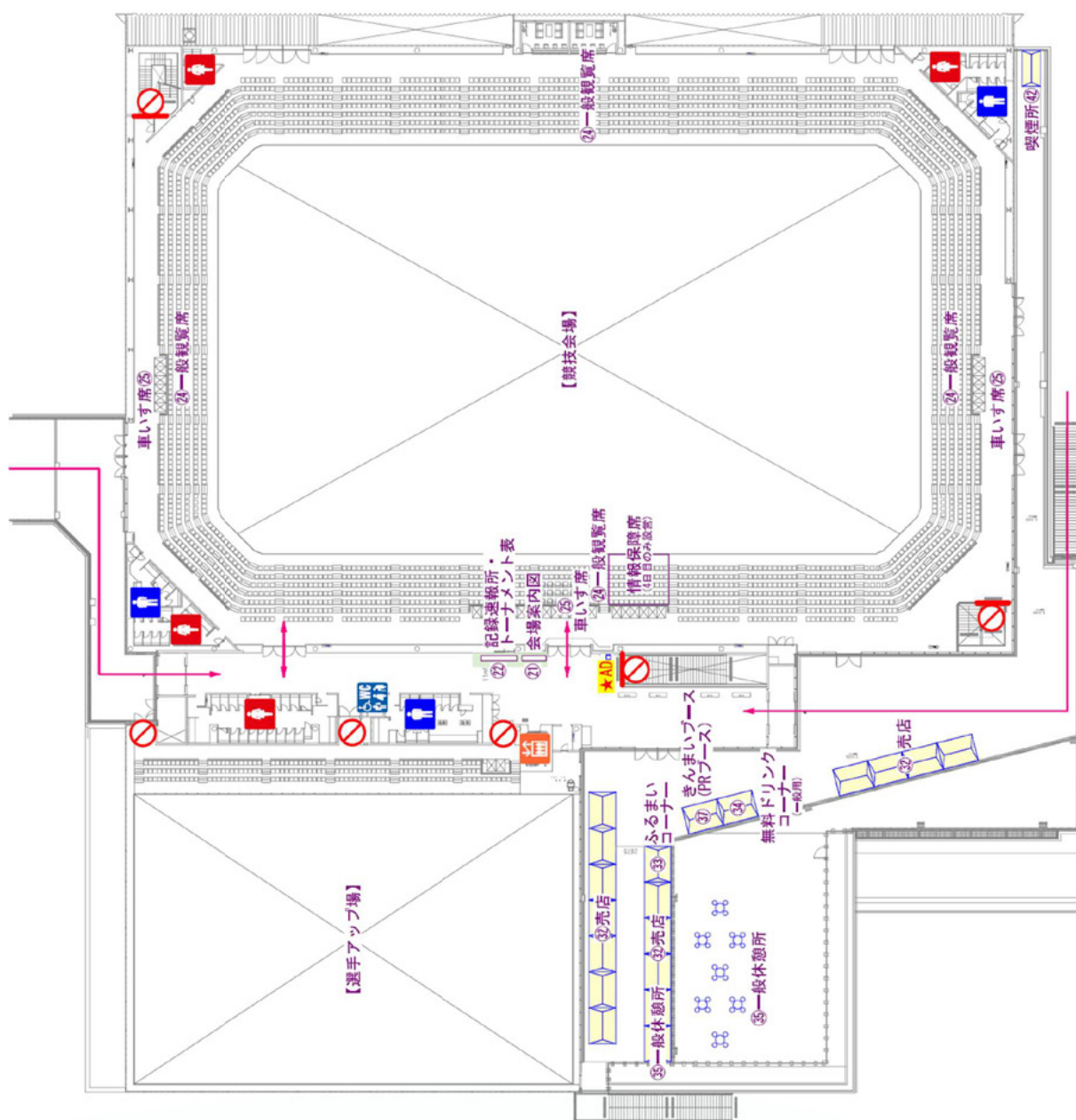
バスケットボール開催4～5日目 1階





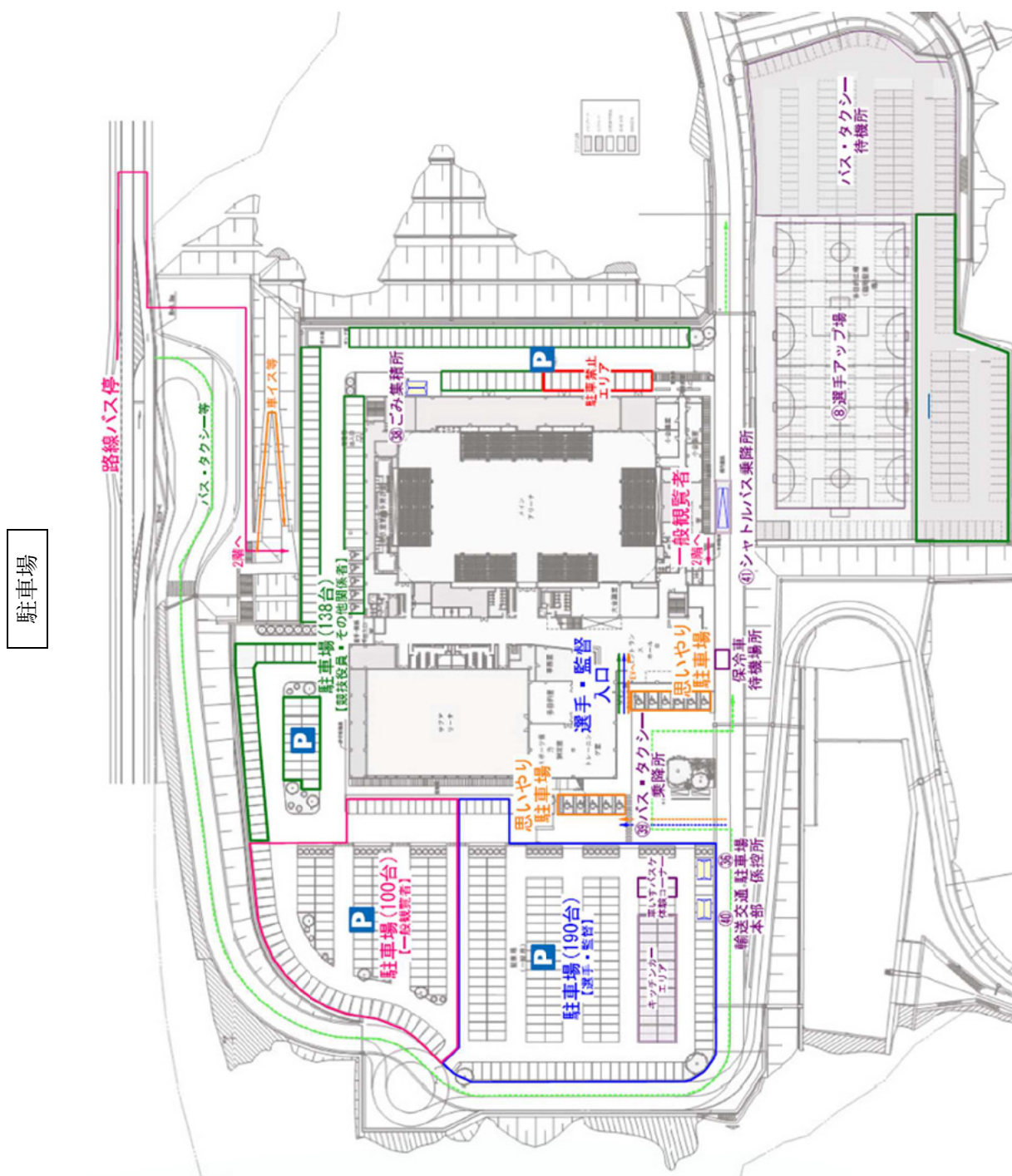
滋賀ダイハツアリーナ 会場案内図

バスケットボール開催 2～5日目 2階





滋賀ダイハツアリーナ 会場案内図



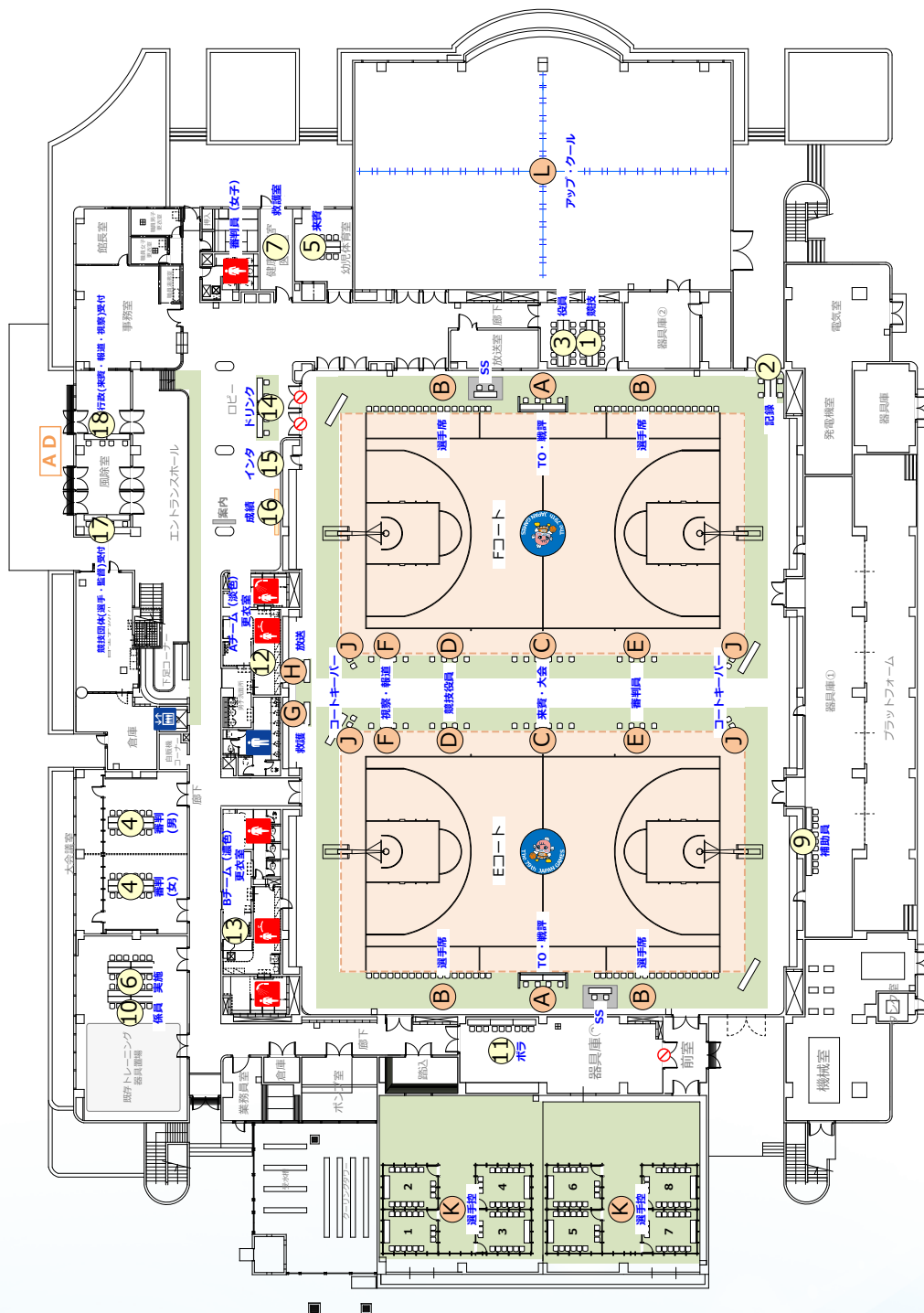


野洲市総合体育館 会場案内図

バスケットボール開催 1～3日目 (2コート)

NO.	施設名
A	TO・戦評・SS席
B	選手席
C	来賓・大会役員席
D	競技役員席
E	審判員席
F	視察員・報道員席
G	救護員席
H	放送席
J	コートキーパー席
K	選手控室
L	アップ・クールダウンエリア

NO.	施設名
1	競技本部
2	記録本部
3	競技役員控室
4	審判員控室
5	来賓控室
6	実施本部
7	救護室
8	報道員・視察員控室
9	競技補助員控室
10	競技係員控室
11	ボランティア控室
12	Aチーム(淡色)更衣室
13	Bチーム(濃色)更衣室
14	ドリンクコーナー
15	インタビュースタッフ
16	成績掲示板
17	競技団体(選手・監督)受付
18	行政(来賓・報道・視察)受付
19	カームダウンスペース
20	一般観客席
21	福祉室
22	授乳室
23	



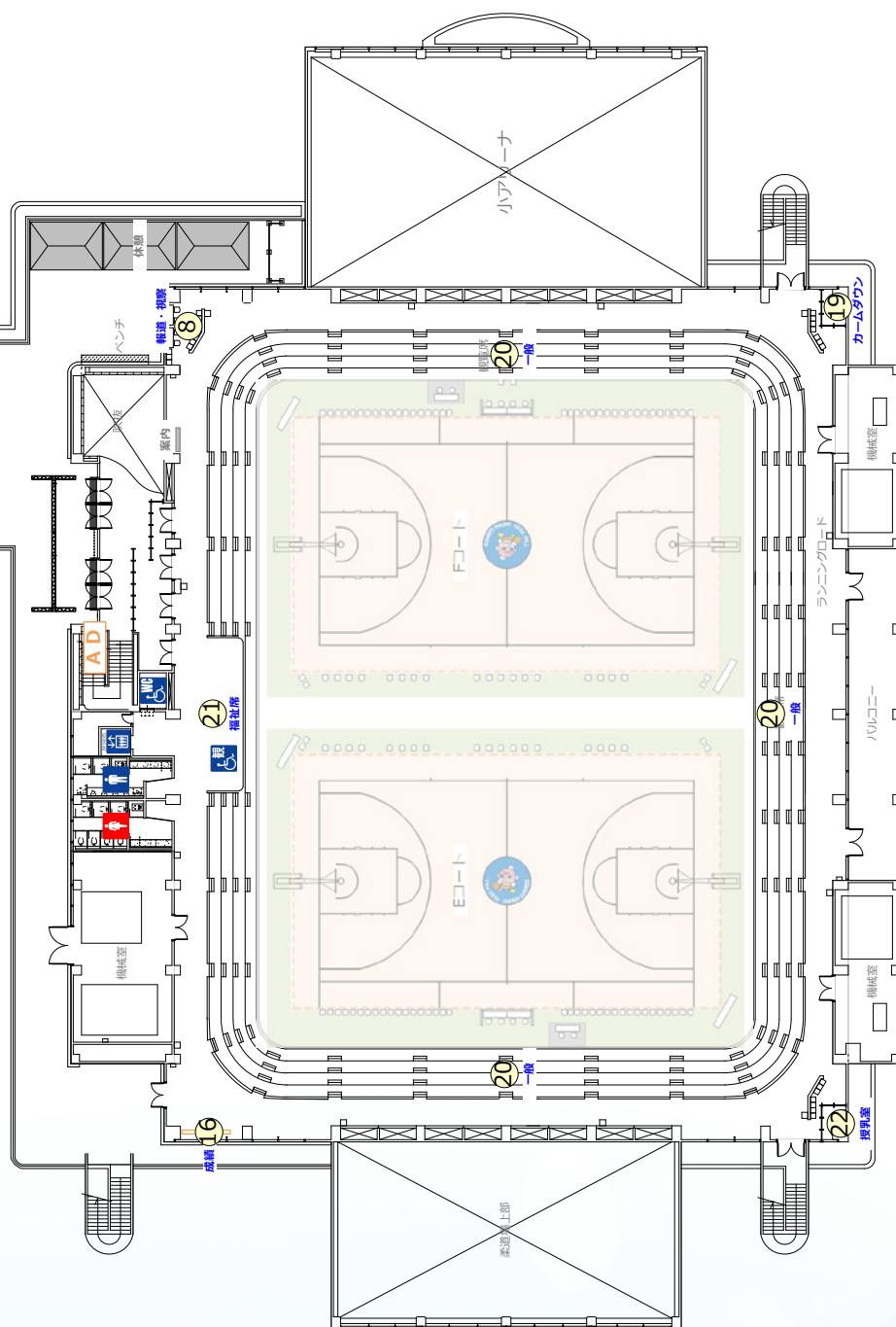


野洲市総合体育館 会場案内図

NO.	施設名
A	TO・戦評・SS席
B	選手席
C	来賓・大会役員席
D	競技役員席
E	審判員席
F	視察員・報道員席
G	救護員席
H	放送席
J	コートキーパー席
K	選手控室
L	アップ・クールダウンエリア

NO.	施設名
1	競技本部
2	記録本部
3	競技役員控室
4	審判員控室
5	来賓控室
6	実施本部
7	救護室
8	報道員・視察員控室
9	競技補助員控室
10	競技係員控室
11	ボランティア控室
12	Aチーム(淡色)更衣室
13	Bチーム(濃色)更衣室
14	ドリンクコーナー
15	インタビュースタッフ
16	成績掲示板
17	競技団体(選手・監督)受付
18	行政(来賓・報道・視察)受付
19	カームダウンスペース
20	一般観客席
21	福祉社
22	授乳室
23	

バスケットボール開催1～3日目(2コート)



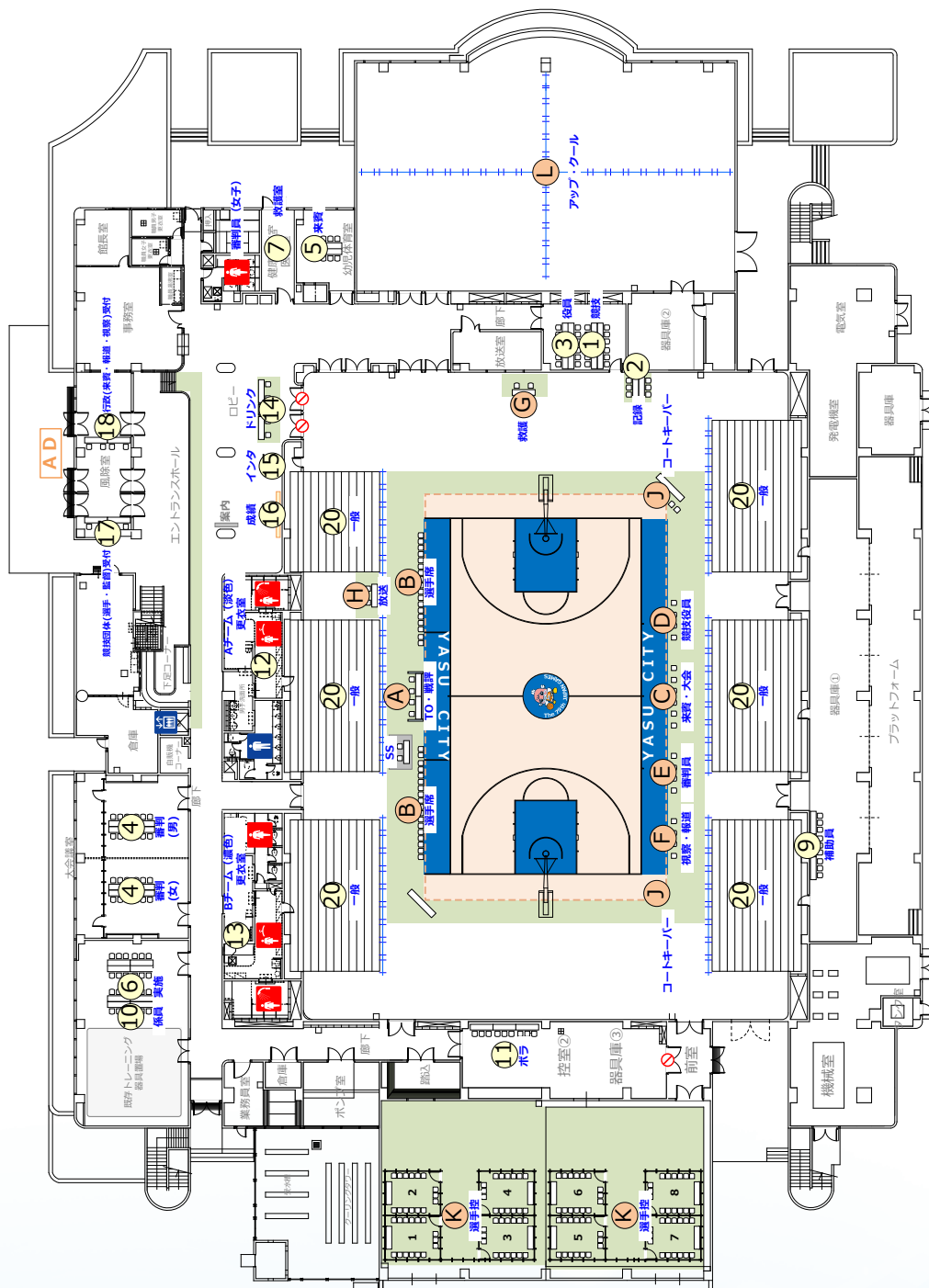


野洲市総合体育館 会場案内図

NO.	施設名
A	TO・戦評・SS席
B	選手席
C	来賓・大会役員席
D	競技役員席
E	審判員席
F	視察員・報道員席
G	救護員席
H	放送席
J	コートキーパー席
K	選手控室
L	アップ・クールダウンエリア

NO.	施設名
1	競技本部
2	記録本部
3	競技役員控室
4	審判員控室
5	来賓控室
6	実施本部
7	救護室
8	報道員・視察員控室
9	競技補助員控室
10	競技係員控室
11	ボランティア控室
12	Aチーム(淡色)更衣室
13	Bチーム(濃色)更衣室
14	ドリンクコーナー
15	インタビュースタッフ
16	成績掲示板
17	競技団体(選手・監督)受付
18	行政(来賓・報道・視察)受付
19	カームダウンスペース
20	一般観客席
21	福祉席
22	授乳室
23	

バスケットボール決勝 (1コート)

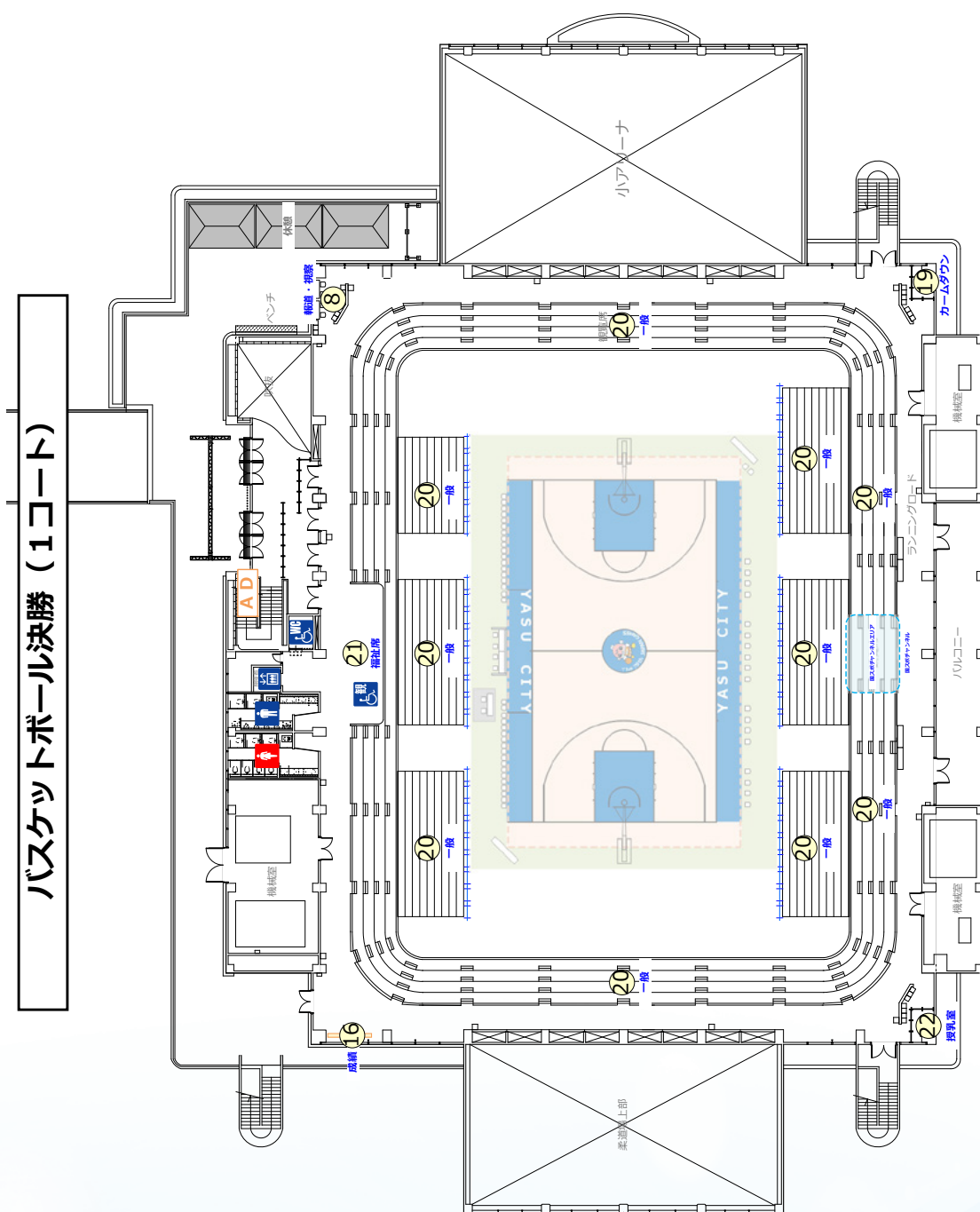




野洲市総合体育館 会場案内図

NO.	施設名
A	TO・戦評・SS席
B	選手席
C	来賓・大会役員席
D	競技役員席
E	審判員席
F	視察員・報道員席
G	救護員席
H	放送席
J	コートキーパー席
K	選手控室
L	アップ・クールダウンエリア

NO.	施設名
1	競技本部
2	記録本部
3	競技役員控室
4	審判員控室
5	来賓控室
6	実施本部
7	救護室
8	報道員・視察員控室
9	競技補助員控室
10	競技係員控室
11	ボランティア控室
12	Aチーム(淡色)更衣室
13	Bチーム(濃色)更衣室
14	ドリンクコーナー
15	インタビュースタッフ
16	成績掲示板
17	競技団体(選手・監督)受付
18	行政(来賓・報道・視察)受付
19	カーマダウンスペース
20	一般観客席
21	福祉観客席
22	授乳室
23	







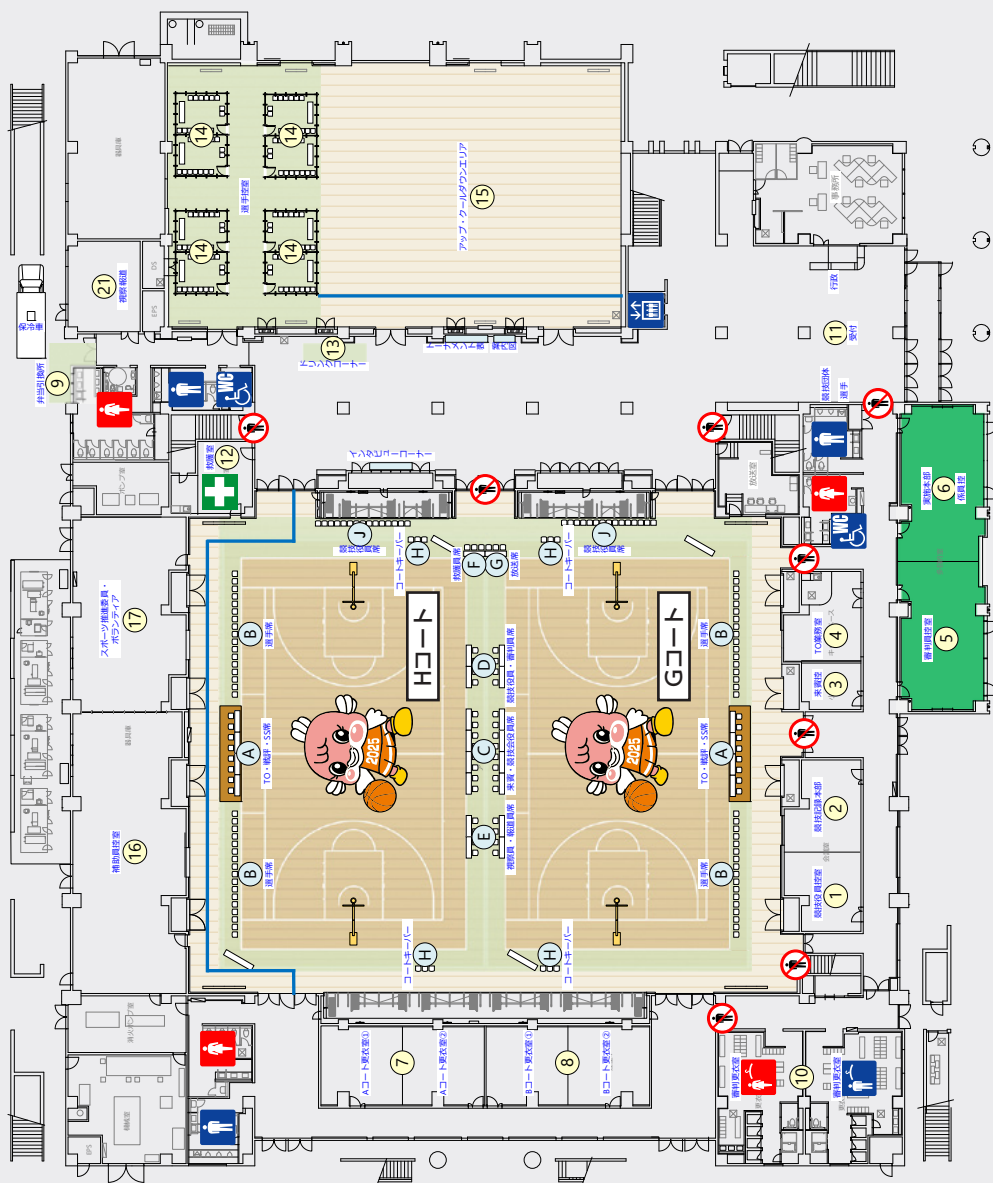
YMIT アリーナ 会場案内図

バスケットボール開催1～4日目(2コート)



バスケットボール		
No.	施設名	称
A	TO・戦評・SS	席
B	選	席
C	来賓・競技役員	席
D	競技役員・審判員	席
E	視察員・報道員	席
F	救護	席
G	放送	席
H	コートキーパー	席
J	競技役員	席

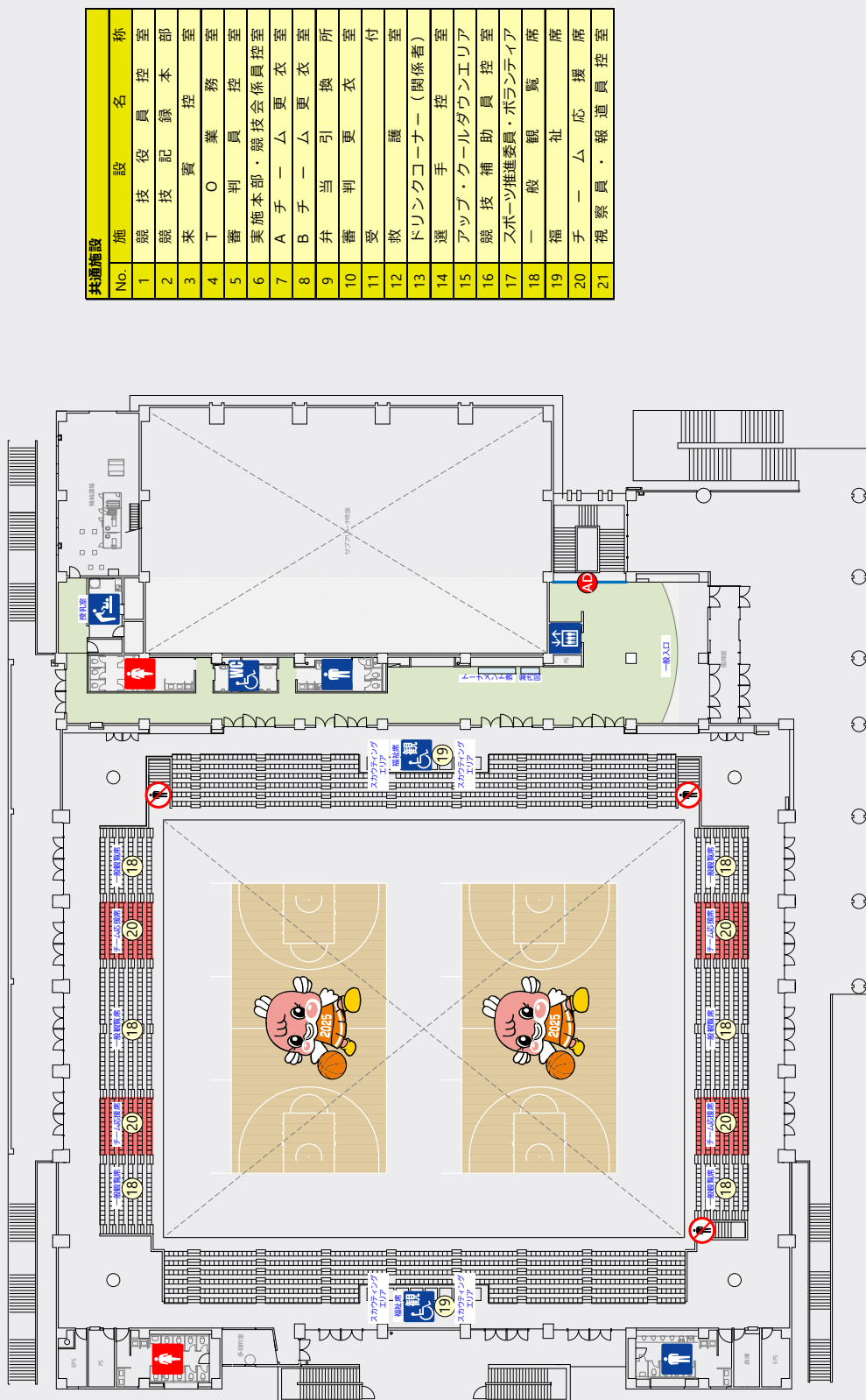
共通施設		
No.	施設名	称
1	競技役員控室	
2	競技記録本部	
3	来賓控室	
4	TO業務控室	
5	審判員控室	
6	実施本部・競技係員控室	
7	Aチーム更衣室	
8	Bチーム更衣室	
9	弁当引換所	
10	審判更衣室	
11	受付	
12	救護室	
13	ドリンクコーナー（関係者）	
14	選手控室	
15	アップ・クールダウンエリア	
16	競技補助員控室	
17	スポーツ推進委員・ボランティア	
18	一般観覧席	
19	福祉	
20	チーム応援席	
21	視察員・報道員控室	





YMIT アリーナ 会場案内図

バスケットボール開催1～4日目(2コート)



共通施設		
No.	施設名	称
1	競技役員控室	室
2	競技記録本部	室
3	来賓控室	室
4	TO業務室	室
5	審判員控室	室
6	実施本部・競技係員控室	室
7	Aチーム更衣室	室
8	Bチーム更衣室	室
9	弁当引換所	所
10	審判更衣室	室
11	受付	付
12	救護室	室
13	ドリンクコーナー(関係者)	
14	選手控室	室
15	アップ・クールダウンエリア	
16	競技補助員控室	室
17	スポーツ推進委員・ボランティア	
18	一般観覧席	席
19	福祉社席	席
20	チーム応援席	席
21	視察員・報道員控室	室



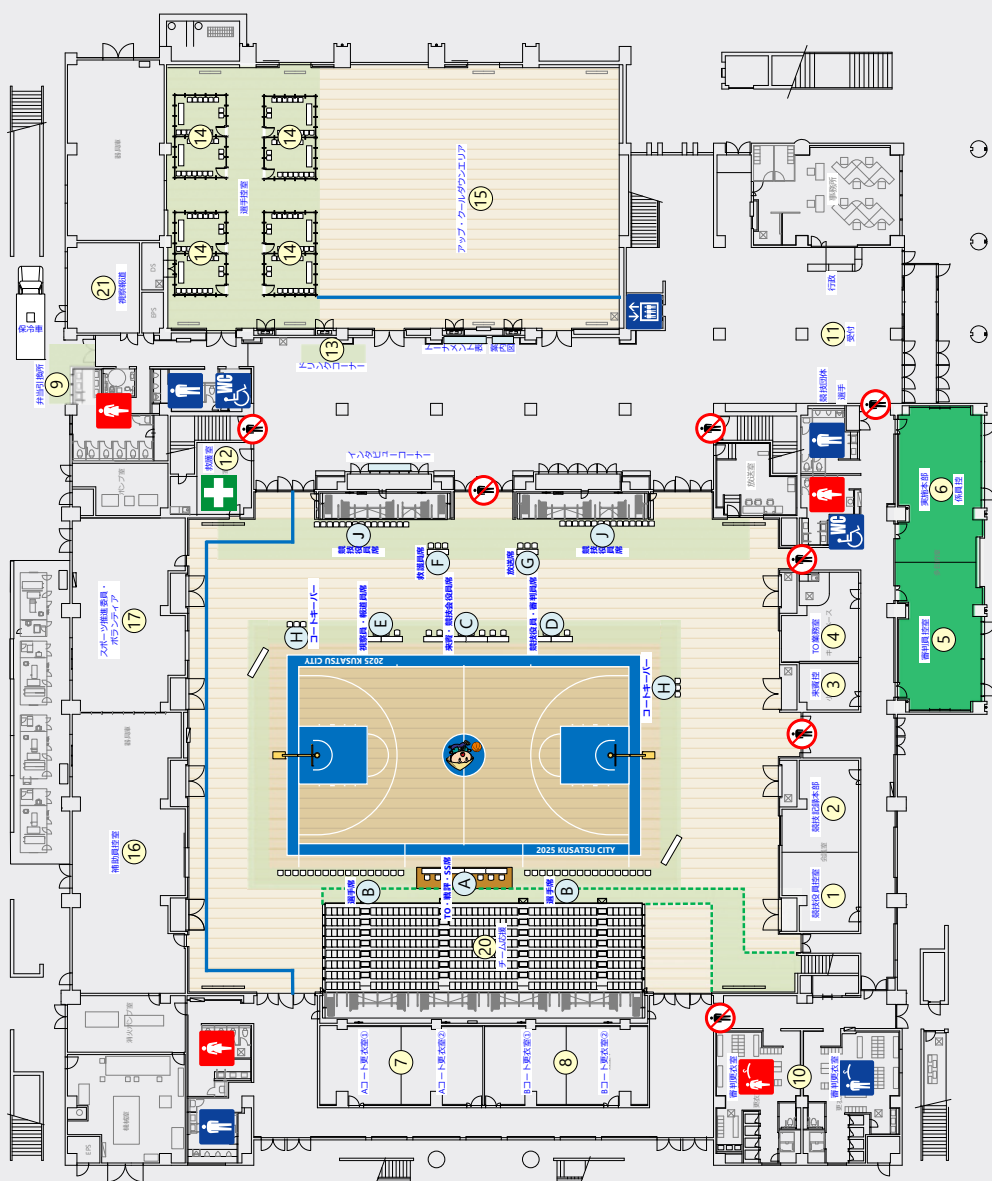
YMIT アリーナ 会場案内図

バスケットボール最終日(センターコート)



バスケットボール		
No.	施設名	称
A	TO・戦評・SS	席
B	選	席
C	来賓・競技役員席	席
D	競技役員・審判員席	席
E	視察員・報道員席	席
F	救護員	席
G	放	席
H	コートキーパー	席
J	競技役員	席

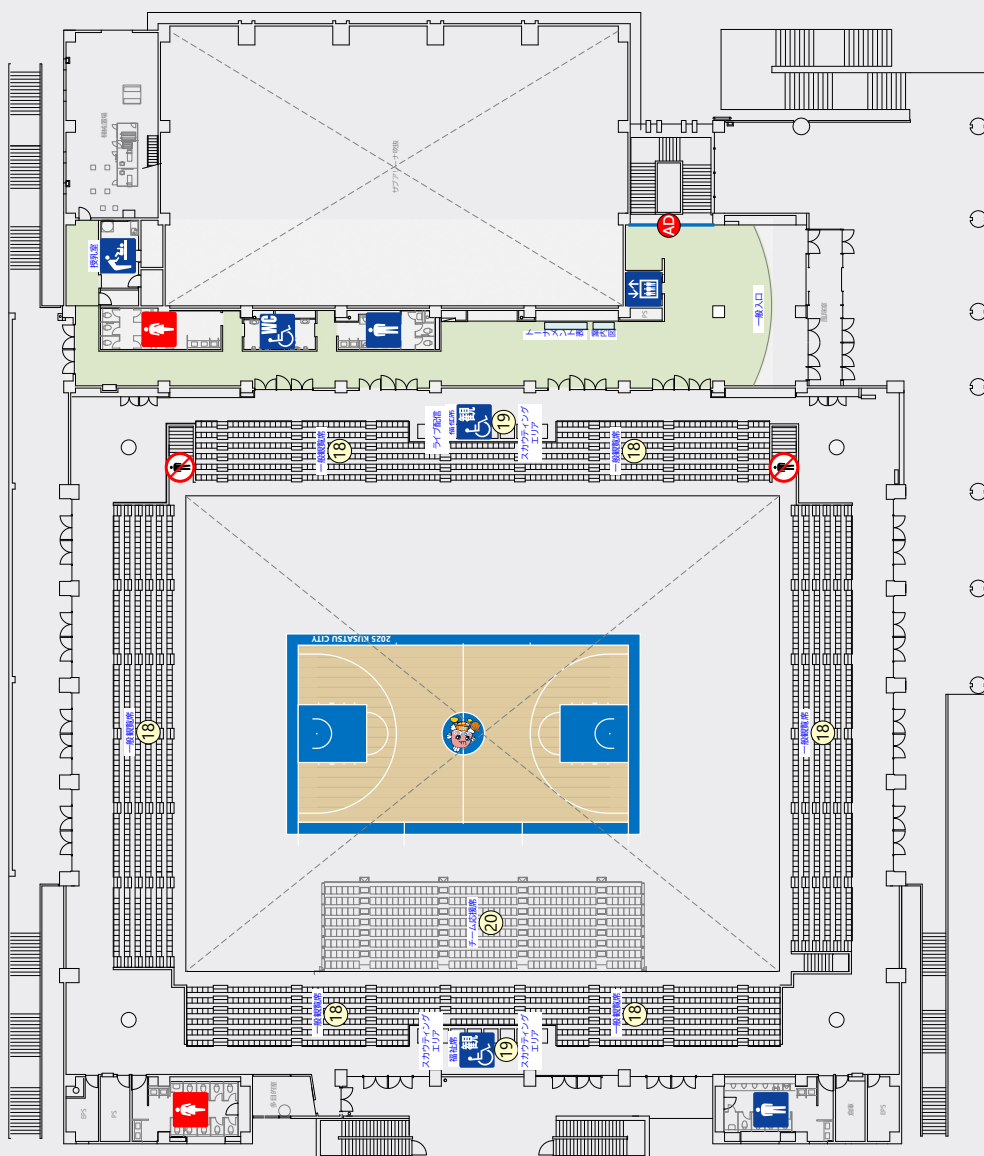
共通施設		
No.	施設名	称
1	競技役員控室	
2	競技記録本部	
3	来賓控室	
4	TO業務室	
5	審判員控室	
6	実施本部・競技係員控室	
7	Aチーム更衣室	
8	Bチーム更衣室	
9	弁当引換所	
10	審判更衣室	
11	受付	
12	救護室	
13	ドリンクコーナー(関係者)	
14	選手控室	
15	アップ・クールダウンエリア	
16	競技補助員控室	
17	スポーツ推進委員・ボランティア	
18	一般観覧席	
19	福祉	
20	チーム応援席	
21	視察員・報道員控室	





YMIT アリーナ 会場案内図

バスケットボール最終日(センターコート)

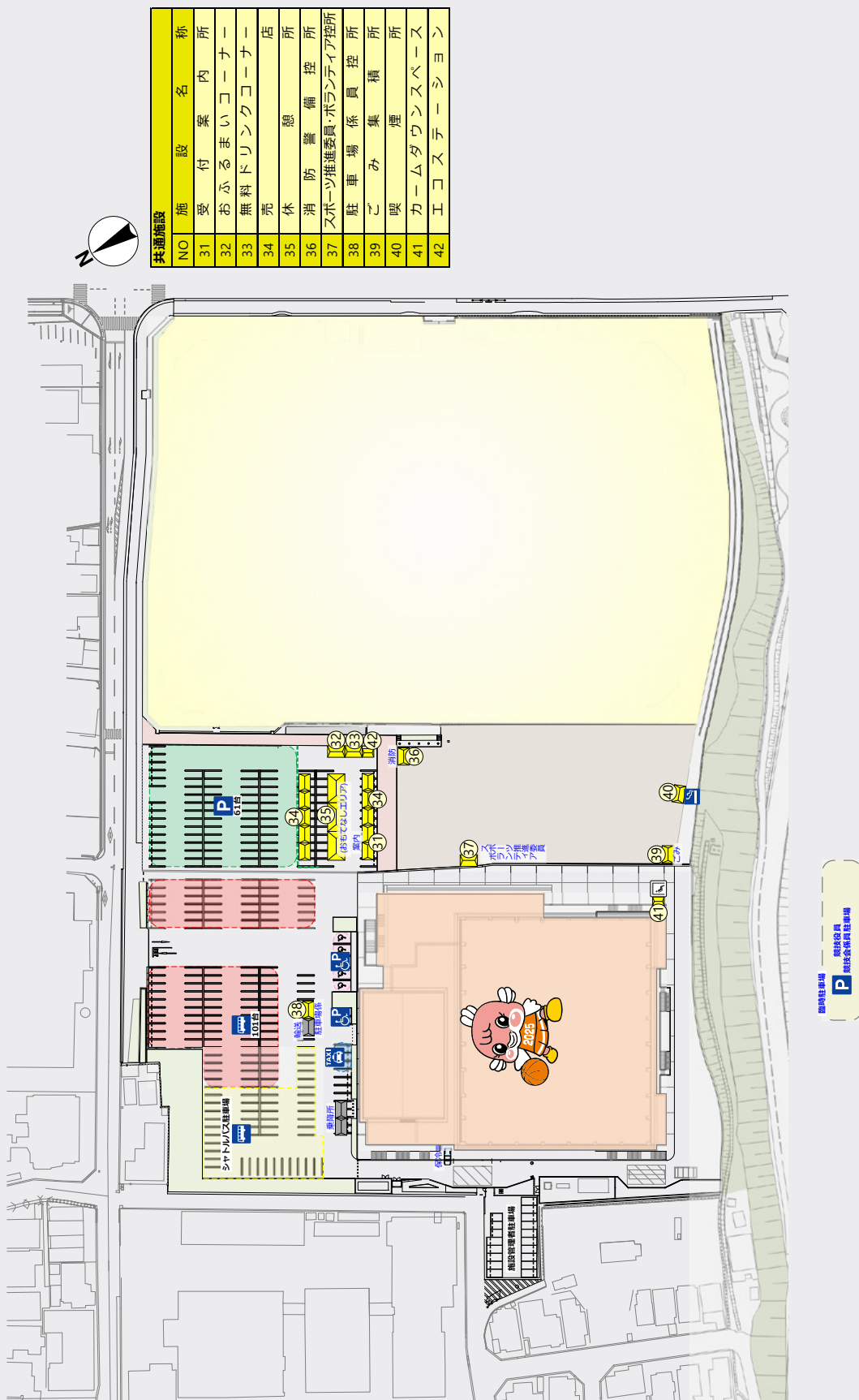


共通施設		
No.	施設名	称
1	競技役員控室	室
2	競技記録本部	室
3	来賓控室	室
4	TO業務室	室
5	審判員控室	室
6	実施本部・競技係員控室	室
7	Aチーム更衣室	室
8	Bチーム更衣室	室
9	弁当引換所	所
10	審判更衣室	室
11	受付	付
12	救護室	室
13	ドリンクコーナー(関係者)	室
14	選手控室	室
15	アップ・クールダウンエリア	室
16	競技補助員控室	室
17	スポーツ推進委員・ボランティア	席
18	一般観覧席	席
19	福祉社	席
20	チーム応援席	席
21	視察員・報道員控室	室



YMIT アリーナ 会場案内図

バスケットボール





関係機関連絡先一覧

【事務局】

名称	所在地	電話番号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市 実行委員会事務局	大津市石場 10 番 53 号	077-528-2919
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ野洲市 実行委員会事務局	野洲市小篠原 2100 番地 1	077-587-8813
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ草津市 実行委員会事務局	草津市草津三丁目 13 番 30 号	077-561-1510

【競技会場】

名称	所在地	電話番号
滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）	大津市上田上中野町 779 番地	077-545-0108
野洲市総合体育館	野洲市富波甲 1339	077-587-3477
Y M I T アリーナ（くさつシティアリーナ）	草津市野村三丁目 3 番 27 号	077-563-1265

【警察・消防など】

分類	名称	所在地	電話番号
警 察	大津警察署（大津市会場エリア）	大津市打出浜 12 番 7 号	077-522-1234
	守山警察署（野洲市会場エリア）	守山市金森町 494 番地	077-583-0110
	草津警察署（草津市会場エリア）	草津市野村三丁目 1 番 11 号	077-563-0110
消 防 ・ 救 急	大津市消防局 東消防署	大津市大江四丁目 18 番 1 号	077-543-0119
	湖南広域消防局 東消防署	野洲市辻町 488 番地	077-587-1119
	湖南広域消防局 西消防署	草津市上笠町 477 番地 1	077-568-0119
保健所	大津市保健所	大津市浜大津四丁目 1-1	077-522-6756
	草津保健所（野洲市・草津市）	草津市草津三丁目 14-75	077-562-3526

【公共交通機関】

分類	名称	電話番号
鉄 道	JR 西日本お客様センター	0570-00-2486
バ ス	帝産湖南交通株式会社 田上営業所	077-549-1028
タクシー	大津市	
	大津第一交通	0120-524-447
	滋賀ヤサカ自動車	077-522-6767
	琵琶湖タクシー	077-522-6677
	共立タクシー	077-579-2278
	湖西交通	077-577-1760
	滋賀エムケイ	077-526-4141
	野洲市	
	光タクシー	0120-077-586・077-587-3366
	近江タクシー	077-582-0106
	滋賀エムケイ	077-526-4141
	草津市	
	帝産タクシー滋賀	077-562-3022
	近江タクシー	077-582-0106
	桜タクシー	077-569-2655
	滋賀ヤサカ自動車	077-522-6767
	滋賀エムケイ	077-526-4141
	滋賀第一交通	0120-553-043
	滋賀タクシー	077-553-1211



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN  GAMES を応援しています。



大塚製薬



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。



『スポハラ』根絶に向けた取組み



JSPPO
Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち
スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



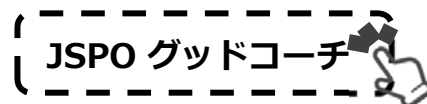
JSPPO事業についてはこちら»»JSPPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

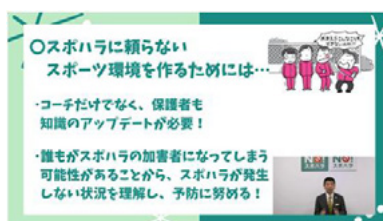


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組めます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

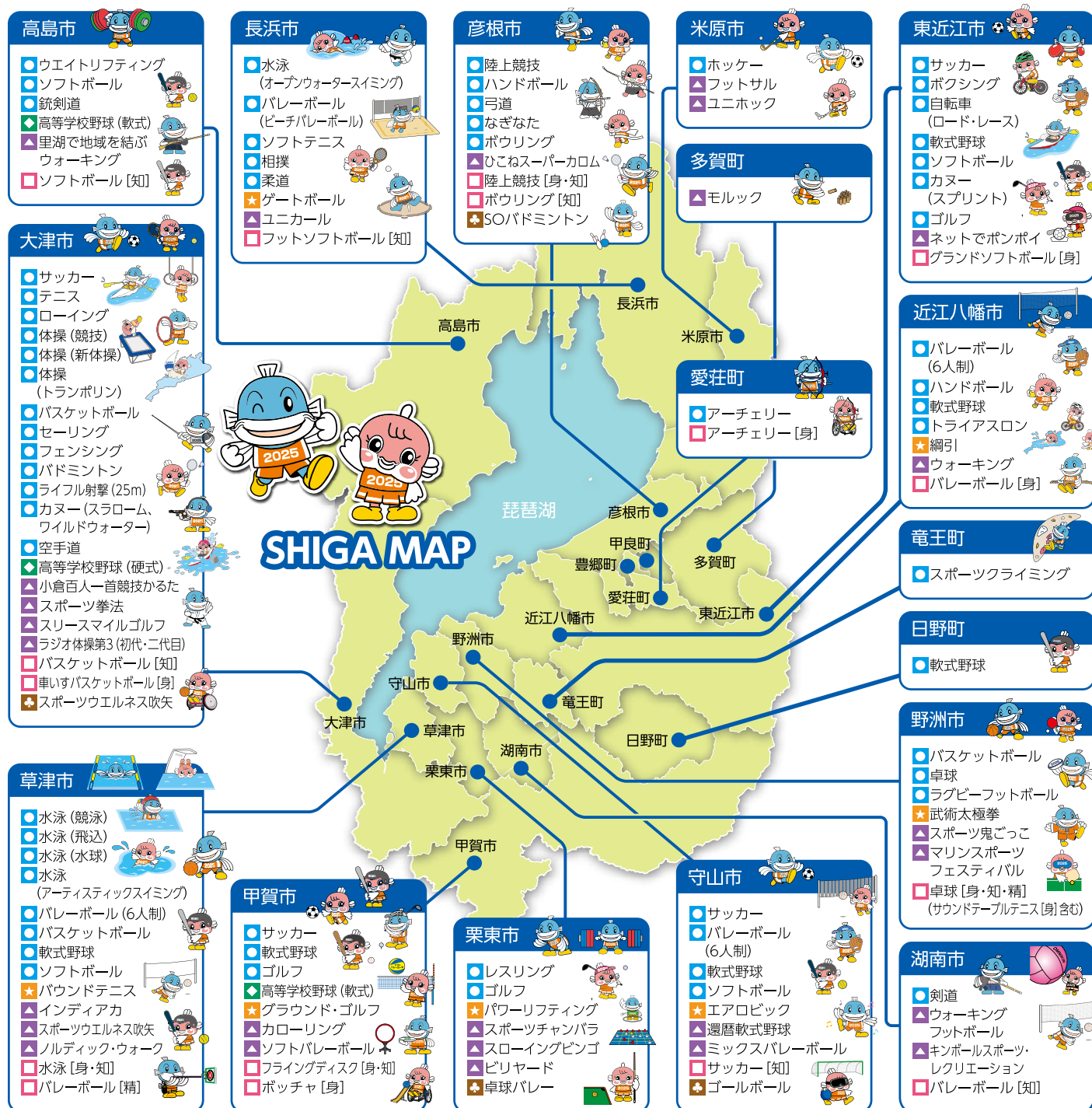
スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



国民スポーツ大会

- 正式競技(37競技)
- 特別競技(1競技)
- 公開競技(7競技)
- デモンストラションスポーツ(26競技)

全国障害者スポーツ大会

- 正式競技(14競技)
- オープン競技(4競技)

[身] = 身体障害者 [知] = 知的障害者 [精] = 精神障害者

※国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。

※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

県外開催競技

京都府
向日市

- 自転車(トラック・レース)

大阪府
豊能郡能勢町

- ライフル射撃(50m、10m、BR・BP)

兵庫県
三木市

- 馬術

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

国スポ実施期間 令和7年 9月28日(日)~10月8日(水) [11日間開催]

国スポ会期前実施競技 令和7年9月6日(土)~9月15日(月)、令和7年9月21日(日)~9月25日(木)

障スポ実施期間 令和7年10月25日(土)~10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから!

滋賀2025

検索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

大会PR
動画を公開!

さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技音と合わせてご覧ください。



Instagram



X



大会HP



湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ

第79回国民スポーツ大会

2025



バスケットボール競技会

国スポの観覧・観戦に関するお問い合わせ

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会 大会お問い合わせ窓口

コールセンター：0120-550-882 (9:00 ~ 18:00)

競技・記録結果について



PC・スマホ

URL : <https://kirokokensaku.net/5NS25/index.html>



フィーチャーフォン (ガラケー)

URL : <https://kirokokensaku.net/5NS25/mob/index.html>



2026年は青森県で開催!

青の煌めきあおもり国スポ

2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会



バスケットボール競技 2026年10月15日(木)~10月19日(月)



八戸市 (成年男子)
いかずきんズ



十和田市 (少年男子)
駒松くん・駒桜ちゃん



むつ市 (成年女子)
むつ市 PR キャラクター
ムッシュ・ムチュラン 1 世
承認番号第 07006 号



三沢市 (少年女子)
ほきのすけ・ホッキナちゃん